

# 2024年度 学生便覧(履修ガイド)

スポーツ科学部

在学中保存

※2024年4月時点の内容を掲載しています。  
内容に変更がある場合は、公式ホームページ  
または、CHUKYO ALBO等にて案内します。

# INDEX

## はじめに

中京大学での生活で守ってほしいことや、施設等の使い方を掲載。

1	大学からのお知らせ	2
2	授業担当教員からのお知らせ	3
3	授業の取扱い・教務センター	4
4	履修登録(春学期・秋学期共通)	6
5	時間割・単位修得状況・成績・GPAの確認方法	8
6	試験	9

7	追試験	10
8	レポート	11
9	不正行為・義務違反・研究倫理	12
10	成績・単位認定	13
11	卒業・留年	15

## 教育課程と資格課程

学部のカリキュラムや卒業要件、取得できる資格などを掲載。  
必ず確認してから、履修登録をしてください。

1	教育理念・教育目標	18
2	カリキュラムの概念	23
3	授業科目区分と単位制度	24
4	進級要件と卒業要件	25
5	全学共通科目一覧表	27
6	全学共通科目について	28
7	学部固有科目一覧表(スポーツ教育学科)	30
8	履修モデル(スポーツ教育学科)	31
9	学部固有科目一覧表(競技スポーツ科学科)	32
10	履修モデル(競技スポーツ科学科)	33
11	学部固有科目一覧表(スポーツ健康科学科)	34
12	履修モデル(スポーツ健康科学科)	35
13	学部固有科目一覧表(トレーナー学科)	36
14	履修モデル(トレーナー学科)	37
15	学部固有科目一覧表 (スポーツマネジメント学科)	38
16	履修モデル(スポーツマネジメント学科)	39
17	学部固有科目の履修について	40
18	学修相談・指導について	44
19	全学開放科目について	45
20	単位互換に関する包括協定の案内	46
21	スポーツ科学研究科スポーツ科学専攻 大学院進学奨励学生制度について	47
22	資格課程	48
23	教職課程	49
24	スポーツ科学部 資格別指定科目一覧表	55
25	公益財団法人日本スポーツ協会公認 スポーツ指導者について	56

26	アスレティックトレーナー(AT)について	58
27	水泳コーチ1・競泳コーチ3について	60
28	ジュニアスポーツ指導員について	61
29	健康運動実践指導者について	62
30	健康運動指導士について	64
31	認定ストレングス&コンディショニング スペシャリスト(CSCS)について	66
32	レクリエーション指導者について (レクリエーション・インストラクター)	68
33	第一種衛生管理者について	69
34	初級パラスポーツ指導員について	70
35	司書教諭課程	71
36	司書課程	72
37	学芸員課程	73
38	社会教育主事課程	75
39	教育課程表一覧	77
40	正規留学生の全学共通科目について	92
41	履修計画表	93

## 建学の精神

梅村学園の建学の精神の要約は「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」である。すなわち学術の場では学術の研鑽と共にジェントルマンシップ、レディシップを醸成陶冶する。スポーツの場では健康の増強、心技の練成と共にスポーツマンシップを体得する。スポーツマンシップ、イズジェントルマンシップ、スポーツマンシップとはルールを守る、ベストを尽くす、三チームワークをつくる、四相手に敬意を持つ、この四大綱を内容とする。

このような精神の体得者は個人としても、家庭人としても、社会人としても、国民としても、世界人類の一人としてもまことに望ましい人間である。

このような教育は如何なる国の如何なる時代においても肯定され、歓迎される本質を有する。

梅村学園はこの建学の精神を教育の基盤として永遠に堅持高揚を期する。

一九八八年二月十八日

学校法人 梅村学園

総長 梅村 清明



## 建学の精神

### 「校訓・建学の精神」

校訓と建学の精神は、学校開設にあたって、次代を担う人材の育成を願い、創立者がその理念と気概を示したものです。わが国の教育で大きな役割を果たしている私立学校は、それぞれの校訓・建学の精神に基づいて教育活動を展開、個性豊かな教育の場として発展してきました。

梅村学園の校訓は、1923年(大正12年)、学校法人梅村学園の母体である中京商業学校の開校にあたり、創立者の梅村清明がその理念と気概をうたい上げたものです。また、中京大学が四年制大学となった1956年(昭和31年)に初代学長の梅村清明が建学の精神として具体化し、この精神は時代を超え、中京大学・中京大学附属中京高校に脈々と受け継がれています。

### 「建学の精神の四大綱」について

中京大学の創立者であり、初代学長の梅村清明(初代梅村学園理事長)は、建学の精神にうたわれた「学術の場」と「スポーツの場」のあり方について、次のように示しました。

「学術の場では学術の研鑽と共にジェントルマンシップ、レディシップを醸成陶冶する」。

学問に真摯、真剣に取り組むよう求めたうえに、男性も女性も人間としての人格陶冶が教育の理念であることを掲げました。大学が学術の殿堂、すなわち、知の集積拠点として教育・研究両面でその役割を高めていくことが目標であることはいうまでもありません。

「スポーツの場では健康の増強、心技の練成と共にスポーツマンシップを体得する」。

スポーツ各競技の技の向上をめざし、精神力を鍛錬するだけにとどまらず、スポーツマンシップとして、1)ルールを守る、2)ベストを尽くす、3)チームワークをつくる、4)相手に敬意を持つ、の四大綱の体得を求めました。そして、「このような精神の体得者は個人としても、家庭人としても、社会人としても、国民としても、世界人類の一人としてもまことに望ましい人間である」として、「このような教育は如何なる国の如何なる時代においても肯定され、歓迎される本質を有する」と、建学の精神を時空を超えた教育理念として堅持する気概を示しました。

# 1 大学からのお知らせ

問合せ先 教務センター／情報センター

大学からの連絡事項は、主に中京大学公式ホームページ、大学Webシステム「CHUKYO ALBO」を通じて行われます。

また大学Webシステム「CHUKYO MaNaBo」を通じて、履修している授業ごとの連絡が授業担当教員から直接行われることもあります。在学中はこれらに毎日目を通し、大学や教員からのお知らせを随時確認してください。

## ■お知らせの種類と手段

	中京大学公式ホームページ	CHUKYO ALBO	CHUKYO MaNaBo
台風等緊急時における授業等のお知らせ	○	×	×
大学全体に関するニュース	○	×	×
授業の休講・補講・教室変更	×	○	○
授業担当教員からの連絡	×	×	○
学生生活に関するお知らせ	○	○	×

## 中京大学公式ホームページ

URL <https://www.chukyo-u.ac.jp/>

個人ではなく不特定多数の方を対象にした情報を伝達します。

## ■スマートフォンからのアクセス

スマートフォンからは、次のURLもしくはQRコードからアクセスしてください。

URL <https://www.chukyo-u.ac.jp/student-staff/>



## ■中京大学公式ホームページトップページ



## ポータルシステム「CHUKYO ALBO」

「CHUKYO ALBO」とは、授業履修方法や休講・補講・教室変更に関する情報、奨学金・キャリアイベント・留学等も含めた学生生活全般に関する情報の他、個別の学生呼び出し等、大学からの様々なお知らせを伝達する大学Webシステムです。

またCHUKYO ALBOは、各種学生サービス(CHUKYO MaNaBo、m.mail等)を利用するための入口ともなります。さらに学生情報登録(変更)・履修登録・時間割・成績確認等もCHUKYO ALBOを通して行います。

対応期限が定められた重要なお知らせも、このCHUKYO ALBOを通じて随時届きます。在学中は毎日ログインし、見落としがないよう、必ず内容を確認するようにしてください。

## ■利用可能時間

CHUKYO ALBOの利用可能時間は6:00～27:00です。

## ■CHUKYO ALBOのログイン方法

**ログイン方法** ログインには中京大学全学ID(CU\_ID)が必要です。

**STEP 1** 「中京大学公式ホームページ」⇒「在学生の方」⇒「在学生メニュー」⇒「CHUKYO ALBO」をクリック

**STEP 2** 「ログイン(PC版)」よりログイン

スマートフォンで「CHUKYO ALBO」を利用する際は、「ログイン(スマートフォン版)」ボタンか「QRコード」からログインしてください。  
※スマートフォン版からは履修登録できません。

## CHUKYO ALBOトップ画面について



- CHUKYO MaNaBo・シラバス**  
こちらから各種学生サービスを閲覧できます。
- m.mail**  
学生用メールシステム「m.mail」が確認できます。
- お知らせ**  
各項目のタブを選択すると、画面が切り替わります。
- アンケート**  
各部署からのアンケートを確認できます。30分間操作をしない場合セッションタイムアウト(時間切れ)となります。
- 時間割**  
当日の時間割を確認できます。「休講」「補講」も確認できます。教室変更の場合、「授業変更」のアイコンが表示されます。
- 画面説明・操作方法**  
こちらからヘルプを参照ください。
- 履修申請・成績時間割表確認**  
履修登録はここから行います。成績や時間割の確認もここをクリックします。
- 休講一覧・補講一覧**  
今後の休講・補講の一覧を確認できます。
- 進路登録(希望)(1～3年)**  
**進路登録(決定)(4年)**  
住所・連絡先変更(学生・保証人)  
こちらから行います。

## 2 授業担当教員からのお知らせ

問合せ先 授業担当教員 / 情報センター

### 教育支援システム「CHUKYO MaNaBo」

CHUKYO MaNaBoは、中京大学の教育支援システムです。オンラインによる授業受講で使用されるほか、授業担当教員からCHUKYO MaNaBoのお知らせを通じて受講方法や課題等に関する指示がなされる場合がありますので、授業期間中は毎日確認するようにしてください。

#### CHUKYO MaNaBoでできること

- オンラインでの授業受講  
Webを利用して教材参照、レポート提出、小テスト受講、授業担当教員とのメール連絡等を行うことができます。
- 授業担当教員からのお知らせの確認  
授業担当教員からの受講者への連絡(課題提示、試験に関する案内、休講等)を確認することができます。
- 授業以外での利用  
学部・学科内の連絡ツール、授業改善のためのアンケート、卒業論文の提出、追試験申請、成績問合せ申請等を行うことができます。

#### CHUKYO MaNaBo利用時間

CHUKYO MaNaBoの利用時間は、6:00~27:00です。

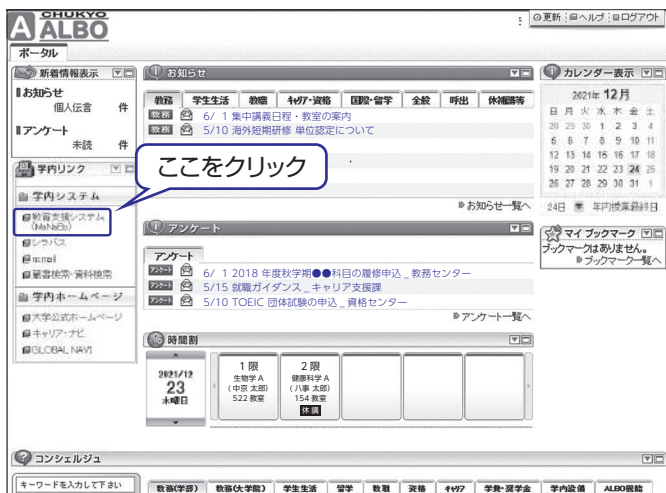
#### 動作推奨環境

	OS	ブラウザ
パソコン	Windows 10以上 macOS 12以上	Google Chrome / Microsoft Edge / Mozilla Firefox
スマートフォン/ タブレット	iOS 15以上 Android 12以上	Safari 15以上 Google Chrome 105以上

複数タブでの利用には対応しておりません。また、パソコンとスマートフォンなど2つ以上の端末からの同時利用にも対応しておりません。このような利用を行うと、授業の受講時にトラブルが発生する可能性があります。注意してください。

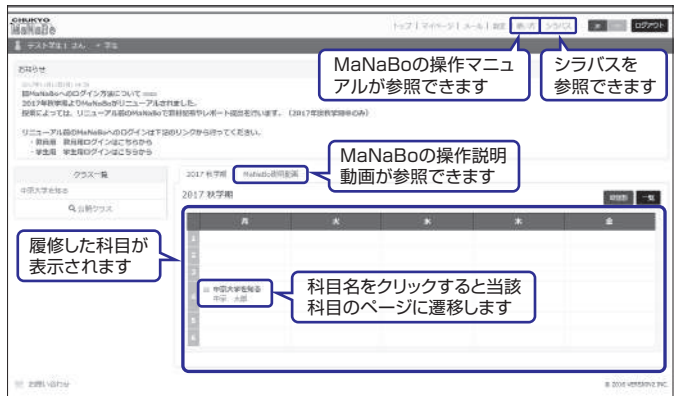
#### MaNaBoのログイン方法

中京大学公式ホームページ→在学生の方→CHUKYO ALBO→教育支援システム(MaNaBo) にアクセスします。



#### CHUKYO MaNaBo画面説明

学生トップ画面



※課題や資料など新着情報のある科目には「NEW」のアイコンが表示されます。

### メール通知を設定しましょう!

よく使うメールアドレスを登録しておくことで各種お知らせなど重要な情報が自動配信されます。利用者自身でメールアドレスを登録する必要があります。CHUKYO ALBO Mailに登録することでMaNaBoにも同じメールアドレスが登録されます。

- 授業2週目までは休講・補講・教室変更の情報が送信されない場合がありますので、CHUKYO ALBO画面で確認してください。
- 中京大学の学生ひとりに1つ与えられる「m.mail」のメールアドレスの登録を強くお奨めします。

#### CHUKYO ALBOの利用ができる端末と情報の一覧

利用端末 情報の種類	パソコン	スマートフォン等
お知らせ	○	▲
申込 (アンケート)	○	○
休講・補講 教室変更	○	○

○ …… 参照することができます。

▲ …… スマートフォン等の機種によって、添付ファイルやURLリンクを参照できない場合があります。

※登録したメールアドレスに届くCHUKYO ALBO Mailでは、発信部署、タイトル、内容が配信されますが、一部内容が参照できない場合があります。詳細は必ずCHUKYO ALBOで確認してください。

#### パソコン動作保証環境

OS : Windows 10、11

ブラウザ : Google Chrome Microsoft Edge

複数タブでの利用には対応しておりません。

Apple社製OSでの動作保証はしてありません。

# 3 授業の取扱い・教務センター

問合せ先 教務センター

## 授業実施方法

授業実施方法は、「面接授業」と「遠隔授業」に分類され、授業科目によって異なります。

各授業の実施方法は、シラバス、時間割表、CHUKYO MaNaBo で確認することができます。

<b>【面接授業】</b>	対面での授業が全授業回のうち半数以上 (15回授業であれば8回以上が対面での授業)
<b>【遠隔授業】</b>	オンラインでの授業が全授業回のうち半数以上 (15回授業であれば8回以上がオンラインでの授業)

## 授業時間(1時限90分)

授業時間はキャンパス毎に時間帯が異なります。

時限	キャンパス	名古屋キャンパス	豊田キャンパス
1		9:00~10:30	9:30~11:00
2		10:45~12:15	11:10~12:40
3		13:10~14:40	13:30~15:00
4		14:55~16:25	15:10~16:40
5		16:40~18:10	16:50~18:20

時限	キャンパス	名古屋キャンパス
A		9:00~10:00
B		10:10~11:10
C		11:20~12:20

## 教室番号の見方

教室は番号又はアルファベットで表示しています。

建物の場所については中京大学公式ホームページのキャンパスマップを確認してください。

《基本的な表示方法》

4	3	1	0	7	A	0	8	1	0
号館	階	通番	号館	階	通番	号館	階	通番	

《一部例外》

2	1	1	2	1	6	4	1	A
号館	階	通番		号館	階	通番		

## 緊急時における授業等の取扱い

気象警報			
気象庁より 愛知県下 (東三河北部及び 東三河南部を除く) に暴風警報※1、 特別警報※2、 のいずれかが	発令 されている 場合	午前7時以前(7時を含む)に解除	1時限(A時限)より 平常通り授業
		午前7時から(7時を含まない) 午前11時前(11時を含まない)に解除	3時限より平常通り授業
	午前11時以後(11時を含む)に解除	休講 ただし、夜間開講に ついては、16時以降 (16時を含む)に解 除の場合、休講	
発令 された 場合		直ちに授業を中止し、学生はすみやかに下校してください。	
南海トラフ地震			
地震情報の発表時	発令又は招集 されている 場合	午前7時以前(7時を含む)に解除	1時限(A時限)より 平常通り授業
		午前7時から(7時を含まない) 午前11時前(11時を含まない)に解除	3時限より平常通り授業
	午前11時以後(11時を含む)に解除	休講 ただし、夜間開講に ついては、16時以降 (16時を含む)に解 除の場合、休講	
招集され た場合		直ちに授業を中止し、学生はすみやかに下校してください。	
法定伝染病、テロ等その他の災害			
暴風、大雨、大雪、又は地震による災害以外の災害(法定伝染病、爆破宣言、テロ、二次災害等)が発生し、本学諸活動に支障があると判断した場合は、その都度、掲示・全学一斉放送・中京大学公式ホームページ等で指示する。			
交通ストライキ			
JR東海、名鉄及び 名古屋市営バス・地下鉄 のうちいずれか一つが ストライキを行っている 場合	発令 されている 場合	午前7時以前(7時を含む)に解除	1時限(A時限)より 平常通り授業
		午前7時から(7時を含まない) 午前11時前(11時を含まない)に解除	3時限より平常通り授業
	午前11時以後(11時を含む)に解除	全時限休講	

※1 暴風警報には暴風雪警報も含まれます。

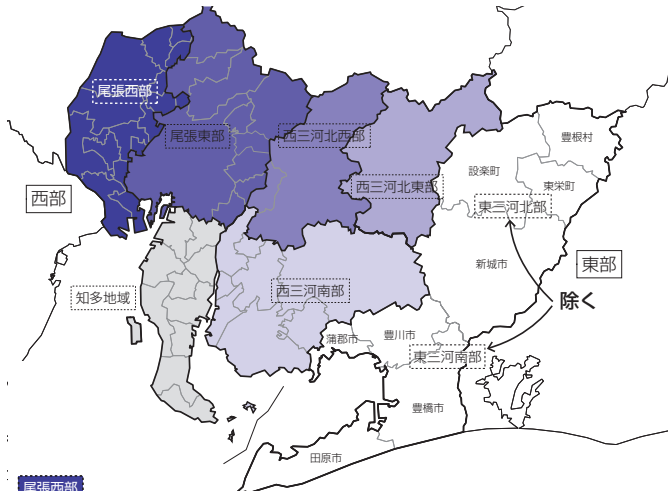
※2 特別警報のうち、大雨特別警報、暴風特別警報、暴風雪特別警報、大雪特別警報のいずれかを対象とします。

※3 公共交通機関の運休などの影響が出ることが想定される場合、気象庁から暴風警報等の発令がなされる前に、休講等の措置をとることがあります。

注意 1. 上記の取扱い事項は、定期試験期間中及び集中講義期間中も適用されません。

2. 上記の取扱い事項は、オンデマンド型の遠隔授業等については、原則として適用されません。ただし、一部科目や授業の継続が困難な場合は休講となる場合があります。

3. 緊急時における休講は中京大学公式ホームページでお知らせします。



### 尾張西部

一宮市、津島市、江南市、稲沢市、岩倉市、愛西市、清須市、北名古屋、弥富市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村

### 尾張東部

名古屋市、瀬戸市、春日井市、犬山市、小牧市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町

### 西三河西部

豊田市西部、みよし市

### 西三河北部

豊田市東部

### 西三河南部

岡崎市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、幸田町

### 知多地域

半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、岡久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町

## 授業の欠席

本学には忌引・公欠の制度はありません。欠席する場合は、直接、授業担当教員に申し出て指示に従ってください。授業欠席の取扱いについては、授業担当教員に一任されています。なお、以下の点に注意してください。

### ■30日以上欠席した場合

病気・ケガ(診断書が必要)等、その他正当な理由により授業を30日以上欠席した場合は、教務センターで所定の用紙を受け取り、必要事項を記入の上、教務センターへ提出してください(代理提出可)。

### ■教育実習・介護等体験の場合

教育実習等の履修にかかわる事情で授業を欠席する場合は、教務センター(教職支援係)で所定の用紙を受け取り、必要事項を記入の上、当該科目の担当教員に提出してください。

### ■就職活動の場合

就職活動や企業訪問等のために授業を欠席する場合は、その旨を事前に当該科目の担当教員に申し出てください。キャリア支援課や教務センターでは公欠願の証明等は一切していません。

## 休講

授業は、担当教員の都合により休講となる場合があります。休講については、原則としてCHUKYO ALBOで案内します。<sup>注</sup>  
 ※メール登録をしておくともメールでもお知らせが届きます。▶▶P3参照  
 ※科目により、教員からCHUKYO MaNaBoを通じて直接指示がなされる場合があります。

## 補講

休講となった授業科目は原則振替授業として補講を行います。補講の実施日時・場所については、CHUKYO ALBOで案内します。<sup>注</sup>  
 ※メール登録をしておくともメールでもお知らせが届きます。  
 ※補講が設定された日時において、別の授業の補講が重なる場合があります。担当教員に相談してください。▶▶P3参照  
 ※科目により、教員からCHUKYO MaNaBoを通じて直接指示がなされる場合があります。

## 教室変更

対面による授業実施科目に教室変更が生じた場合は、CHUKYO ALBOで案内します。<sup>注</sup>  
 ※メール登録をしておくともメールでもお知らせが届きます。▶▶P3参照  
 ※科目により、教員からCHUKYO MaNaBoを通じて直接指示がなされる場合があります。

<sup>注</sup> 休講・補講・教室変更などのお知らせがある場合は、CHUKYO ALBOにて連絡しますので随時確認してください。授業2週目までは、休講・補講・教室変更の情報はメール送信されない場合があります。CHUKYO ALBO「休講一覧」「補講一覧」又はCHUKYO ALBOトップ「時間割」画面にて確認してください。

## 教科書について

問合せ先:中京大学生協同組合

### ■新入生

教科書の販売方法は、「学内特設会場での新入生向け一斉販売」を予定しております。販売日、販売時間等につきましては、生協ホームページで詳細をご案内します。

※感染症等の状況により販売方法がWeb注文→宅配になる可能性があります。

詳細は、中京大学生協ホームページでご案内します。

URL <https://www.univcoop-tokai.jp/chukyouniv-coop/>



### ■在学生

教科書の購入期間があります。中京大学生協のホームページの教科書購入案内を確認の上、購入してください。

## 教務センターについて

### ■教務センターの主な業務

1. 履修登録に関すること
2. 授業及び休講・補講・教室変更に関すること
3. 試験に関すること
4. 成績・卒業見込証明書をはじめとした各種証明書の発行に関すること
5. 進級・卒業に関すること
6. 教職課程に関すること
7. 司書・司書教諭をはじめとした各種資格課程に関すること
8. 研究生・科目等履修生の願書受付に関すること

### ■開室時間と場所

場 所	名古屋キャンパス	豊田キャンパス
	5号館1階	1号館1階
開室時間	平日	9:00~17:00
	土曜日 (補講実施日のみ)	9:00~12:30

※閉室日については、中京大学公式ホームページの学年暦(行事予定)を確認してください。

## 教務センターへの問合せ

教務センターの業務に関することについて問合せをする場合は、以下の点に注意してください。

### 教員への連絡には応じられません。

教員への連絡はCHUKYO MaNaBoのメール機能を通じて行ってください。専任教員の研究室については、中京大学公式ホームページの研究室一覧を確認してください。

教員の電話番号やメールアドレスなど、個人の情報については一切教えられません。

### 電話による学生呼び出し・照会には、一切応じられません。

大学では、学生一人ひとりの所在について把握していません。したがって電話口への取り次ぎや学内放送は一切行いません。家族や友人に周知しておいてください。

### 友人の住所等は教えられません。

プライバシー保護の観点から、友人の住所等については一切教えられません。

# 4 履修登録(春学期・秋学期共通)

問合せ先 教務センター

## 履修登録

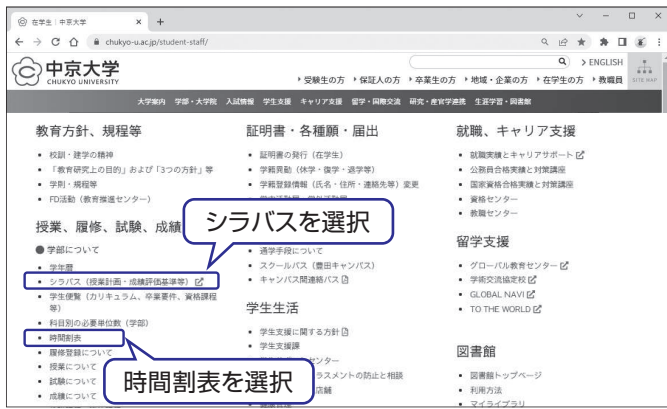
履修登録とは、各自で時間割を作成し、履修しようとする授業科目をパソコンを用いて登録することです。以下資料(①～④)を使用して、時間割を作成します。

### 履修登録時に使用する資料

- ① 学生便覧(履修ガイド)※本冊子
- ② 時間割表(中京大学公式ホームページで参照)  
春学期・秋学期と各学期の時間割を作成する際に使用します。授業科目の「曜日時限」や「担当教員」などが記載されています。在学生へは3月中旬頃に中京大学公式ホームページにPDFで掲載します。所属学部の時間割に記載されている科目が、ご自身の履修可能科目になります。
- ③ シラバス(中京大学公式ホームページで参照)  
インターネットから閲覧することができ、履修登録をする際に、授業内容等を確認するための重要な資料です。授業概要、目的、学修到達目標、授業方法、成績評価方法・基準、教科書・教材・参考文献や授業計画などが記載されています。
- ④ 履修計画表(中京大学公式ホームページからダウンロード)  
CHUKYO ALBOで履修登録をする際に、時間割を組み立てるためのフォーマットです。  
※最終ページに掲載しています。

## シラバス及び時間割表の参照方法

中京大学公式ホームページ→在学生の方→シラバス又は時間割表にアクセスする



※シラバスはALBOからも参照することができます。  
中京大学公式ホームページ→在学生の方→CHUKYO ALBO→シラバスにアクセスする



### 参照可能時間

シラバスの参照可能時間は、6:00～27:00です。

## シラバスのトップ画面

科目名	履修単位数	開講年度	開講学期	開講曜日	開講時限	開講教員	開講時期
科目名	履修単位数	開講年度	開講学期	開講曜日	開講時限	開講教員	開講時期
科目名	履修単位数	開講年度	開講学期	開講曜日	開講時限	開講教員	開講時期

## 履修登録の注意事項

- 卒業要件や授業内容を考慮し、慎重に履修科目の検討をしてください。
- 必ず履修登録期間・時間内に登録作業を行ってください。期間内であれば変更可能です。  
登録の日程については、中京大学公式ホームページの学年暦を確認してください。なお、日程については、変更の可能性があります。詳細な日時については、CHUKYO ALBOの「お知らせ」で案内しますので、必ず確認してください。
- 履修登録修正期間中に、正しく履修登録できているかを確認してください。
- 履修登録はパソコンにてCHUKYO ALBOを利用してください。スマートフォンからも可能な場合がありますが、動作保証の対象外です。
- 履修登録修正期間を過ぎて科目の追加・取消を行うことはできません。

## <中京大学教務規程>(履修登録関連抜粋)

### 第4章 履修登録

#### (履修登録の手続)

第12条 学生は、学期ごとに履修する授業科目について、履修登録を行わなければならない。  
2 履修登録をしていない授業科目は、単位を修得することはできない。

#### (履修登録の無効)

第13条 同一曜日時限に行われる複数の授業科目は、重複して履修登録してはならない。また、同一科目の同時履修や既に単位を修得した授業科目を再度履修することはできない。

#### (履修登録単位数の上限)

第14条 学期ごとに履修登録できる単位数は、各学部・学科の定めるところによる。

#### (履修登録の条件)

第15条 履修登録できる授業科目は、原則として入学年度ごとに定められた教育課程に設置されたものとする。  
2 履修登録は、授業科目ごとに指定された履修可能な学年または班で行わなければならない。

#### (履修者数制限)

第16条 授業内容や施設等の状況によって、履修者数を制限することがある。

#### (履修登録期間)

第17条 履修登録は、学年暦に定める期間に行わなければならない。

#### (履修登録修正)

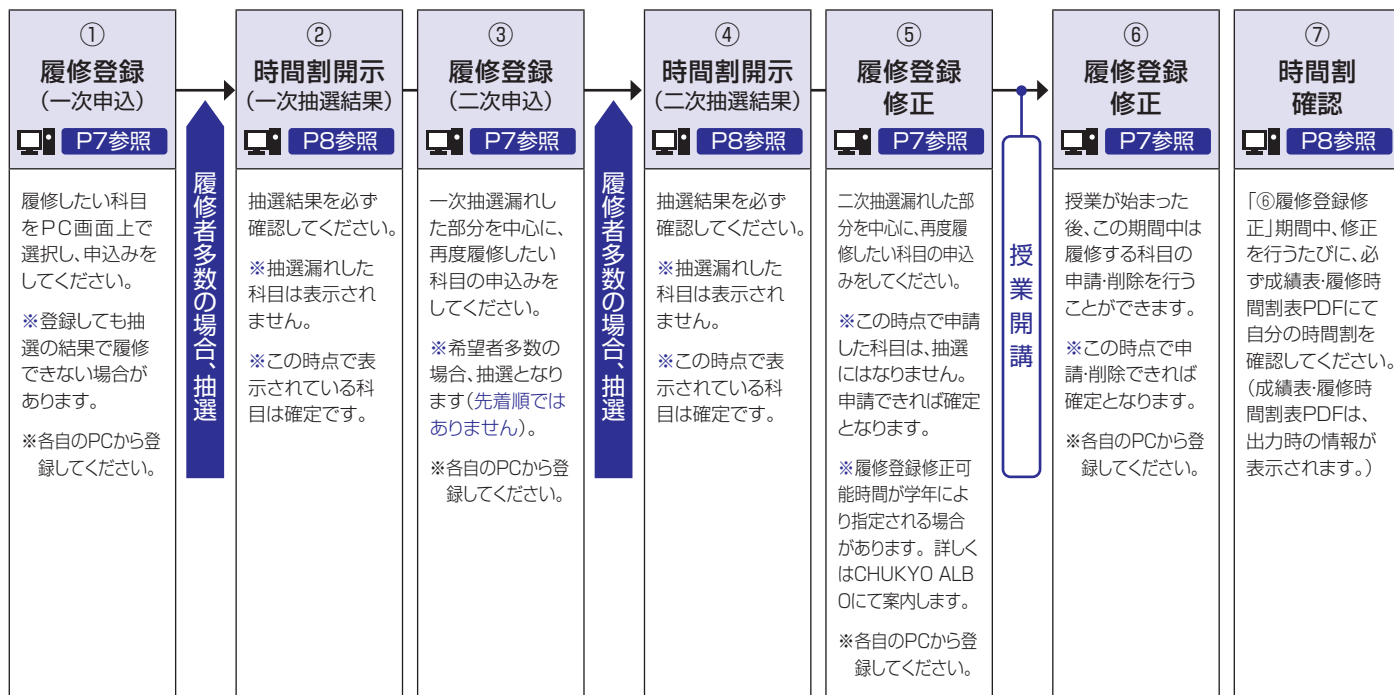
第18条 履修登録後は、学年暦に定める履修登録修正期間に限り、履修登録の修正を認める。それ以外の期間については特別の理由のない限り履修登録の修正は認めない。

#### (履修登録取消)

第19条 負傷、疾病により長期にわたり履修が継続できない場合は、所定の期間に限り、履修登録の取り消しを認めることがある。



## 履修登録の流れ



## 履修登録方法

**(1) CHUKYO ALBOから履修申請画面へ**  
「履修申請・成績時間割表確認」をクリック

**(2) 曜日・時限を選択**  
希望の曜日・時限の「+」をクリック  
集中講義科目は、ページ下欄の「集中・その他」の「+」をクリック  
※ (2)の画面が表示されない場合、下記の「事前準備/個人情報の登録」をご確認ください。

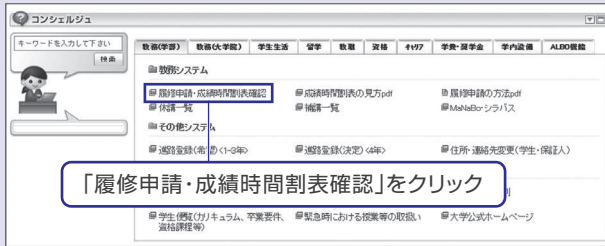
**(3) 科目を選択**  
① 履修する科目にチェック  
② チェック後「選択」をクリック  
※ (2)~(3)の作業を繰り返します

**(4) 科目の登録**  
① 全ての履修希望科目の選択が終了してから、「履修申請」をクリック  
※クリック後、応答まで時間がかかります  
② 完了画面が表示されます  
「申請状況画面へ戻る」をクリック

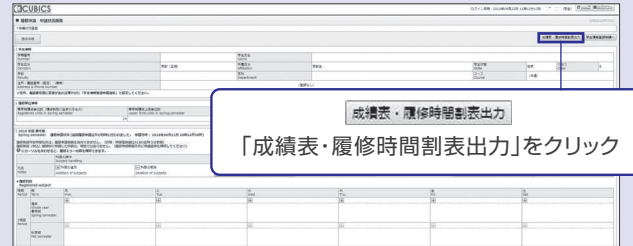
**(5) 登録科目の確認**  
登録した科目の背景色が「黄色」⇒「オレンジ色」になります。科目により抽選があるため、申請時期によっては確定ではない場合があります。  
登録した科目・授業担当教員に誤りがないか確認し、終了したらログアウトしてください

## 時間割・単位修得状況・成績・GPAの確認方法

## (1) 成績時間割表確認画面へ



## (2) 成績表・履修時間割表出力へ



※ (2)の画面が表示されない場合、下記の「事前準備／進路情報の登録」をご確認ください。

## (3) 成績表・履修時間割表(PDF)の表示

**閲覧できなくなる期間があります。**

表示したらスクリーンショットを撮るか、プリントアウトするなどして保存してください。

**① 単位修得状況欄**

現在の履修・修得状況と、卒業に必要な各区分の単位数が表示されます。

**② 履修単位数**

履修中の単位数が表示されます。  
通年科目は、2で割った数値が学期ごとの履修登録制限単位としてカウントされます。  
例) 通年4 春期20 → 春は22単位としてカウント

**③ 履修・修得科目一覧**

現在履修している科目、これまでに履修した科目とその成績が一覧で表示されます。

**④ 履修時間割表**

登録している時間割が表示されます。  
※出力時の情報が表示されます。  
※時間割はMaNaBoでも確認可能です。  
※集中講義科目は、右下「集中講義・その他」欄に表示されます。

**⑤ GPA欄**

トータルGPA及びセメスターごとのGPAが表示されます。

## 集中講義

教育効果を上げるため短期で行う授業のことです。開講科目・開講日時・場所については、時間割表又はCHUKYO ALBOの「お知らせ」で案内します。履修登録を忘れずに行ってください。

## 遠隔授業の修得単位について

法令では、通学制大学の学部授業において、遠隔授業 ▶▶▶ P4参照 に位置づけられる授業で修得した単位は卒業所要単位のうち 60 単位までしか認められないこととされており、本学の学則第 51 条第 4 項にもその旨が定められています。履修しようとする授業が遠隔授業か否かはシラバスで確認できます。卒業所要単位のうち遠隔授業による修得単位数がどれくらいかは自身で管理する必要があります。

## 試験の種類

## ■定期試験

学年暦に定める定期試験期間に行う試験です。

## ■追試験

疾病その他やむを得ない事由により定期試験を受けることができなかった学生に対して行う試験です。

## 受験の条件

- 履修登録した授業であること。
- 当該授業の総授業回数の3分の2以上出席していること。
- 学費が納入されていること。

## 〈受験上の注意(対面による試験)〉

- 監督者の指示に従ってください。
- 一人おきに着席してください。
- 学生証を机の上に置いてください。学生証を持っていない場合は受験することができません。試験開始前までに学生支援課で仮学生証の発給を受けてください。
- 筆記用具及び持込を許可された資料等以外は全てカバンの中に入れてください。
- スマートフォンや携帯電話等を時計代わりに使用することはできません。時計型のウェアラブル端末など時間を計る以外の機能を持った時計の使用も禁止です。また、ノートパソコン・タブレット等を使用することはできません。これらの機器の電源及びアラームを切ってカバンの中に入れてください。
- 机の上に文字・図形・符号等を書かないでください。また既に記載されていた場合は消してください。
- 遅刻者の入室は試験開始後20分まで認めます。それ以降の入室は認めません。
- 試験開始後30分を経過しなければ退室は認められません。なお、試験終了時まで再入室はできません。
- 退室する場合は他の学生の迷惑にならないよう静かに退室してください。
- 試験中の物品貸借や私語は禁止します。
- 答案の提出は必ず各自で行ってください。
- 答案は無解答でも提出してください。なお、試験場から外へ持ち出すことはできません。
- 病気・ケガ等で指定された試験場において受験できないと思われる場合は、あらかじめ教務センターへ申し出て指示を受けてください。
- 受験者以外は試験場内へ立ち入ることはできません。

## 試験時間帯〈1時限 60分〉

試験は、1時限60分です(定期試験・追試験共通)。

時限	時間(名古屋・豊田キャンパス共通)
1	9:30～10:30
2	11:00～12:00
3	13:00～14:00
4	14:30～15:30
5	16:00～17:00

A時限、B時限及びC時限の定期試験及び追試験を行う時間帯は、1時限又は2時限とします。

## 定期試験

## ■定期試験実施期間

定期試験は春学期と秋学期の年2回実施します。

## ■定期試験時間割

試験内容や実施方法は、授業担当教員から授業内又はCHUKYO MaNaBoより確認してください。

対面による定期試験を実施する授業科目の一覧を試験の約1週間前に発表します(中京大学公式ホームページ等にて公開)。

オンラインによる定期試験等を実施する授業もありますので、授業担当教員からの連絡を必ず確認してください。

※定期試験は、通常授業と異なる教室で行う場合があります。

※試験における持込参照物や試験範囲に関する発表は教務センターやCHUKYO ALBOでは行いません。授業中又はCHUKYO MaNaBoより授業担当教員からの連絡を確認してください。

※定期試験におけるレポート提出については「レポート」▶▶▶P11参照を確認してください。

## 追試験

## ■追試験

疾病その他やむを得ない事由により定期試験を受けることができなかった学生に対して行う試験です。

定期試験を正当な理由により欠席した場合は、追試験の申請を行ってください。

定期試験期間外の試験欠席については、各自で授業担当教員から直接指示を受けてください。

追試験を欠席した学生や不合格となった学生に対して、再度追試験は行いません。

## 《対象授業》

- ・定期試験期間中に対面による試験を実施した授業
- ・定期試験期間中にオンラインによる試験を実施した授業の中で追試験対象と指定された一部の授業(CHUKYO ALBO「お知らせ」等で案内予定)

※上記以外の授業で試験を受けられなかった場合は、授業担当教員に直接連絡してください。

※対象授業は変更となる可能性があります。

## 《手続方法》

欠席した当該授業の試験日の翌日から数えて7日以内に、CHUKYO MaNaBoから申請してください。(申請方法の詳細はCHUKYO ALBO「お知らせ」等で案内予定)

## 《CHUKYO MaNaBoで提出する書類》

欠席理由・欠席日を証明できる書類(下記参照)の画像データ

※書類に学籍番号と氏名を明記してください。

## 《受験資格》

欠席理由が以下の①～⑥のいずれかに該当するものを認めます。

欠席理由	必要書類
①公共交通機関の事故・故障等による不通又は遅延	公共交通機関の発行する事故・遅延証明書
②病気又は負傷	医療機関の発行する診断書 ※欠席した期間が記載されているもの
③親族(3親等以内)の死亡又は葬儀	死亡診断書の写し又は葬儀日程のわかる文書
④本学の代表として出場する競技大会又は全国レベル以上の大会への出場	当該大会のプログラム又は参加を証明する文書
⑤就職活動における筆記試験又は面接試験等	試験日等を明示した文書等 ※選考に影響しない、企業説明会、インターンシップは追試験申請の対象となりません。
⑥その他、正当な理由として教授会が認めた事項	受験できなかった理由を証明する文書又は証明可能な書類

※自家用車を利用して遅延した場合は、証明することができないため、欠席や遅刻理由として認められませんので注意してください。

※パソコンの故障や通信障害などの事由による申請は認めません。

パソコンの動作確認を試験前に必ず行ってください。

## 《実施日》

実施期間は、中京大学公式ホームページの学年暦(行事予定)で確認してください。

実施有無・日時・試験方法は、CHUKYO ALBO「お知らせ」等で案内します。実施する場合、日時は原則、「授業と同じ曜日・時限」を適用します。

※授業により必ずしも実施するとは限りません。

## 《評価》

通常評価(S・A・B・C・D・F)となります。

### レポートの種類

1. 授業中に課題として提出するレポート
2. 試験に代わるレポート
3. 単位申請の課題として提出するレポート

### 作成にあたっての禁止事項

1. 他人の著作物やWeb上の情報等を参照・引用したにもかかわらず、引用部分の明示や出典の記載もなく、自身で作成したように記述してはいけません。
2. 他人が作成したレポートを自分のものとして提出してはいけません。
3. 他人に依頼し作成されたレポートを自分のものとして提出してはいけません。
4. 他人に依頼されてレポートを作成してはいけません。
5. 転記目的で他人が作成したレポートの提供を受けてはいけません。また、自身が作成した論文・レポートを転記目的で他人に提供してはいけません。
6. その他、論文・レポートの公平性を損なう行為をしてはいけません。

### 提出時の注意

レポートは、テーマ、枚数、提出期限など異なりますが、以下について特に注意してください。

1. テーマ、科目名、授業担当教員、学部、学科、学年、学籍番号、氏名を記載してください。
2. 一度提出したレポートは締切日前であっても加筆・修正はできません。
3. その他提出方法・期間等、詳細は授業担当教員の指示に従ってください。

#### ①《定期試験期間内にレポートを教室で提出する場合》

定期試験時間割で指定された日時・教室にて提出してください。試験開始後20分までに指定教室に入室しなければ提出できません。

#### ②《教務センターレポート回収ボックスに投函する場合(豊田キャンパス)》

提出場所として回収ボックスが指定された場合のみ投函できます。投函口は科目指定ですので間違いのないよう投函してください。なお、一度投函されたレポートは返却できません。

## 不正行為・義務違反

## ■不正行為について

定期試験において不正行為(「中京大学試験規程」参照)をした場合、当該定期試験期間中に受験した全科目(レポート科目を除く)の成績評価は「F」(不受験)となり、さらに有期停学の処分が課されます。また、追試験を受験することもできません。

その他の試験やレポート等において不正行為(「中京大学学生懲戒規程」参照)をした場合、別表に基づき、懲戒処分を受けることになります。

## ■義務違反について

定期試験において義務違反(「中京大学試験規程」参照)をした場合、当該試験科目の成績評価は「F」となります。また、当該科目の追試験を受験することもできません。

## 《中京大学試験規程》(一部抜粋)

## (定期試験の不正行為)

第9条 定期試験における不正行為とは、その本分に違反して受験した者及びさせた者の行為が次の各号に該当する場合をいう。

- (1) 受験科目の内容を記入した物品等の所持
- (2) 通信機能又は文字、画像等の記録、閲覧等の機能を有した機器の所持
- (3) 答案用紙等の交換及び貸借
- (4) 机上等に受験科目の内容を記入していた場合
- (5) 本人以外の者が受験した場合
- (6) 他の者の答案を写した場合
- (7) 試験場外から答案用紙を持ち込んだ場合
- (8) 参照を許可されていないノート・教科書等を見た場合
- (9) 口頭等による答案の授受
- (10) 参照を許可されているものを貸借した場合
- (11) 前各号の検証のための指示に従わなかった場合
- (12) 試験監督者の監督業務を著しく妨害した場合
- (13) その他前各号に準ずる行為

## (不正行為の懲戒)

第10条 定期試験において不正行為を発見したときは、教務委員会で審議し、不正行為を行った者が所属する学部教授会において懲戒を決定する。この場合の懲戒は、有期停学とし、かつレポート科目及び定期試験期間外に実施される試験を除き、当該学期の定期試験期間中に定期試験が実施された全授業科目の成績評価をFとする。なお、春学期定期試験期間中に定期試験が実施された通年科目の成績評価もFとする。

## (定期試験の義務違反)

第11条 定期試験における義務違反とは、次の各号に該当する場合をいう。

- (1) 試験に使用する用紙が所定の用紙でない場合
- (2) 第9条第11号及び第12号の場合を除き、試験監督者の指示に従わない場合
- (3) 受験時、自己の学生証を机上に提出しない場合
- (4) その他前3号に準ずる場合

## (義務違反の懲戒)

第12条 定期試験において義務違反を発見したときは、教務委員会で審議し、義務違反を行った者が所属する学部教授会において懲戒を決定する。この場合の懲戒は、当該試験科目の成績評価をFとする。なお、通年科目については、第10条に準ずる。

## 《中京大学学生懲戒規程》(一部抜粋)

## (懲戒の対象となる行為)

第5条 懲戒の対象となる行為は、次に掲げるものとする。

- (1) 刑事法上、処罰の対象となる行為(犯罪行為)
- (2) 重大な交通法規違反行為
- (3) ハラスメント行為
- (4) 情報倫理に反する行為
- (5) 研究倫理に反する行為
- (6) 他の学生の学修、研究、教職員の教育研究活動等を妨害する行為
- (7) 試験等における不正行為
- (8) 論文等の作成における学問的倫理に反する行為
- (9) その他学生としての本分に反する行為

2 懲戒の対象となる前項各号に規定する行為の例は別表に定める。

3 第1項各号について、別に規程が定められている場合は、その規程に従う。

## 別表(第5条関係)

区分	第5条第1各号に規定する行為の例	懲戒の標準例
試験・論文等 不正行為	本学が実施する試験(定期試験を除く)等におけるカンニング等の不正行為	停学又は戒告
	本学が実施する試験(定期試験を除く)等において、監督者の注意又は指示に従わなかった場合	停学又は戒告
	論文・レポートの作成等における剽窃、無断引用等の悪質な行為	停学又は戒告

なお、オンラインでの定期試験における禁止事項等については、定期試験期間前にCHUKYO ALBOにて配信しますので確認してください。

## 研究倫理

学生であっても、研究活動に従事するときは、研究者に準ずるものとして扱われますので不正行為にならないよう、十分に注意を払う必要があります。例えば、卒業論文のための研究や、論文執筆において下記のような不正があった場合は、意図的でなくても処罰の対象となる場合があります。

## ■研究における不正行為

ねつ造
存在しないデータ、研究結果等を作成すること。
改ざん
研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を変造又は偽造すること。
盗用
他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること。

## 《中京大学研究倫理規程》(一部抜粋)

## (対象)

第2条 研究者とは、本学の専任の大学教員のみならず、本学において研究活動に従事する者をいう。なお、学生であっても、研究活動に従事するときは、研究者に準ずるものとする。

## (告発等への対応)

第20条 本学は研究倫理に関して、相談、告発等がある場合、適切な措置を講ずる。

## (懲戒)

第22条 研究者は、第20条に規定する措置の結果によっては、「学校法人梅村学園懲戒規程」に従い処分されることがある。

2 前項において、研究者が学生である場合には、「中京大学学生懲戒規程」に従い処分されることがある。

## 成績評価基準

成績評価は、担当教員の評価方法・基準によって、試験(筆記・口頭・実技等)、レポート、授業参加状況等に基づいて行われます。成績評価基準は次のとおりです。

区分	評語	得点	グレード ポイント(GP)	評価内容 (英文内容)
合格	S	100~90点	4.0	学習目標をほぼ完全に達成している (Excellent)
	A	89~80点	3.0	学習目標を相応に達成している (Very Good)
	B	79~70点	2.0	学習目標を相応に達成しているが、不十分な点がある (Good)
	C	69~60点	1.0	学習目標の最低限は満たしている (Pass)
	N	認定	—	本学以外で修得、又は資格を取得したもので本学が単位認定したものの (Credit given under Credit provision)
不合格	D	60点未満	0.0	学習目標の最低限を満たしていない (Fail)
	F	不受験	0.0	成績評価要件を満たしていない(試験不受験、課題未提出、出席不足等) (Withdrawal)

## GPA

GPAとは、Grade Point Averageの略称であり、成績評価を数値化したものです。4.0~0.0という数字で表され、この数値が高いほど優秀な成績を修めているということになります。

## 《GPA導入の目的》

- ①大学教育における成績評価基準の標準化
- ②厳格な成績評価による教育効果の向上

## 《GPA算出式》

成績評価をグレードポイントで置き換え、単位数をかけたものの総和を履修登録単位数で割って求めます。

$$4.0 \times \text{Sの修得単位数} + 3.0 \times \text{Aの修得単位数} + 2.0 \times \text{Bの修得単位数} + 1.0 \times \text{Cの修得単位数}$$

$$\text{GPA} = \frac{\text{総履修登録単位数 (DやFの単位数も含む)}}{\text{総履修登録単位数 (DやFの単位数も含む)}}$$

※全学共通科目・学部固有科目がGPA算出の対象となります。

N(認定された単位)及び自由科目の単位は計算式に含まれません。

※GPAの値は、小数点第4位を切り捨て、小数点第3位までの数値で表示します。

※要卒単位を超えて単位認定された科目は、単位集計表上、自由科目に区分されますが、GPA算出の対象となります。

## 《GPAの運用》

GPAの値を指標として、教育奨励賞の対象者や卒業式での成績優秀表彰者の選考等を行っています。

学習意欲を高めるために、各学期の成績が確定後、GPAの分布と平均値を公表しています。また、GPAの値に基づき、選抜等を行う科目もあります。

## 成績開示

## 《春学期科目》

8月にCHUKYO ALBOで開示します。

開示日は中京大学公式ホームページの学年暦(行事予定)で確認してください。

## 《秋学期科目・通年科目》

2月にCHUKYO ALBOで開示します。

開示日は中京大学公式ホームページの学年暦(行事予定)で確認してください。

## 《成績問合せ》

成績評価に関する問合せは、各学期の成績開示後に受け付けます。問合せ期間及び方法等の詳細についてはCHUKYO ALBOの「お知らせ」で発表します。

ただし、成績評価が妥当でない理由を具体的に事実に基づいて立証することができないものや、成績の再考や救済を求める内容のものは一切受け付けません。また、個々の判断でMaNaBoメールなどを通じて授業担当教員に直接問い合わせることはできません。成績に関する問合せはすべてこの制度を利用してください。

## 《その他》

教育後援会より5月と10月に「成績表・履修時間割表」を保証人宛に送付します。

また、成績不振などの場合に教務センターより保証人宛に成績表・履修時間割表等を送付する場合があります。

## 単位集計表の見方

例)

		⑦	⑧	⑨	⑩
	区分	履修 単位	既修 単位	要卒 単位	卒業 要件
①	卒業要件内	24	96	120	124
②	---- 全学共通科目 ----	2	46	44	44
	教養発展科目	0	2	2	2
	英語基礎A・B	0	4	4	4
	第二外国語基礎A・B	0	4	4	4
	スポーツ・健康(実技)	0	2	2	2
	スポーツ・健康(講義)	0	2	2	2
	自然の探究	0	4	4	4
	人間の探究	0	4	4	4
	社会の探究	2	10	4	4
	複合領域	0	6	4	4
	選択単位	0	8	14	14
③	---- フロート単位 ----	0	0	6	6
④	---- 学部固有科目 ----	22	50	70	74
	必修科目	4	12	16	20
	選択科目	18	38	54	54
⑤	---- 卒業要件外 ----	2	2	4	
	教職課程科目	2	2	4	
	司書課程科目	0	0	0	
	司書教諭課程科目	0	0	0	
	学芸員課程科目	0	0	0	
⑥	自由科目	0	0	0	
	その他	0	0	0	

※集計方法は中京大学ホームページを確認してください。

## ① 卒業要件内

卒業要件に算入される単位数の集計欄です。

## ② 全学共通科目

全学共通科目における各科目区分ごとの集計欄です。

## ③ フロート単位

全学共通科目と学部固有科目の区分で修得した単位のうち、各区分の卒業要件を超過した単位数がフロート単位になります。なおフロートの卒業要件を超過すると自由科目の単位となります。

※フロート単位を設定している学部は、国際学部(18単位)及び心理学部(8単位)のみです。その他の学部には、フロート単位概念はありません。

## ④ 学部固有科目

学部固有科目における各科目区分ごとの集計欄です。

## ⑤ 卒業要件外

教職課程科目及び他の資格科目の集計欄です。

## ⑥ 自由科目

この表における自由科目とは教職・資格科目単位以外で、卒業要件に算入されない単位数です。

## ⑦ 履修単位

履修登録している単位数(通年科目を含む単位数)

## ⑧ 既修単位

すでに修得した単位数

## ⑨ 要卒単位

卒業に必要な単位数をどれだけ満たしているかを示した単位数  
※履修中の単位数(⑦ 履修単位)を含みます。要卒単位は、履修単位がすべて合格すると仮定して算出した数字のため、履修科目が不合格となった場合には、要卒単位の数字がその分だけ減ります。

## ⑩ 卒業要件

卒業に必要な各区分の単位数

## Point!

- 「⑨ 要卒単位」の数値は、「⑩ 卒業要件」の数値を超えることはありません。
- 「⑨ 要卒単位」と「⑩ 卒業要件」の数値が等しい場合は、履修登録中の科目の合格を前提として、その区分については卒業のために必要な要件を満たしていることを意味します。



## 卒業

卒業は、秋学期終了時において、卒業要件を満たした場合に、各学部教授会によりその可否について判定されます。その結果は3月上旬にCHUKYO ALBOの「お知らせ」で連絡します。卒業式の案内は3月中旬に保証人宛に送付します。

## 春学期卒業

春学期終了時において、以下の卒業要件を満たした場合は、各学部教授会による卒業判定後、春学期卒業(9月卒業)となります。その結果は9月中旬までにCHUKYO ALBOの「お知らせ」で連絡します。卒業式の案内を9月中旬に保証人宛に送付します。

## 《卒業要件》

- 通算4年(8セメスター)以上の在学(在学期間に休学は含みません)
- 4年次に2セメスター以上の在学
- 各学部・学科で定められている卒業要件(卒業所要単位、その他要件等)の充足

## ■卒業延期

春学期卒業(9月卒業)の延期(翌年3月卒業)を希望する場合は、期限までに教務センター窓口で「卒業延期願」に必要事項を記入の上提出し、秋学期分学費を納入してください。

卒業延期願の提出期限	8月末日頃 (詳細はCHUKYO ALBOの「お知らせ」で案内します)
卒業延期願の提出先	教務センター

## 《注意事項》

秋学期の履修登録が必要です。ただし、必ずしも単位を修得する必要はありません。

## 《納入する学費》

該当学年に適用される納付金額と同額。

## 留年

進級や卒業に必要な要件を満たさなかった場合は、その学年に留年となります。卒業せずに留年となった場合は、文書をもって、その旨を保証人宛に通知します。

※秋学期に進級することはありません。

※各学部の要件については学生便覧(履修ガイド)【教育課程と資格課程】の「進級要件と卒業要件」を参照してください。

## 《納入する学費》

該当学年に適用される納付金額と同額。



A series of horizontal lines for writing notes.

# スポーツ科学部

## 教育課程と資格課程

**スポーツ科学部 スポーツ教育学科【教育研究上の目的】**

スポーツ科学部は、組織として研究対象とする中心的な学問分野をスポーツ科学とし、当該分野における諸科学の総合的な教育研究を通じて、体育・スポーツ、スポーツと健康、スポーツと社会に関する専門的な知識とそれを応用する能力を涵養するとともに、幅広く深い教養と科学的根拠に基づく意思決定力及び豊かな人間性を兼ね備え、広く社会に貢献できる人材を養成する。

スポーツ教育学科は、スポーツと教育に関する知識を修得し、その知識を総合的に理解・応用することができる能力と、心身の発達段階に応じた実技指導能力及び生涯スポーツ社会における豊かなスポーツライフの実現に寄与できる能力を身につけた人材を養成する。

**スポーツ科学部 スポーツ教育学科【学位授与の方針】**

スポーツ科学部スポーツ教育学科は、定められた課程を修め、以下の学修成果をあげた者に対して学士(スポーツ科学)を授与します。

**<学修成果(教育目標)>**

1. 学術とスポーツを通じて建学の精神の四大綱を体得している。
2. 幅広く深い教養を身につけて、科学的根拠に基づく意思決定ができる。
3. スポーツ科学に関する基礎的知識を総合的に修得し、それらを応用する能力を身につけている。
4. スポーツの実技力と指導力を身につけている。
5. スポーツと教育に関する専門的な知識を活用し、広く社会に貢献することができる。
6. 専門的な知識を学校教育や社会教育に関連づけて活用することができる。

**スポーツ科学部 スポーツ教育学科【教育課程編成・実施の方針】**

スポーツ科学部スポーツ教育学科の教育課程は、学位授与の方針で示した「学修成果」を実現するため、以下に示す教育課程を編成し、実施していくこととします。

**<全学共通科目>**

本学では、人類が築いてきた知の成果に対する理解を深めつつ総合的な知を身につけ、学士課程教育における人材養成の目的を達成するために、教養教育として位置づける「全学共通科目」を配置します。具体的には、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するための「自然の探究」、「人間の探究」、「社会の探究」、「新領域」の科目群、外国語の実践的な運用能力を高めるための「外国語基礎」、「外国語演習」の科目群などから編成します。

**<学部固有科目>**

学部固有科目は、専門教育科目として位置づけ、学部共通科目、学科固有科目及び他学科履修科目から編成します。各学科の人材養成の目的を達成するために必要となる講義科目、演習科目、実技・実習科目を適切に配置するとともに、基礎から応用・展開までを段階的に学べるよう「導入科目」、「基礎科目」、「基幹科目」、「応用科目」、「展開科目」の各科目群から編成することで、科目間の関係や履修順序などに配慮した体系的な編成とします。

**■導入科目**

初年次教育としての「アカデミック・スキルズ」では、本学部での学び方を理解するために教育課程全般、学部のDP・CPやカリキュラムツリー、各科目のシラバスやルーブリックの利用方法などについて学びます。さらに、思考力や判断力、主体性や協調性を高めるための知識と技能を身につけさせる教育も提供します。また、本学の取り組みとして、すべての学部学生が個人用PCを有するBYOD(Bring

Your Own Device)を導入しているため、「情報スキルズ」や「データサイエンス入門」等の科目を配置します。これらの科目では機器やソフトの使用のみならず、情報の活用方法や情報倫理に関する教育を施します。「スポーツ科学入門」は細分化されたスポーツ科学の専門分野について、それぞれの内容や特徴、トピックなどを各分野の専門家である専任教員がオムニバス形式で紹介し、本学部での専門教育を網羅的に把握することができる科目です。これらの導入科目は5学科に共通して配置します。

**■基礎科目**

スポーツ科学を総合的に学ぶ基礎科目として、必修科目を中心に配置します。学部基礎科目には、身体活動の基礎を学ぶ「トレーニング基礎」、「レクリエーション基礎実習」、「健康学概論」を配置し、学科基礎科目には、スポーツ科学の総合的理論を学ぶ「体育・スポーツ原論」、「体育・スポーツ史」、「解剖・生理学」、「運動・スポーツ生理学」、「バイオメカニクス」、「体育・スポーツ心理学」、「生涯スポーツ論」等の基礎科目を配置します。

**■基幹科目**

基幹科目には、学科の基礎となる科目、応用科目には、学科の特性に応じた応用科目や演習科目など、スポーツ科学の専門性を高める科目を配置します。

学部基幹科目には「スポーツ実技A・B・C・D」を、学科基幹科目には、「スポーツ教育学」、「健康教育学」等を配置します。

**■応用科目**

学部応用科目には、「ゼミナール」等を配置します。学科応用科目には、「体育実技指導法」、「学校指導実習」等を配置します。

**■展開科目**

スポーツ科学に関する知見を幅広く総括するための科目を配置し、他学科履修科目はこの科目群に含めることとします。

学部展開科目には「インターンシップ」、「海外事例研究」を、学科展開科目には、「レジャー・レクリエーション論」、「障害者スポーツ論」、「スポーツ法学」等を配置します。

## スポーツ科学部 競技スポーツ科学科【教育研究上の目的】

スポーツ科学部は、組織として研究対象とする中心的な学問分野をスポーツ科学とし、当該分野における諸科学の総合的な教育研究を通じて、体育・スポーツ、スポーツと健康、スポーツと社会に関する専門的な知識とそれを応用する能力を涵養するとともに、幅広く深い教養と科学的根拠に基づく意思決定力及び豊かな人間性を兼ね備え、広く社会に貢献できる人材を養成する。

競技スポーツ科学科は、スポーツ科学に関する知識を修得した上で、競技パフォーマンス向上のためのトレーニング科学、及びコーチング科学に関する知識とそれを実践的場面で応用する技能を有した人材を養成する。

## スポーツ科学部 競技スポーツ科学科【学位授与の方針】

スポーツ科学部競技スポーツ科学科は、定められた課程を修め、以下の学修成果をあげた者に対して学士(スポーツ科学)を授与します。

### <学修成果(教育目標)>

1. 学術とスポーツを通じて建学の精神の四大綱を体得している。
2. 幅広く深い教養を身につけて、科学的根拠に基づく意思決定ができる。
3. スポーツ科学に関する基礎的知識を総合的に修得し、それらを応用する能力を身につけている。
4. スポーツの実技力と指導力を身につけている。
5. 自らの競技パフォーマンスを向上させるためのトレーニングに関する知識と技能を身につけている。
6. 他者の競技パフォーマンスを向上させるためのコーチングに関する知識と技能を身につけている。

## スポーツ科学部 競技スポーツ科学科【教育課程編成・実施の方針】

スポーツ科学部競技スポーツ科学科の教育課程は、学位授与の方針で示した「学修成果」を実現するため、以下に示す教育課程を編成し、実施していくこととします。

### <全学共通科目>

本学では、人類が築いてきた知の成果に対する理解を深めつつ総合的な知を身につけ、学士課程教育における人材養成の目的を達成するために、教養教育として位置づける「全学共通科目」を配置します。具体的には、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するための「自然の探究」、「人間の探究」、「社会の探究」、「新領域」の科目群、外国語の実践的な運用能力を高めるための「外国語基礎」、「外国語演習」の科目群などから編成します。

### <学部固有科目>

学部固有科目は、専門教育科目として位置づけ、学部共通科目、学科固有科目及び他学科履修科目から編成します。各学科の人材養成の目的を達成するために必要となる講義科目、演習科目、実技・実習科目を適切に配置するとともに、基礎から応用・展開までを段階的に学べるよう「導入科目」、「基礎科目」、「基幹科目」、「応用科目」、「展開科目」の各科目群から編成することで、科目間の関係や履修順序などに配慮した体系的な編成とします。

### ■導入科目

初年次教育としての「アカデミック・スキルズ」では、本学部での学び方を理解するために教育課程全般、学部のDP・CPやカリキュラムツリー、各科目のシラバスやルーブリックの利用方法などについて学びます。さらに、思考力や判断力、主体性や協調性を高めるための知識と技能を身につけさせる教育も提供します。また、本学の取り組みとして、すべての学部学生が個人用PCを有するBYOD(Bring

Your Own Device)を導入しているため、「情報スキルズ」や「データサイエンス入門」等の科目を配置します。これらの科目では機器やソフトの使用のみならず、情報の活用方法や情報倫理に関する教育を施します。「スポーツ科学入門」は細分化されたスポーツ科学の専門分野について、それぞれの内容や特徴、トピックなどを各分野の専門家である専任教員がオムニバス形式で紹介し、本学部での専門教育を網羅的に把握することができる科目です。これらの導入科目は5学科に共通して配置します。

### ■基礎科目

スポーツ科学を総合的に学ぶ基礎科目として、必修科目を中心に配置します。学部基礎科目には、身体活動の基礎を学ぶ「トレーニング基礎」、「レクリエーション基礎実習」、「健康学概論」を配置し、学科基礎科目には、スポーツ科学の総合的理論を学ぶ「体育・スポーツ原論」、「体育・スポーツ史」、「解剖・生理学」、「運動・スポーツ生理学」、「バイオメカニクス」、「体育・スポーツ心理学」、「生涯スポーツ論」等の基礎科目を配置します。

### ■基幹科目

基幹科目には、学科の基礎となる科目、応用科目には、学科の特性に応じた応用科目や演習科目など、スポーツ科学の専門性を高める科目を配置します。

学部基幹科目には「スポーツ実技A・B・C・D」を、学科基幹科目には、「トレーニング論」、「コーチング論」等を配置します。

### ■応用科目

学部応用科目には、「ゼミナール」等を配置します。学科応用科目には、「コーチング実習」、「コーチング演習」等を配置します。

### ■展開科目

スポーツ科学に関する知見を幅広く総括するための科目を配置し、他学科履修科目はこの科目群に含めることとします。

学部展開科目には「インターンシップ」、「海外事例研究」を、学科展開科目には、「学校保健」、「衛生・公衆衛生学」、「体育実技指導法」等を配置します。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41

**スポーツ科学部 スポーツ健康科学科【教育研究上の目的】**

スポーツ科学部は、組織として研究対象とする中心的な学問分野をスポーツ科学とし、当該分野における諸科学の総合的な教育研究を通じて、体育・スポーツ、スポーツと健康、スポーツと社会に関する専門的な知識とそれを応用する能力を涵養するとともに、幅広く深い教養と科学的根拠に基づく意思決定力及び豊かな人間性を兼ね備え、広く社会に貢献できる人材を養成する。

スポーツ健康科学科は、スポーツと健康科学に関する専門的な知識を修得した上で、健康づくり運動やレクリエーションスポーツの実践力や指導力を有した人材及び子どもから高齢者までのすべての国民の健康づくりをサポートすることができる能力を有した人材を養成する。

**スポーツ科学部 スポーツ健康科学科【学位授与の方針】**

スポーツ科学部スポーツ健康科学科は、定められた課程を修め、以下の学修成果をあげた者に対して学士(スポーツ科学)を授与します。

**<学修成果(教育目標)>**

1. 学術とスポーツを通じて建学の精神の四大綱を体得している。
2. 幅広く深い教養を身につけて、科学的根拠に基づく意思決定ができる。
3. スポーツ科学に関する基礎的知識を総合的に修得し、それらを応用する能力を身につけている。
4. スポーツの実技力と指導力を身につけている。
5. ライフステージとライフスタイルに応じた健康づくりのための運動・スポーツ指導を実践できる。
6. スポーツを通じたヘルスプロモーション活動を社会で実践する能力を身につけている。

**スポーツ科学部 スポーツ健康科学科【教育課程編成・実施の方針】**

スポーツ科学部スポーツ健康科学科の教育課程は、学位授与の方針で示した「学修成果」を実現するため、以下に示す教育課程を編成し、実施していくこととします。

**<全学共通科目>**

本学では、人類が築いてきた知の成果に対する理解を深めつつ総合的な知を身につけ、学士課程教育における人材養成の目的を達成するために、教養教育として位置づける「全学共通科目」を配置します。具体的には、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するための「自然の探究」、「人間の探究」、「社会の探究」、「新領域」の科目群、外国語の実践的な運用能力を高めるための「外国語基礎」、「外国語演習」の科目群などから編成します。

**<学部固有科目>**

学部固有科目は、専門教育科目として位置づけ、学部共通科目、学科固有科目及び他学科履修科目から編成します。各学科の人材養成の目的を達成するために必要となる講義科目、演習科目、実技・実習科目を適切に配置するとともに、基礎から応用・展開までを段階的に学べるよう「導入科目」、「基礎科目」、「基幹科目」、「応用科目」、「展開科目」の各科目群から編成することで、科目間の関係や履修順序などに配慮した体系的な編成とします。

**■導入科目**

初年次教育としての「アカデミック・スキルズ」では、本学部での学び方を理解するために教育課程全般、学部のDP・CPやカリキュラムツリー、各科目のシラバスやルーブリックの利用方法などについて学びます。さらに、思考力や判断力、主体性や協調性を高めるための知識と技能を身につけさせる教育も提供します。また、本学の取り組

みとして、すべての学部学生が個人用PCを有するBYOD(Bring Your Own Device)を導入しているため、「情報スキルズ」や「データサイエンス入門」等の科目を配置します。これらの科目では機器やソフトの使用のみならず、情報の活用方法や情報倫理に関する教育を施します。「スポーツ科学入門」は細分化されたスポーツ科学の専門分野について、それぞれの内容や特徴、トピックなどを各分野の専門家である専任教員がオムニバス形式で紹介し、本学部での専門教育を網羅的に把握することができる科目です。これらの導入科目は5学科に共通して配置します。

**■基礎科目**

スポーツ科学を総合的に学ぶ基礎科目として、必修科目を中心に配置します。学部基礎科目には、身体活動の基礎を学ぶ「トレーニング基礎」、「レクリエーション基礎実習」、「健康学概論」を配置し、学科基礎科目には、スポーツ科学の総合的理論を学ぶ「体育・スポーツ原論」、「体育・スポーツ史」、「解剖・生理学」、「運動・スポーツ生理学」、「バイオメカニクス」、「体育・スポーツ心理学」、「生涯スポーツ論」等の基礎科目を配置します。

**■基幹科目**

基幹科目には、学科の基礎となる科目、応用科目には、学科の特性に応じた応用科目や演習科目など、スポーツ科学の専門性を高める科目を配置します。

学部基幹科目には「スポーツ実技A・B・C・D」を、学科基幹科目には、「健康運動実践学」、「子どもスポーツ学」等を配置します。

**■応用科目**

学部応用科目には、「ゼミナール」等を配置します。学科応用科目には、「健康運動指導法」、「子どもスポーツ実践演習」等を配置します。

**■展開科目**

スポーツ科学に関する知見を幅広く総括するための科目を配置し、他学科履修科目はこの科目群に含めることとします。

学部展開科目には「インターンシップ」、「海外事例研究」を、学科展開科目には、「レクリエーション指導法」、「体育実技指導法」、「教育実習」等を配置します。

## スポーツ科学部トレーナー学科【教育研究上の目的】

スポーツ科学部は、組織として研究対象とする中心的な学問分野をスポーツ科学とし、当該分野における諸科学の総合的な教育研究を通じて、体育・スポーツ、スポーツと健康、スポーツと社会に関する専門的な知識とそれを応用する能力を涵養するとともに、幅広く深い教養と科学的根拠に基づく意思決定力及び豊かな人間性を兼ね備え、広く社会に貢献できる人材を養成する。

トレーナー学科は、運動による外傷や障害への対応に関する専門的な知識と、科学的根拠に基づいたトレーニング法や健康管理法を修得した上で、スポーツをする全ての人の安全と安心を確保し、パフォーマンスの回復や向上を支援することができる能力を有した人材を養成する。

## スポーツ科学部トレーナー学科【学位授与の方針】

スポーツ科学部トレーナー学科は、定められた課程を修め、以下の学修成果をあげた者に対して学士(スポーツ科学)を授与します。

### <学修成果(教育目標)>

1. 学術とスポーツを通じて建学の精神の四大綱を体得している。
2. 幅広く深い教養を身につけて、科学的根拠に基づく意思決定ができる。
3. スポーツ科学に関する基礎的知識を総合的に修得し、それらを応用する能力を身につけている。
4. スポーツの実技力と指導力を身につけている。
5. トレーニング科学の観点からスポーツパフォーマンスをサポートする実践力を身につけている。
6. 競技者のスポーツ外傷・障害予防及び競技復帰を支援するための実践力を身につけている。

## スポーツ科学部トレーナー学科【教育課程編成・実施の方針】

スポーツ科学部トレーナー学科の教育課程は、学位授与の方針で示した「学修成果」を実現するため、以下に示す教育課程を編成し、実施していくこととします。

### <全学共通科目>

本学では、人類が築いてきた知の成果に対する理解を深めつつ総合的な知を身につけ、学士課程教育における人材養成の目的を達成するために、教養教育として位置づける「全学共通科目」を配置します。具体的には、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するための「自然の探究」、「人間の探究」、「社会の探究」、「新領域」の科目群、外国語の実践的な運用能力を高めるための「外国語基礎」、「外国語演習」の科目群などから編成します。

### <学部固有科目>

学部固有科目は、専門教育科目として位置づけ、学部共通科目、学科固有科目及び他学科履修科目から編成します。各学科の人材養成の目的を達成するために必要となる講義科目、演習科目、実技・実習科目を適切に配置するとともに、基礎から応用・展開までを段階的に学べるよう「導入科目」、「基礎科目」、「基幹科目」、「応用科目」、「展開科目」の各科目群から編成することで、科目間の関係や履修順序などに配慮した体系的な編成とします。

### ■導入科目

初年次教育としての「アカデミック・スキルズ」では、本学部での学び方を理解するために教育課程全般、学部のDP・CPやカリキュラムツリー、各科目のシラバスやルーブリックの利用方法などについて学びます。さらに、思考力や判断力、主体性や協調性を高めるための知識と技能を身につけさせる教育も提供します。また、本学の取り組

みとして、すべての学部学生が個人用PCを有するBYOD(Bring Your Own Device)を導入しているため、「情報スキルズ」や「データサイエンス入門」等の科目を配置します。これらの科目では機器やソフトの使用のみならず、情報の活用方法や情報倫理に関する教育を施します。「スポーツ科学入門」は細分化されたスポーツ科学の専門分野について、それぞれの内容や特徴、トピックなどを各分野の専門家である専任教員がオムニバス形式で紹介し、本学部での専門教育を網羅的に把握することができる科目です。これらの導入科目は5学科に共通して配置します。

### ■基礎科目

スポーツ科学を総合的に学ぶ基礎科目として、必修科目を中心に配置します。学部基礎科目には、身体活動の基礎を学ぶ「トレーニング基礎」、「レクリエーション基礎実習」、「健康学概論」を置き、学科基礎科目には、スポーツ科学の総合的理論を学ぶ「体育・スポーツ原論」、「体育・スポーツ史」、「解剖・生理学」、「運動・スポーツ生理学」、「バイオメカニクス」、「体育・スポーツ心理学」、「生涯スポーツ論」等の基礎科目を配置します。

### ■基幹科目

基幹科目には、学科の基礎となる科目、応用科目には、学科の特性に応じた応用科目や演習科目など、スポーツ科学の専門性を高める科目を配置します。

学部基幹科目には「スポーツ実技A・B・C・D」を、学科基幹科目には、「トレーナー概論」、「スポーツ救急処置」、「運動器の機能解剖学」等を配置します。

### ■応用科目

学部応用科目には、「ゼミナール」等を配置します。学科応用科目には、「アスリート評価法」、「ストレングス&コンディショニング演習・実習」等を配置します。

### ■展開科目

スポーツ科学に関する知見を幅広く総括するための科目を配置し、他学科履修科目はこの科目群に含めることとします。

学部展開科目には「インターンシップ」、「海外事例研究」を、学科展開科目には、「健康運動実習」、「障害者スポーツ」、「体育実技指導法」等を配置します。

**スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科【教育研究上の目的】**

スポーツ科学部は、組織として研究対象とする中心的な学問分野をスポーツ科学とし、当該分野における諸科学の総合的な教育研究を通じて、体育・スポーツ、スポーツと健康、スポーツと社会に関する専門的な知識とそれを応用する能力を涵養するとともに、幅広く深い教養と科学的根拠に基づく意思決定力及び豊かな人間性を兼ね備え、広く社会に貢献できる人材を養成する。

スポーツマネジメント学科は、スポーツに関する基礎知識に加えて、産業や経済、組織運営等について学ぶことにより、各種スポーツ関連施設をはじめ、幅広い領域のスポーツ組織(営利・非営利含む)の運営、及び関連産業・ビジネス分野において、高い実践力と行動力をもって活躍できる人材の養成を目的とする。

**スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科【学位授与の方針】**

スポーツ科学部スポーツマネジメント学科は、定められた課程を修め、以下の学修成果をあげた者に対して学士(スポーツ科学)を授与します。

**<学修成果(教育目標)>**

1. 学術とスポーツを通じて建学の精神の四大綱を体得している。
2. 幅広く深い教養を身につけて、科学的根拠に基づく意思決定ができる。
3. スポーツ科学に関する基礎的知識を総合的に修得し、それらを応用する能力を身につけている。
4. スポーツの実技力と指導力を身につけている。
5. スポーツの経営に関する専門的知識を活用し、様々な事業に関わる能力及び行動力を身につけている。
6. 社会の多様なニーズに応え、広くスポーツ振興に貢献できる知識と能力を身につけている。

**スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科【教育課程編成・実施の方針】**

スポーツ科学部スポーツマネジメント学科の教育課程は、学位授与の方針で示した「学修成果」を実現するため、以下に示す教育課程を編成し、実施していくこととします。

**<全学共通科目>**

本学では、人類が築いてきた知の成果に対する理解を深めつつ総合的な知を身につけ、学士課程教育における人材養成の目的を達成するために、教養教育として位置づける「全学共通科目」を配置します。具体的には、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するための「自然の探究」、「人間の探究」、「社会の探究」、「新領域」の科目群、外国語の実践的な運用能力を高めるための「外国語基礎」、「外国語演習」の科目群などから編成します。

**<学部固有科目>**

学部固有科目は、専門教育科目として位置づけ、学部共通科目、学科固有科目及び他学科履修科目から編成します。各学科の人材養成の目的を達成するために必要となる講義科目、演習科目、実技・実習科目を適切に配置するとともに、基礎から応用・展開までを段階的に学べるよう「導入科目」、「基礎科目」、「基幹科目」、「応用科目」、「展開科目」の各科目群から編成することで、科目間の関係や履修順序などに配慮した体系的な編成とします。

**■導入科目**

初年次教育としての「アカデミック・スキルズ」では、本学部での学び方を理解するために教育課程全般、学部のDP・CPやカリキュラムツリー、各科目のシラバスやルーブリックの利用方法などについて学びます。さらに、思考力や判断力、主体性や協調性を高めるための知

識と技能を身につけさせる教育も提供します。また、本学の取り組みとして、すべての学部学生が個人用PCを有するBYOD(Bring Your Own Device)を導入しているため、「情報スキルズ」や「データサイエンス入門」等の科目を配置します。これらの科目では機器やソフトの使用のみならず、情報の活用方法や情報倫理に関する教育を施します。「スポーツ科学入門」は細分化されたスポーツ科学の専門分野について、それぞれの内容や特徴、トピックなどを各分野の専門家である専任教員がオムニバス形式で紹介し、本学部での専門教育を網羅的に把握することができる科目です。これらの導入科目は5学科に共通して配置します。

**■基礎科目**

スポーツ科学を総合的に学ぶ基礎科目として、必修科目を中心に配置します。学部基礎科目には、身体活動の基礎を学ぶ「トレーニング基礎」、「レクリエーション基礎実習」、「健康学概論」を配置し、学科基礎科目には、スポーツ科学の総合的理論を学ぶ「体育・スポーツ原論」、「体育・スポーツ史」、「解剖・生理学」、「運動・スポーツ生理学」、「バイオメカニクス」、「体育・スポーツ心理学」、「生涯スポーツ論」等の基礎科目を配置します。

**■基幹科目**

基幹科目には、学科の基礎となる科目、応用科目には、学科の特性に応じた応用科目や演習科目など、スポーツ科学の専門性を高める科目を配置します。

学部基幹科目には「スポーツ実技A・B・C・D」を、学科基幹科目には、「スポーツビジネス・産業論」、「スポーツ経営学概論」等を配置します。

**■応用科目**

学部応用科目には、「ゼミナール」等を配置します。学科応用科目には、「スポーツマネジメント演習」、「スポーツプロモーション」等を配置します。

**■展開科目**

スポーツ科学に関する知見を幅広く総括するための科目を配置し、他学科履修科目はこの科目群に含めることとします。

学部展開科目には「インターンシップ」、「海外事例研究」を、学科展開科目には、「学校保健」、「衛生・公衆衛生学」、「教科教育法」等を配置します。



## カリキュラム(教育課程)

カリキュラム(教育課程)とは、教育目標を達成するために、学生の学習段階や能力に応じて編成した教育内容の計画のことです。本学のカリキュラム(教育課程)は、全学共通科目と学部固有科目からなります。卒業にはそれぞれの科目群から学科ごとに必要とされる単位を修得する必要があります。

また、学際的な知識を身につけるための全学開放科目(他学部履修制度)などがあります。

## ■全学共通科目▶▶▶P27参照

教養教育科目ともいいます。所属学部や研究領域を問わず全学生が履修する科目です。

4年間にわたって各学部・学科ごとの学部固有科目と並行して学び、幅広い知識と教養を身につけます。

## ■学部固有科目▶▶▶P30参照

各学部・学科ごとに開講されている専門教育科目です。

学部・学科によって履修の仕組みは異なりますが、一般的には1、2年生で基礎的な科目を学び、3、4年生ではより専門性の高い科目を学びます。大学ならではの授業スタイルである「演習(ゼミナール)」も開講されています。

## ■資格課程【教職・司書課程等】▶▶▶P48参照

専門教育を通じて資格取得を希望する学生のための課程です。

学部・学科ごとにもうけられているもので、「教職課程」をはじめ「司書課程」など多彩な資格課程があります。

※学部・学科によって取得できる資格の種類は異なります。

※資格課程で得られる単位は卒業所要単位には含まれないものもあります。

## ■全学開放科目【他学部履修制度】▶▶▶P45参照

10学部を擁する本学では、学部横断的に学部固有科目を学べる独自の教育システムを設定しています。

他学部の学部固有科目を学ぶことで幅広く深い知識を得られる上、自身の専門分野からのアプローチ以外の学際的な視点・考え方を身につけることができます。

## セメスター制と通年制

セメスター制とは、1年を春学期と秋学期に分け、各学期毎に単位認定を行う制度です。通年制とは、1年間(春・秋の2学期間)で単位認定を行う制度です。本学では基本的にセメスター制としていますが、通年制の科目もあります。

学 年	1		2		3		4	
学 期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8

## 各種サポートプログラム

本学では「学部の学び」に加えて、資格取得サポートや留学サポートプログラム、さらに就職に向けたキャリアサポートプログラムを用意し、入学から卒業まで幅広い支援体制を整えています。

## ■資格取得サポートプログラム(資格センター)

資格センター主催の資格取得プログラムでは、外部専門講師による実践的な試験対策講座を開講し、高い合格率を誇っています。

資格試験対策だけでなく、就職に直結する公務員試験対策など、将来の目的に合わせた資格講座を開講しています。

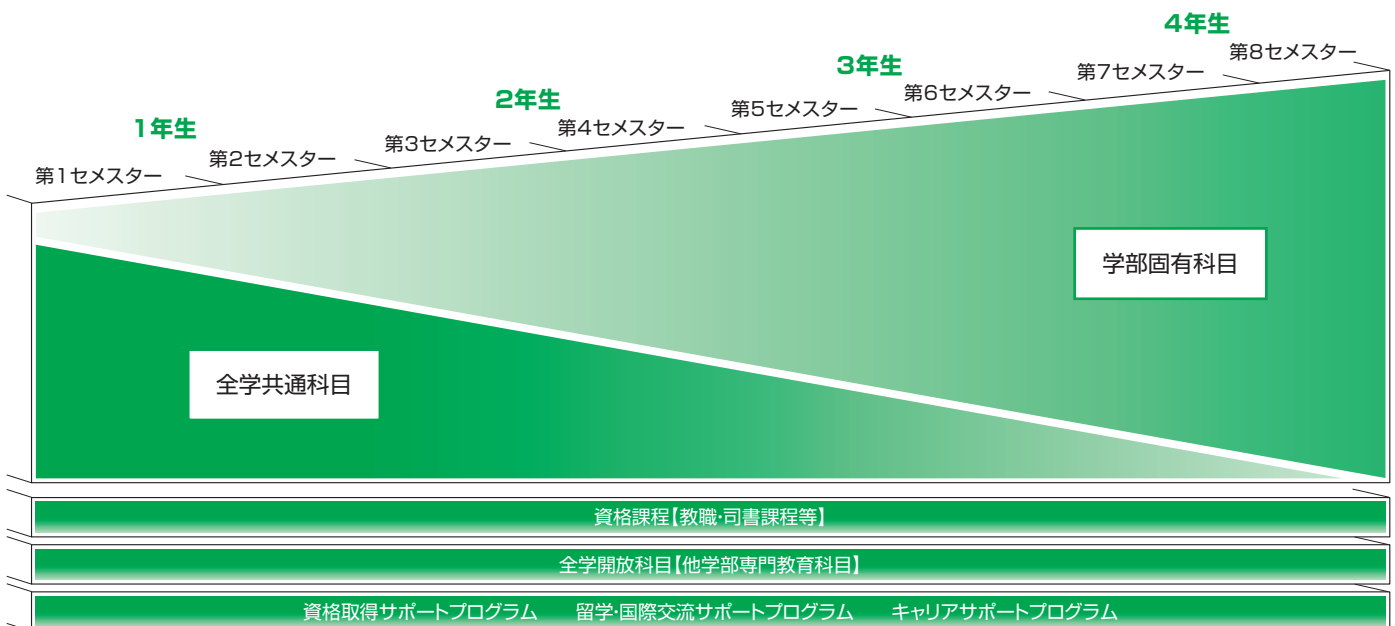
## ■留学・国際交流サポートプログラム(グローバル教育センター)

グローバル教育センターでは、交換・認定留学をはじめ、セメスター留学、ディズニー・インターンシップや海外短期研修など、様々な留学制度を取り揃えています。国際交流全般に関わる窓口として、留学希望者へのサポートのほか、英語対策講座の提供、学内国際交流イベントを実施しています。

## ■キャリアサポートプログラム(キャリア支援課)

就職への意識を高めると同時に自己発見と将来の進路選択のため、1年生から4年生まで、それぞれの学年ごとに「キャリアサポートプログラム」を実施し、早くから就職を意識することで高い成果を上げています。

また、職場体験を通じて職業意識を高める「インターンシッププログラム」も実施しています。



### 授業科目区分

全学共通科目と学部固有科目は次のように区分されます。

1. 必修科目 …… 卒業するために必ず修得しなければならない科目
2. 選択必修科目 …… 選択科目のうち指定された複数の科目から選択して必ず修得しなければならない科目
3. 選択科目 …… 卒業するために各学部の定める科目のうちから適宜選択して修得しなければならない科目
4. 自由科目 …… 単位の認定はされるが、卒業所要単位には算入されない科目

### 単位制

本学では「大学設置基準」にもとづいた単位制を採用しています。単位制とは、授業科目を履修して試験に合格することによって、授業科目ごとに定められている単位を修得する制度のことです。大学設置基準では、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成する旨の内容が記載されています。したがって、単位を修得するには、大学での授業に加え、予習・復習等の自主学習が必要となります。

### 単位数

中京大学学則では、以下のように定められています。

科目区分	授業時間数	単位数
講義科目、演習科目	15～30時間	1単位
外国語基礎科目、実験・実習・実技科目	30～45時間	1単位

### 授業の方法

授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとします。

#### 《講義》

学問の方法や成果、また、研究対象などについて、その内容・性質などを説き聞かせる授業形態。

#### 《演習》

教員の講義と共に、学生も討議・研究発表等を行いつつ指導を受ける授業形態。

#### 《実験》

事柄の当否などを確かめるために、また、ある理論や仮説で考えられていることが、正しいかどうかなどを実際に試してみる授業方法。

#### 《実習》

講義などで学んだ知識を基に、実地(実物)について学習する授業方法。

#### 《実技》

講義などで学んだ知識を基に、実際に演技を行う授業方法。

# 4 進級要件と卒業要件

問合せ先 教務センター

進級要件及び卒業要件は、それぞれに示す条件を満たす必要があります。

## 進級要件

### ■在学期間に関する条件

進級するには、各年次2セメスター以上の在学が必要です。これを満たすと、次年度春学期に進級します。秋学期に進級することはありません。

## 卒業要件

次の条件をどちらも満たしている場合、卒業します。

### ■在学期間に関する条件

通算4年間(8セメスター)以上在学し、かつ4年次に2セメスター以上の在学が必要です。なお、在学期間に休学は含みません。

### ■学業に関する条件

卒業に必要な単位は下表の通りです。履修登録や修得単位の確認については、すべて各自の責任において行ってください。

### スポーツ教育学科

科目区分	卒業所要単位	
全学共通科目	選択必修	24単位
	選 択	16単位
	小 計	40単位
学部固有科目	必 修	34単位
	選択必修	13単位
	選 択	37単位
小 計	84単位	
総 計	124単位	

### 競技スポーツ科学科

科目区分	卒業所要単位	
全学共通科目	選択必修	24単位
	選 択	16単位
	小 計	40単位
学部固有科目	必 修	36単位
	選択必修	8単位
	選 択	40単位
小 計	84単位	
総 計	124単位	

### スポーツ健康科学科

科目区分	卒業所要単位	
全学共通科目	選択必修	24単位
	選 択	16単位
	小 計	40単位
学部固有科目	必 修	40単位
	選択必修	9単位
	選 択	35単位
小 計	84単位	
総 計	124単位	

### トレーナー学科

科目区分	卒業所要単位	
全学共通科目	選択必修	24単位
	選 択	16単位
	小 計	40単位
学部固有科目	必 修	42単位
	選択必修	5単位
	選 択	37単位
小 計	84単位	
総 計	124単位	

### スポーツマネジメント学科

科目区分	卒業所要単位	
全学共通科目	選択必修	24単位
	選 択	16単位
	小 計	40単位
学部固有科目	必 修	38単位
	選択必修	5単位
	選 択	41単位
小 計	84単位	
総 計	124単位	

## 早期卒業制度

スポーツ科学部では、2018年度入学生より優秀な学業成績を修めた学生に対し3年生終了時点での卒業(早期卒業)ができる制度があります(4年生春学期終了時点での早期卒業は認められません)。

### 【早期卒業希望申請時期及び基準】

- ①2年生春学期終了時に68単位以上修得かつトータルGPAが3.4以上
- ②2年生秋学期終了時に88単位以上修得かつトータルGPAが3.4以上

### 【早期卒業の希望を申請できない者】

以下の条件のいずれかに該当する者は早期卒業申請を行うことはできません。

- ①編入学、転入学、再入学により在籍している者。
- ②学部入学前の既修得単位の認定を受けた者(ただし、高等学校在学中に本学が提供する授業の履修による単位認定を受けた者は除く)。
- ③他大学との協定プログラム(通信教育等)を履修している者。

### 【早期卒業の認定を申請できる者】

以下の条件の全てに該当する者とします。

- ①早期卒業を希望する者。
- ②2年生春学期終了時点又は2年秋学期終了時点で早期卒業希望申請を行い、学部から承認を得ている者。
- ③本学に3年以上在学している者。
- ④本学が設置する大学院スポーツ科学研究科の入試に合格し入学手続きを完了した者、又は確実に入学手続きを行う予定の者。
- ⑤卒業に必要な単位をすべて修得している者。
- ⑥指導教員(ゼミ担当教員)が早期卒業に相応しいと推薦する者。

### 【その他留意事項】

- ①希望申請時に審査(希望理由書等の書類審査及び学部教員による面談)を実施します。
- ②早期卒業することにより資格取得や奨学金の受給、体育会活動等に影響がでることがあります。各種資格希望者は必ず事前に関連部署に相談をしてください。
- ③詳細については、別途CHUKYO ALBO、ガイダンス等で案内をします。

## 履修登録制限単位

下表の通り学期毎に定められた履修登録制限単位(1学期に履修できる単位数の限度)を超えて科目を履修登録することはできません。

## 【履修登録制限単位】

学 年	1		2		3		4	
学 期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
制限単位数 (5学科共通)	24	24	24	24	24	24	24	24

履修登録制限単位に算入しない科目があります。学部固有の履修についての該当ページで確認してください。

第7セメスター時に76単位未満の学生は履修制限除外科目を履修しても卒業することはできません。

第8セメスター時に100単位未満の学生は履修制限除外科目を履修しても卒業することはできません。

学年	1年		2年		3年		4年		卒業要件 (40単位)	
系	科目群	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)			
コミュニケーション系(演習系)	ゼミ	基礎ゼミ(2)		教養テーマゼミ(通年4)						
										教養探究ゼミ(2)
		コンピュータ	コンピュータ処理論A(2)		コンピュータ処理論B(2)					
	外国語基礎	英語	ベーシック英語リーディングA(1) エレメンタリー英語リーディングA(1) インターミディエイト英語リーディングA(1) アドバンス英語リーディングA(1)		1単位					
			ベーシック英語リーディングB(1) エレメンタリー英語リーディングB(1) インターミディエイト英語リーディングB(1) アドバンス英語リーディングB(1)		1単位					
			ベーシック英語コミュニケーションA(1) エレメンタリー英語コミュニケーションA(1) インターミディエイト英語コミュニケーションA(1) アドバンス英語コミュニケーションA(1)		1単位					
			ベーシック英語コミュニケーションB(1) エレメンタリー英語コミュニケーションB(1) インターミディエイト英語コミュニケーションB(1) アドバンス英語コミュニケーションB(1)		1単位					
	第一外国語	ドイツ語基礎 A(通年2) ドイツ語基礎 B(通年2) ロシア語基礎 A(通年2) ロシア語基礎 B(通年2) フランス語基礎 A(通年2) フランス語基礎 B(通年2) 中国語基礎 A(通年2) 中国語基礎 B(通年2) スペイン語基礎 A(通年2) スペイン語基礎 B(通年2) 韓国朝鮮語基礎 A(通年2) 韓国朝鮮語基礎 B(通年2)		4単位						
		英語			英語コミュニケーションA(2) 英語コミュニケーションB(2) メディア英語A(2) 英語資格対策I A(2) 英語資格対策I B(2) 英語セミナー A(2)		英語コミュニケーションIIA(2) 英語コミュニケーションIIB(2) メディア英語B(2) 英語資格対策II A(2) 英語資格対策II B(2) 英語セミナー B(2)		左の単位以外で 全学共通科目の いずれかから  16単位	
	第二外国語			ドイツ語演習I(2) ドイツ語応用I(2) ロシア語演習I(2) ロシア語応用I(2) フランス語演習I(2) フランス語応用I(2) 中国語演習I(2) 中国語応用I(2) スペイン語演習I(2) スペイン語応用I(2) 韓国朝鮮語演習I(2) 韓国朝鮮語応用I(2)		ドイツ語演習II(2) ドイツ語応用II(2) ロシア語演習II(2) ロシア語応用II(2) フランス語演習II(2) フランス語応用II(2) 中国語演習II(2) 中国語応用II(2) スペイン語演習II(2) スペイン語応用II(2) 韓国朝鮮語演習II(2) 韓国朝鮮語応用II(2)				
ソフィア系(講義系)	自然の探究	数学 A(2) 化学 A(2)	数学 B(2) 化学 B(2)	統計学 A(2) 地学 A(2)	統計学 B(2) 地学 B(2)	物理学 A(2) 生物学 A(2)	物理学 B(2) 生物学 B(2)	4単位		
	人間の探究	哲学 A(2) 心理学(2) 西洋史 A(2)	哲学 B(2) 日本史 A(2) 西洋史 B(2)	倫理学 A(2) 日本史 B(2) 文学 A(2)	倫理学 B(2) 東洋史 A(2) 文学 B(2)	論理学 A(2) 東洋史 B(2) 言語学 A(2)	論理学 B(2) 言語学 B(2)	4単位		
	社会の探究	日本国憲法(2) 経済学 A(2)	法学(2) 経済学 B(2)	政治学 A(2) 地理学 A(2)	政治学 B(2) 地理学 B(2)	社会学 A(2) 教育学 A(2)	社会学 B(2) 教育学 B(2)	4単位		
	新領域	ジェンダー論A(2) 平和論 A(2)		ジェンダー論B(2) 平和論 B(2)	環境科学 A(2) 職業と社会(2)	環境科学 B(2) 加-00-2777(2)	情報科学 A(2)	情報科学 B(2)	4単位	
				異文化研究(2)						
	テーマ			教養テーマ講義A(2) 教養テーマ講義C(2)		教養テーマ講義B(2) 教養テーマ講義D(2)				
		中京大学を知る(2)								
		海外教養科目(4)								

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41

## 全学共通科目について

大学においては専門的知識を身に付けるだけでなく、幅広く深い教養と総合的な判断力を培うためのカリキュラムが用意されています。全学共通科目には多様な科目が置かれていますので、Webシラバスで各科目の内容を確認して科目を選択し、総合的な知識を身に付けるとともに、論理的思考力とコミュニケーション能力を磨いてください。  
 ※履修登録は各自がCHUKYO ALBOで行います。  
 ※復学者・編転入学者の履修については、教務センター窓口まで申し出てください。

## 不開講科目／履修者数制限

履修希望者が極端に少ない場合、科目によっては、各学期始めに授業担当教員と履修者との合意の上で、その学期の授業を不開講とすることがあります。初回の授業には必ず出席し、授業担当教員の説明をよく聞いてください。

また、履修希望者が多すぎて授業に支障をきたす場合は、履修者数の制限を行うこともあります。

## 基礎ゼミ／教養テーマゼミ／教養探究ゼミ

履修希望者は、初回の授業に必ず出席してください。

## 《履修上の注意》

- ①「基礎ゼミ」は1年生のみ履修登録できる科目です。  
 ※2年生以上の再履修はできません。
- ②「教養テーマゼミ」は1～4年生が履修登録できる科目です。
- ③「教養探究ゼミ」は4年生が秋学期のみ履修登録できる科目です。

## 英語

下表の4区分(英語選必①～④)の中から卒業所要単位として各区分1科目(1単位)を修得してください。

区分	科目名	開講セメスター ／単位数	卒業要件
英語選必 ①	アドバンスト英語リーディングA インターミディエイト英語リーディングA エレメンタリー英語リーディングA ベーシック英語リーディングA	春学期 ／各1単位	1単位 選択 必修
英語選必 ②	アドバンスト英語リーディングB インターミディエイト英語リーディングB エレメンタリー英語リーディングB ベーシック英語リーディングB	秋学期 ／各1単位	1単位 選択 必修
英語選必 ③	アドバンスト英語コミュニケーションA インターミディエイト英語コミュニケーションA エレメンタリー英語コミュニケーションA ベーシック英語コミュニケーションA	春学期 ／各1単位	1単位 選択 必修
英語選必 ④	アドバンスト英語コミュニケーションB インターミディエイト英語コミュニケーションB エレメンタリー英語コミュニケーションB ベーシック英語コミュニケーションB	秋学期 ／各1単位	1単位 選択 必修

※場合によっては不開講となる科目もあります。

## 《履修上の注意》

- ①1年生配当科目のため、1年生で履修することが望まれます。
  - ②シラバスを参照し、各区分(英語選必①～④)から、それぞれ1科目を履修しなければなりません(各科目のレベルと到達目標については下表を参照してください)。
  - ③各区分において履修登録できる科目数は、各学期1科目となります。
  - ④各区分において1科目修得した場合は、同一区分の他の科目は履修できません。
- ※履修登録は各自がCHUKYO ALBOで行います。なお、各科目には定員があり、履修者数制限を行います。

科目名	受講対象者のレベルと到達目標
アドバンスト	これまで英語学習に十分な力を注いできて高い英語力を持ち、さらに力を伸ばしたいと考えている学生や、英検2級程度の英語力を持つ学生を対象とする。英検準1級以上の学力をつけることを目標とする。
インターミディエイト	英検準2級程度の英語力を持ち、大学レベルの英語を身につけたいと考えている学生を対象とする。英検2級以上の学力をつけることを目標とする。
エレメンタリー	英検3級程度の英語力を持つ学生を対象とする。英検準2級程度の学力をつけることを目標とする。
ベーシック	これまで英語学習にあまり力を注いでこなかったために英語の初歩に立ち戻って学習しようと考えている学生や、英検4級程度の英語力を持つ学生を対象とする。英検3級程度の基礎的な学力をつけることを目標とする。

## 第二外国語

ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、韓国朝鮮語が開講されています。

### 《外国語基礎A・B》

1年生は全員、外国語基礎A・Bを履修しなければなりません。各言語及びクラスには定員があり、自動抽選で行います。言語及びクラスは新1年生ガイダンス内で発表します。

### 《外国語演習I・II及び応用I・II》

外国語演習I・II及び応用I・IIを履修する場合は、それに対応した外国語基礎A・Bを両方修得済みか、履修登録をしていなければなりません。履修希望者は必ず初回の授業に出席してください。

## 英語の再履修について

再履修を行う場合は、事前申請が必要です。

詳細はCHUKYO ALBOで案内しますので確認してください。

原則として、開講されている4区分の中の「ベーシック」又は「エリメンタリー」で再履修してください。

## 第二外国語基礎科目の再履修について

再履修は履修登録画面から各自で行ってください。登録は、1年生に履修した外国語と同一の外国語でなければなりません。やむを得ない理由で1年生と異なる外国語の履修を希望する場合には、**1年生の秋学期の成績が開示されてから、2年生春学期の履修登録開始日前日までの間に教務センター窓口へ申し出てください。期間外の申請は認められません。**変更理由やクラス定員の問題により変更が認められない場合もあります。なお、履修登録にあたっては、基礎科目のAとBをセットで登録するようにしてください。

## 第三外国語

第二外国語の内、自分が修得した第二外国語以外の中から3つ目の外国語を修得し、全学共通科目の選択単位として卒業所要単位に算入することができます。

### 《第三外国語としての外国語基礎A・B》

第三外国語を履修する場合は、第二外国語で履修した外国語基礎A・Bの両方を修得済みでなければなりません。

第三外国語は、外国語基礎A・Bいずれか一方でも履修できます。

### 《第三外国語としての外国語演習I・II及び応用I・II》

第三外国語として希望する外国語演習I・II及び応用I・IIを履修する場合は、それに対応した第三外国語の外国語基礎A又はBを修得済みか同時に履修登録しなければなりません。

### 《履修方法》

第三外国語の履修希望者は、**春学期履修登録期間中及び修正期間中に教務センター窓口へ申し出てください。**

※希望するクラスの履修者数が多い場合は、履修できないことがあります。

## 外国語演習(英語)

各科目のレベルと到達目標については下表を参照してください。

科目名	受講対象者のレベルと到達目標
英語コミュニケーションI	「話す」力の育成に重点を置き、オーラルコミュニケーション能力を身に付けます。TOEIC®400点～700点、英検2級、準2級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語コミュニケーションII	「話す」力の育成に重点を置き、オーラルコミュニケーション能力を身に付けます。TOEIC®700点程度、英検準1級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
メディア英語	新聞、雑誌、テレビなどのメディアで使われる英語の理解力向上をはかります。
英語資格対策I	留学や就職など様々な場で必要となる英語試験の対策を通じて総合的な英語力の向上をめざします。TOEIC®400点～700点、英検2級、準2級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語資格対策II	留学や就職など様々な場で必要となる英語試験の対策を通じて総合的な英語力の向上をめざします。TOEIC®700点程度、英検準1級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語セミナー	専門的な英語の運用能力向上を望む学生のニーズに応えるための上級者用集中クラスです。

### 《履修上の注意》

「英語コミュニケーションIA、IIA、IB、IIB」と「英語資格対策IA、IIA、IB、IIB」については、それぞれ以下の履修登録上の制限があります。

- ①春学期にIAとIIAを同時に履修登録することはできません。
- ②秋学期にIBとIIBを同時に履修登録することはできません。
- ③IIAを修得後、IAを履修登録することはできません。
- ④IIBを修得後、IBを履修登録することはできません。

## 自然の探究／人間の探究／社会の探究／新領域

「〇〇A」と「〇〇B」は独立した科目です。Webシラバスで各科目の内容を確認してください。

## 海外教養科目

- ①グローバル教育センターの交換留学及び認定留学に参加した学生が留学先大学で修得した科目については、原則として全学共通科目にある科目に読み替えてこれを認定します(成績表上には「N」として表記されます)。
- ②上記読み替えがきかない科目の中で、教養教育研究院が認めた科目については、全学共通科目の「海外教養科目」として認定します。
- ③「海外教養科目」として認定できる単位数は4単位までとし、1又は3単位などの分割認定も認めます。

◎:必修科目(卒業要件:34単位) ●:選択必修科目(卒業要件:13単位) なし:選択科目(卒業要件:37単位) ▲:自由科目(卒業要件外)

区分	学年 期	1年		2年		3年		4年	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
		科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)
学部共有科目	導入科目	◎スポーツ科学入門(2) ◎アカデミック・スキルズ(2)	◎テータサイエンス入門(2) ◎情報スキルズ(2)						
	基礎科目	◎トレーニング基礎(2) レクリエーション基礎実習(1)		◎健康学概論(2)					
	基幹科目	●スポーツ実技A(半期各1)※1 (バレーボール・バスケットボール・サッカー・ソフトボール・ラグビー・ハンドボール)		●スポーツ実技B(半期各1)※2 (陸上競技トラック・陸上競技フィールド・器械運動・水泳)		●スポーツ実技D(半期各1)※3 (バドミントン・卓球・テニス)			
			野外活動実習(スキー)(2)	野外活動実習(マリンスポーツ)(2)		野外活動実習(各2) (アウトドアスポーツ・キャンプ)			
	応用科目					◎ゼミナールA(2) ◎ゼミナールB(2) 運動生理学演習(2) バイオメカニクス演習(2) スポーツ心理学演習(2) スポーツ栄養学演習(2) 健康診断演習(2) 衛生・公衆衛生学演習(2) スポーツ人文科学演習(2) スポーツ社会科学演習(2)	◎ゼミナールC(2)	◎ゼミナールD(2)	
	展開科目				海外事例研究(2)	スポーツ科学特論(2) スポーツ科学英語A(2)   スポーツ科学英語B(2) インターンシップI(2) インターンシップII(2) 海外課題研究(8)			スポーツ実技E(半期各1) (ゴルフ・スケート・ニュースポーツA・ ニュースポーツB・ジャズダンス)
	基礎科目	◎解剖・生理学A(2) ◎解剖・生理学B(2) ◎体育・スポーツ原論(2) ◎体育・スポーツ史(2)		◎運動・スポーツ生理学(2) ◎バイオメカニクス(2) ◎体育・スポーツ心理学(2) ◎生涯スポーツ論(2)					
	基幹科目	スポーツ救急処置(2)		スポーツ社会学(2) スポーツ教育学(2)   健康教育学(2) 体育科教育法IA(2)※5   保健科教育法IA(2)※5 ダイシテイ社会論(2) スポーツ行政・政策論(2)					
	応用科目		運動部指導観察演習(2)		運動部指導観察演習(2)	保健体育科総合演習A(2)※5   保健体育科総合演習B(2)※5 衛生・公衆衛生学A(2) 衛生・公衆衛生学B(2) 学校保健A(2)   学校保健B(2) ●体育実技指導法(半期各2)※4 (武道・球技・体づくり運動・ダンス・ 陸上競技・器械運動・水泳) 学校指導実習(1) (通年)教育実習I(5)※5	運動部指導観察演習(2)	運動部指導観察演習(2)	
	展開科目	レジャー・レクリエーション論(2)	障害者スポーツ論(2)	レクリエーション指導法(2) 健康運動実習A(1) 健康運動実習B(1) 発育老化論(2) 安全教育(2)	レクリエーション指導法II(2) 健康運動実習A(1) 健康運動実習B(1) 発育老化論(2) 安全教育(2)	武道論(2) スポーツ法学(2) スポーツ栄養学(2)	スポーツ環境論(2) スポーツ経営学概論(2) 救急処置演習(2) 障害者スポーツ実習(1)	スポーツ組織経営論(2)	
他学科開講科目	競技スポーツ科	スポーツパフォーマンス実習I(1)	スポーツパフォーマンス実習II(1)	スポーツパフォーマンス実習III(1) トレーニング演習(2) トレーニング論A(2) トレーニング論B(2)	スポーツパフォーマンス実習IV(1)	コーチング科学A(2) コーチング科学B(2)	▲コーチング演習(専門種目)A(2)	▲コーチング演習(専門種目)B(2)	
	スポーツ健康科			スポーツ医学A(2)	スポーツ医学B(2)	リハビリテーション(2) スポーツ医学演習(2)			
	トレーナー		トレーナー事例研究(2)	コンディショニング論(2)		トレーニングプログラムデザイン(2)			
	スポーツマネジメント		スポーツマネジメント事例研究(2)		スポーツメディア/ジャーナリズム論(2)	地域開発論/スポーツツーリズム(2)	国際開発論(2) スポーツ施設管理論(2)		

※1 &lt;卒業要件&gt;スポーツ実技A:4単位 ※2 &lt;卒業要件&gt;スポーツ実技B・C:各3単位

※3 &lt;卒業要件&gt;スポーツ実技D:1単位

※4 &lt;卒業要件&gt;体育実技指導法:2単位

※5 小学校教員養成特別プログラム受講生のみ(履修必修)

※6 教職課程履修者のみ履修可



# 8 履修モデル(スポーツ教育学科)

問合せ先 教務センター

## 2つの履修モデル

スポーツ教育学科では、科目を履修(選択)する際の目安として、2つの履修モデルを設定しています。自分の将来像をよく考え、下記の履修モデルを参考に科目を履修(選択)してください。

### <学校教育モデル>

学校体育に焦点をあてた履修モデルが「学校教育モデル」である。このモデルでは、保健体育科教員として学校教育の中でスポーツを教育していくための理論と実践を学ぶ。教員免許状取得のための教職課程で定められた履修内容に加えて、学科独自の科目(「学校指導実習」、「保健体育科教科内容論」、「運動部指導観察演習」など)も履修する。こうしたことにより、保健体育科教員として求められる資質と能力を身につけることができる。卒業後は、教員免許状の取得により中学校、高等学校の保健体育科教諭として学校教育に関わる、あるいは児童生徒に対して教育的立場からスポーツ指導に関わる。

○：必修科目(卒業要件：34単位) ●：選択必修科目(卒業要件：13単位) なし：選択科目(卒業要件：37単位)

学年 期	1年		2年		3年		4年		単 位 数 計	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター		
区分	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位
学部 共通 科目	導入	○スポーツ科学入門 2 ○アカデミック・スキルズ 2	○情報スキルズ 2 ○レクリエーション基礎実習 1							6
	基礎	●スポーツ実技A (2種目選択) 2	●スポーツ実技A (2種目選択) 2	●スポーツ実技B (2種目選択) 2 ●スポーツ実技C (1種目選択) 1	●スポーツ実技B (1種目選択) 2 ●スポーツ実技C (2種目選択) 2	●スポーツ実技D (1種目選択) 1				13
	応用					○ゼミナールA ○○○演習 (1科目選択) 2	○ゼミナールB 2	○ゼミナールC 2	○ゼミナールD 2	10
	展開					○スポーツ科学特論 2 ○スポーツ科学英語A(又はB) 2		○スポーツ実技E (1種目選択) 1		5
スポーツ 教育 学科 開講 科目	基礎	○解剖・生理学A 2 ○体育・スポーツ原論 2	○解剖・生理学B 2 ○体育・スポーツ史 2	○運動・スポーツ生理学 2 ○体育・スポーツ心理学 2	○バイオメカニクス 2 ○生涯スポーツ論 2					16
	基礎		○スポーツ救急処置 2	○スポーツ社会学 2	○体育科教育法B 2	○保健科教育法B 2				8
	応用				○運動部指導観察演習 2	○学校保健A 2 ○衛生・公衆衛生学A 2 ○体育実技指導法 (1種目選択) 2 ○学校指導実習 1	○学校保健B 2 ○衛生・公衆衛生学B 2 ○保健体育科教科内容論 2 ○体育科教育法II 2	(通年)教育実習I		5 <sup>24</sup>
	展開		○障害者スポーツ論 2		○安全教育 2	○スポーツ法学 2	○スポーツ栄養学 2	○保健科教育法II 2 ○スポーツ組織経営論 2		10

### <生涯教育モデル>

生涯スポーツを対象とした履修モデルが「生涯教育モデル」である。このモデルでは、学齢期も含めた生涯全体にわたるスポーツに関する理論と実践を学ぶ。「学校教育モデル」が教職課程を核にした学びであるのに対して、このモデルではより幅広い視点からスポーツ教育に関して学ぶ。例えば、「体育科教育法」、「保健科教育法」を「スポーツ教育学」、「健康教育学」として学び、さらにレクリエーションやスポーツ行政・政策、スポーツ経営に関する科目を学ぶ。こうしたことにより、生涯にわたる幅広い年齢層を対象としたスポーツ教育を行う資質と能力を身につけることができる。卒業後は、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動など、様々な場や機会を通じて教育を行う。

○：必修科目(卒業要件：34単位) ●：選択必修科目(卒業要件：13単位) なし：選択科目(卒業要件：37単位)

学年 期	1年		2年		3年		4年		単 位 数 計	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター		
区分	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位
学部 共通 科目	導入	○スポーツ科学入門 2 ○アカデミック・スキルズ 2	○データサイエンス入門 2 ○情報スキルズ 2							8
	基礎	○トレーニング基礎 2	○レクリエーション基礎実習 1		○健康学概論 2					5
	基礎	●スポーツ実技A (2種目選択) 2	●スポーツ実技A (2種目選択) 2	●スポーツ実技B (1種目選択) 1 ●スポーツ実技C (2種目選択) 2	●スポーツ実技B (2種目選択) 2 ●スポーツ実技C (1種目選択) 1	●スポーツ実技D (1種目選択) 1				13
	応用					○ゼミナールA 2	○ゼミナールB 2	○ゼミナールC 2	○ゼミナールD 2	8
スポーツ 教育 学科 開講 科目	基礎	○解剖・生理学B 2 ○体育・スポーツ史 2	○解剖・生理学A 2 ○体育・スポーツ原論 2	○バイオメカニクス 2 ○生涯スポーツ論 2	○運動・スポーツ生理学 2 ○体育・スポーツ心理学 2					16
	基礎			○スポーツ社会学 2 ○スポーツ教育学 2	○ダイバシティ社会論 2 ○健康教育学 2 ○スポーツ行政・政策論 2					10
	応用					○衛生・公衆衛生学A(又はB) 2 ●体育実技指導法 (1種目選択) 2				4
	展開	○レジャー・レクリエーション論 2	○障害者スポーツ論 2	○健康運動実習A 1 ○レクリエーション指導法I 2	○健康運動実習B 1 ○レクリエーション指導法II 2	○武道論 2	○スポーツ栄養学 2	○スポーツ環境論 2 ○スポーツ経営学概論 2 ○救急処置演習 2 ○障害者スポーツ実習 1		21

◎:必修科目(卒業要件:36単位) ●:選択必修科目(卒業要件:8単位) なし:選択科目(卒業要件:40単位)

区分	学年 期	1年		2年		3年		4年	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
		科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)
学部共有科目	導入科目	◎スポーツ科学入門(2) ◎アカデミック・スキルズ(2)	テータサイエンス入門(2) ◎情報スキルズ(2)						
	基礎科目	◎トレーニング基礎(2) レクリエーション基礎実習(1)		◎健康学概論(2)					
	基幹科目	●スポーツ実技A(半期各1)※1 (バレーボール・バスケットボール・サッカー・ソフトボール・ラグビー・ハンドボール)		●スポーツ実技B(半期各1)※2 (陸上競技トラック・陸上競技フィールド・器械運動・水泳) ●スポーツ実技C(半期各1)※2 (柔道・剣道・ダンス・体づくり運動)		●スポーツ実技D(半期各1)※3 (バドミントン・卓球・テニス)			
			野外活動実習(スキー)(2)	野外活動実習(マリンスポーツ)(2)	野外活動実習(各2) (アウトドアスポーツ・キャンプ)				
	応用科目				◎ゼミナールA(2) ◎ゼミナールB(2) 運動生理学演習(2) バイオメカニクス演習(2) スポーツ心理学演習(2) スポーツ医学演習(2) スポーツ栄養学演習(2) 健康診断演習(2) 衛生・公衆衛生学演習(2) スポーツ人文科学演習(2) スポーツ社会科学演習(2)	◎ゼミナールC(2)	◎ゼミナールD(2)		
	展開科目				海外事例研究(2)	スポーツ科学特論(2) インターンシップI(2) インターンシップII(2) 海外課題研究(8)			スポーツ実技E(半期各1) (ゴルフ・スケート・ニュースポーツA・ニュースポーツB・ジャズダンス)
	基礎科目	◎解剖・生理学A(2) ◎解剖・生理学B(2) ◎体育・スポーツ原論(2) ◎体育・スポーツ史(2) ◎スポーツキャリアデザイン(2)		◎運動・スポーツ生理学(2) ◎バイオメカニクス(2) ◎体育・スポーツ心理学(2) ◎生涯スポーツ論(2)					
	基幹科目	スポーツ救急処置(2)		トレーニング論A(2) トレーニング論B(2) トレーニング演習(2) コーチング論A(2) コーチング論B(2)					
	応用科目	スポーツパフォーマンス実習I(1)	スポーツパフォーマンス実習II(1)	スポーツパフォーマンス実習III(1) スポーツ社会学(2)	スポーツパフォーマンス実習IV(1)	スポーツパフォーマンス実習V(1) コーチング科学A(2)	スポーツパフォーマンス実習VI(1) コーチング科学B(2)	スポーツパフォーマンス実習VII(1) コーチング演習(専門種目)A(2)	スポーツパフォーマンス実習VIII(1) コーチング演習(専門種目)B(2)
展開科目			健康運動実習A(1) 健康運動実習B(1) 安全教育(2)		衛生・公衆衛生学A(2) 衛生・公衆衛生学B(2) 学校保健A(2)	救急処置演習(2) 学校保健B(2) 保健体育科教科内容論(2)※4			
他学科開講科目	スポーツ教育		運動部指導観察演習(2)		運動部指導観察演習(2)		運動部指導観察演習(2)	運動部指導観察演習(2)	
	スポーツ健康科			スポーツ医学A(2) 発育老化論(2)	スポーツ医学B(2)				
	トレーナー		トレーナー事例研究(2)	コンディショニング論(2)		トレーニングプログラムデザイン(2)			
	スポーツマネジメント		スポーツマネジメント事例研究(2)	スポーツビジネス・産業論(2) スポーツマーケティング論(2)	スポーツプロモーション論(2)	[通年]スポーツマネジメント演習(2) 地域開発論/スポーツツーリズム(2)	国際開発論(2) スポーツ施設管理論(2)		

※1 <卒業要件>スポーツ実技A:3単位 ※2 <卒業要件>スポーツ実技B・C:各2単位  
 ※3 <卒業要件>スポーツ実技D:1単位 ※4 教職課程履修者のみ履修可

2つの履修モデル

競技スポーツ科学科では、科目を履修(選択)する際の目安として、2つの履修モデルを設定しています。自分の将来像をよく考え、下記の履修モデルを参考に科目を履修(選択)してください。

<競技スポーツモデル>

自らの競技パフォーマンスを向上させるための理論と実践を学ぶためのモデル。このモデルでは、スポーツ科学の基礎となる専門知識を修得した後、心・技・体を高めるための理論及び実践方法について学び、自らの競技スポーツの実践を通して、それらの効果を体現する。これにより、自らの競技パフォーマンスを向上させることができ、理論に基づいた競技スポーツの実践力を身につけることができる。卒業後にはプロスポーツ、企業スポーツなどのアスリートとして、日本の国際的スポーツ競技力の向上に寄与するだけでなく、競技活動を通して培った高いリーダーシップ、コミュニケーション能力を有した社会人として、様々な業種において広く社会に貢献する。

◎：必修科目(卒業要件：36単位) ●：選択必修科目(卒業要件：8単位) なし：選択科目(卒業要件：40単位)

学年 期	1年		2年		3年		4年		単 位 数 計							
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター								
区分	要 修 単 位	科 目 名	要 修 単 位	科 目 名	要 修 単 位	科 目 名	要 修 単 位	科 目 名	要 修 単 位	科 目 名	要 修 単 位	科 目 名	要 修 単 位	科 目 名	要 修 単 位	
学部 共通 科目	導入	◎スポーツ科学入門 2 ◎アカデミック・スキルズ 2	◎情報スキルズ 2												6	
	基礎	◎トレーニング基礎 2	レクリエーション基礎実習 1			◎健康学概論 2									5	
	基幹	●スポーツ実技A (2種目選択) 2	●スポーツ実技A (1種目選択) 1	●スポーツ実技B (1種目選択) 1 ●スポーツ実技C (1種目選択) 1	●スポーツ実技B (1種目選択) 1 ●スポーツ実技C (1種目選択) 1	●スポーツ実技B (1種目選択) 1 ●スポーツ実技C (1種目選択) 1	●スポーツ実技D (1種目選択) 1									10
	展開						◎ゼミナールA ○○○○演習 (1科目選択) 2	◎ゼミナールB 2	◎ゼミナールC 2	◎ゼミナールD 2					10	
競技 スポ ーツ 科 学 科 開 講 科 目	基礎	◎解剖・生理学A 2 ◎体育・スポーツ原論 2	◎解剖・生理学B 2 ◎体育・スポーツ史 2 ◎スポーツキャリアデザイン 2	◎運動・スポーツ生理学 2 ◎体育・スポーツ心理学 2	◎バイオメカニクス 2 ◎生涯スポーツ論 2										18	
	基幹			トレーニング論A 2 トレーニング演習 2	トレーニング論B 2										6	
	応用				スポーツ社会学 2	スポーツ栄養学 2 武道論 2 スポーツ法学 2 スポーツパフォーマンス実習V 1	スポーツ環境論 2	スポーツ技術・戦術論 2							22	
	展開	スポーツパフォーマンス実習I 1	スポーツパフォーマンス実習II 1	スポーツパフォーマンス実習III 1	スポーツパフォーマンス実習IV 1			スポーツ経営学概論 2 スポーツパフォーマンス実習VI 1	スポーツパフォーマンス実習VII 1		スポーツ実技E (1種目選択) 1	スポーツ実技E (1種目選択) 1			4	
			安全教育 2 健康運動実習A 1	健康運動実習B 1			救急処置演習 2							6		

<スポーツコーチングモデル>

他者の競技パフォーマンスを向上させるための理論と実践を学ぶためのモデル。このモデルでは、スポーツ科学の基礎となる専門知識を修得した後、心・技・体を高めるための理論、及びそれらを他者に実践させるコーチング方法について学ぶ。これにより、他者の競技パフォーマンスを向上させることができ、理論に基づいたコーチングの実践力を身につけることができる。卒業後にはプロスポーツ、企業スポーツの高水準のスポーツだけでなく、子どものクラブ活動などのコーチとして、日本の国際的スポーツ競技力の向上に寄与する。また、競技スポーツのコーチングを通じて培った高いリーダーシップ、コミュニケーション能力を有した社会人として、様々な業種において広く社会に貢献する。

◎：必修科目(卒業要件：36単位) ●：選択必修科目(卒業要件：8単位) なし：選択科目(卒業要件：40単位)

学年 期	1年		2年		3年		4年		単 位 数 計						
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター							
区分	要 修 単 位	科 目 名	要 修 単 位	科 目 名	要 修 単 位	科 目 名	要 修 単 位	科 目 名	要 修 単 位	科 目 名	要 修 単 位	科 目 名	要 修 単 位	科 目 名	要 修 単 位
学部 共通 科目	導入	◎スポーツ科学入門 2 ◎アカデミック・スキルズ 2	データサイエンス入門 2												8
	基礎	◎トレーニング基礎 2	レクリエーション基礎実習 1	◎健康学概論 2											5
	基幹	●スポーツ実技A (2種目選択) 2	●スポーツ実技A (1種目選択) 1	●スポーツ実技B (1種目選択) 1 ●スポーツ実技C (1種目選択) 1	●スポーツ実技B (1種目選択) 1 ●スポーツ実技C (1種目選択) 1			●スポーツ実技D (1種目選択) 1							10
	展開						◎ゼミナールA 2	◎ゼミナールB 2	◎ゼミナールC 2	◎ゼミナールD 2					8
競技 スポ ーツ 科 学 科 開 講 科 目	基礎	◎解剖・生理学B 2 ◎体育・スポーツ史 2	◎解剖・生理学A 2 ◎体育・スポーツ原論 2 ◎スポーツキャリアデザイン 2	◎バイオメカニクス 2 ◎生涯スポーツ論 2	◎運動・スポーツ生理学 2 ◎体育・スポーツ心理学 2										18
	基幹		◎スポーツキャリアデザイン 2 ◎スポーツ救急処置 2	コーチング論A 2	コーチング論B 2 トレーニング論B 2										8
	応用				スポーツ社会学 2	コーチング科学A 2 コーチング実習I 1	コーチング科学B 2 コーチング実習II 1	コーチング演習(専門種目)A 2 コーチング実習III 1	コーチング演習(専門種目)B 2 コーチング実習IV 1						14
	教職				学校保健A 2 衛生・公衆衛生学A 2	学校保健B 2 衛生・公衆衛生学B 2	保健体育科教科内容論 2 保健体育科教育法I 2	保健体育科教科内容論 2 保健体育科教育法II 2							8
				体育科教育法I 2						保健科教育法II 2 (通年)教育実習I				17	

◎:必修科目(卒業要件:40単位) ●:選択必修科目(卒業要件:9単位) なし:選択科目(卒業要件:35単位) ▲:自由科目(卒業要件外)

区分	学年 期	1年		2年		3年		4年	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
		科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)
学部共有科目	導入科目	◎スポーツ科学入門(2) ◎アカデミック・スキルズ(2)	◎テータサイエンス入門(2) ◎情報スキルズ(2)						
	基礎科目	◎トレーニング基礎(2) レクリエーション基礎実習(1)		◎健康学概論(2)					
	基幹科目	●スポーツ実技A(半期各1)※1 (バレーボール・バスケットボール・サッカー・ソフトボール・ラグビー・ハンドボール)		●スポーツ実技B(半期各1)※2 (陸上競技トラック・陸上競技フィールド・器械運動・水泳) ●スポーツ実技C(半期各1)※2 (柔道・剣道・ダンス・体づくり運動)		●スポーツ実技D(半期各1)※2 (バドミントン・卓球・テニス)			
			野外活動実習(スキー)(2)	野外活動実習(マリンスポーツ)(2)		野外活動実習(各2) (アウトドアスポーツ・キャンプ)			
	応用科目					◎ゼミナールA(2) ◎ゼミナールB(2) ●運動生理学演習(2)※3 バイオメカニクス演習(2) スポーツ心理学演習(2) スポーツ医学演習(2) スポーツ栄養学演習(2) ●健康診断演習(2)※3 ●衛生・公衆衛生学演習(2)※3 スポーツ人文科学演習(2) スポーツ社会科学演習(2)	◎ゼミナールC(2)	◎ゼミナールD(2)	
	展開科目				海外事例研究(2)	スポーツ科学特論(2) スポーツ科学英語A(2)   スポーツ科学英語B(2) インターンシップI(2) インターンシップII(2) 海外課題研究(8)			スポーツ実技E(半期各1) (ゴルフ・スケート・ニュースポーツA・ ニュースポーツB・ジャズダンス)
	基礎科目	◎解剖・生理学A(2) ◎解剖・生理学B(2) ◎体育・スポーツ原論(2) ◎体育・スポーツ史(2)		◎運動・スポーツ生理学(2) ◎バイオメカニクス(2) ◎体育・スポーツ心理学(2) ◎生涯スポーツ論(2)					
	基幹科目	子どもスポーツ学(2)	健康運動実践学(2) 子どもスポーツ体験(2)	健康と生活習慣病(1)   スポーツ健康行動論(2) 子どもスポーツ指導法I(2)   子どもスポーツ指導法II(2) 健康運動実習A(1) 健康運動実習B(1) ◎スポーツ医学A(2)   スポーツ医学B(2)		スポーツ栄養学(2) ◎衛生・公衆衛生学A(2) ◎衛生・公衆衛生学B(2) 学校保健A(2)   学校保健B(2)			
	応用科目	スポーツ救急処置(2)		発育老化論(2)		スポーツ医学C(2) リハビリテーション(2) 健康運動実習C(1) 健康運動指導法(2)   労働生理学(2) 子ども運動実践演習(2)		救急処置法(2) 労働衛生学A(2)   労働衛生学B(2)	労働衛生法規・行政A(2) 労働衛生法規・行政B(2)
	展開科目	リハビリテーション論(2) 障害者スポーツ実習(1)		レクリエーション指導法I(2)   レクリエーション指導法II(2) スポーツ社会学(2)		野外活動論(2) スポーツ環境論(2) 障害者スポーツ論(2) 保健体育科教科内容論(2)※4			
					体育科教育法I(2)※4 保健科教育法I(2)※4		体育科教育法II(2)※4 保健科教育法II(2)※4		[通年]教育実習I(5)※4
他学科開講科目	スポーツ教育		運動部指導観察演習(2)		運動部指導観察演習(2)		運動部指導観察演習(2)		運動部指導観察演習(2)
	競技スポーツ科	スポーツパフォーマンス実習I(1)	スポーツパフォーマンス実習II(1)	スポーツパフォーマンス実習III(1) トレーニング論A(2) トレーニング論B(2)	スポーツパフォーマンス実習IV(1)	コーチング科学A(2)	コーチング科学B(2)	▲コーチング演習(専門種目)A(2)	▲コーチング演習(専門種目)B(2)
	トレーナー		トレーナー事例研究(2)	運動器の機能解剖学A(2) コンディショニング論(2)	運動器の機能解剖学B(2)	トレーニングプログラムデザイン(2)			
	スポーツマネジメント		スポーツマネジメント事例研究(2)	スポーツデータ分析(基礎)(2)	スポーツ行政・政策論(2) ダイバーシティ社会論(2) スポーツプロモーション論(2)	地域開発論/スポーツツーリズム(2) スポーツ法学(2)	スポーツ経営学概論(2) 国際開発論(2) スポーツ施設管理論(2)		

※1 <卒業要件>スポーツ実技A:2単位 ※2 <卒業要件>スポーツ実技B・C・D:各1単位

※3 <卒業要件>運動生理学演習・健康診断演習・衛生・公衆衛生学演習の3科目中2科目は選択必修

※4 教職課程履修者のみ履修可

2つの履修モデル

スポーツ健康科学科では、科目を履修(選択)する際の目安として、2つの履修モデルを設定しています。自分の将来像をよく考え、下記の履修モデルを参考に科目を履修(選択)してください。

<健康づくりスポーツモデル>

健康づくりのための生涯スポーツに関する理論と実践を学ぶためのモデル。このモデルではスポーツ科学の基礎となる専門知識を修得した後、健康づくりを促進するための理論と実践について学ぶ。これにより、青壮年や高齢者を対象にした地域や職場での保健事業の企画・運営・実施能力を身に付けることができる。卒業後には地方自治体や民間企業において、保健指導の運動専門スタッフ等として、住民や従業員の生活習慣の見直しをサポートする。

◎：必修科目(卒業要件：40単位) ●：選択必修科目(卒業要件：9単位) なし：選択科目(卒業要件：35単位)

学年 期	1年		2年		3年		4年		単 位 数 計										
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター											
区分	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	
学部 共通 科目	導入	◎スポーツ科学入門 2	◎アカデミック・スキルズ 2	◎データサイエンス入門 2	◎情報スキルズ 2														8
	基礎	◎トレーニング 基礎 2	◎レクリエーション 基礎実習 1	◎健康学概論 2															5
	基幹	●スポーツ実技A (1種目選択) 1	●スポーツ実技A (1種目選択) 1	●スポーツ実技B (1種目選択) 1	●スポーツ実技C (1種目選択) 1	●スポーツ実技D (1種目選択) 1													7
	応用																		2
スポーツ 健康 科学 科 開 講 科 目	基礎	◎解剖・生理学A 2	◎解剖・生理学B 2	◎運動・スポーツ生理学 2	◎バイオメカニクス 2	◎ゼミナールA ●運動生理学演習 2	◎ゼミナールB ●健康診断演習 2	◎ゼミナールC 2	◎ゼミナールD 2										12
	基幹	◎体育・スポーツ原論 2	◎体育・スポーツ史 2	◎スポーツ心理学 2	◎生涯スポーツ論 2	◎スポーツ医学A 2	◎衛生・公衆衛生学A 2	◎スポーツ医学B 2	◎衛生・公衆衛生学B 2										16
	応用		健康運動実践学 2	◎スポーツ医学A 健康運動実習A 1	◎スポーツ医学B 健康運動実習B 1	◎スポーツ医学C リハビリテーション 健康運動実習C 1	◎スポーツ医学A 健康運動実習A 1	◎スポーツ医学B 健康運動実習B 1	◎スポーツ医学C リハビリテーション 健康運動実習C 1	◎労働生理学 2	◎労働衛生学A 2	◎労働衛生学B 2	◎労働衛生学A 2	◎労働衛生学B 2	◎労働衛生学A 2	◎労働衛生学B 2	◎労働衛生学A 2	◎労働衛生学B 2	15
	展開	レジャー・レク リエーション論 2	障害者スポーツ 実習 1	レクリエーション 指導法I 2	レクリエーション 指導法II 2	◎野外活動論 2	◎野外活動論 2	◎障害者スポーツ論 2											17

<子どもスポーツモデル>

子どもの体力向上やスポーツ機会の充実に関する理論と実践を学ぶためのモデル。このモデルではスポーツ科学の基礎となる専門知識を修得した後、子どもの体力向上の方策や子どもを取り巻く社会のスポーツ環境を充実するための理論と実践について学ぶ。これにより、子どものスポーツ実践を促進するための事業の企画・運営・実施能力を身に付けることができる。卒業後には地域において、総合型地域スポーツクラブ等の運動指導者として子どもの運動スキルの健全な発育発達を促す、身体活動量の増加や体力の向上をサポートする。

◎：必修科目(卒業要件：40単位) ●：選択必修科目(卒業要件：9単位) なし：選択科目(卒業要件：35単位)

学年 期	1年		2年		3年		4年		単 位 数 計										
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター											
区分	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	要 卒	単 位	
学部 共通 科目	導入	◎スポーツ科学入門 2	◎アカデミック・スキルズ 2	◎データサイエンス入門 2	◎情報スキルズ 2														8
	基礎	◎レクリエーション 基礎実習 1	◎トレーニング基礎 2	◎健康学概論 2															5
	基幹	●スポーツ実技A (1種目選択) 1	●スポーツ実技A (1種目選択) 1	●スポーツ実技B (1種目選択) 1	●スポーツ実技C (1種目選択) 1	●スポーツ実技D (1種目選択) 1													7
	応用																		2
スポーツ 健康 科学 科 開 講 科 目	基礎	◎解剖・生理学B 2	◎解剖・生理学A 2	◎バイオメカニクス 2	◎運動・スポーツ生理学 2	◎ゼミナールA ●健康診断演習 2	◎ゼミナールB ●衛生・公衆衛生学演習 2	◎ゼミナールC 2	◎ゼミナールD 2										12
	基幹	◎体育・スポーツ史 2	◎体育・スポーツ原論 2	◎生涯スポーツ論 2	◎体育・スポーツ心理学 2	◎衛生・公衆衛生学A 2	◎衛生・公衆衛生学B 2	◎スポーツ医学A 2	◎衛生・公衆衛生学A 2	◎衛生・公衆衛生学B 2								16	
	応用	子どもスポーツ学 2	子どもスポーツ 体験 2	◎スポーツ医学A 子どもスポーツ 指導法I 2	◎スポーツ医学B 子どもスポーツ 指導法II 2	◎衛生・公衆衛生学A 2	◎衛生・公衆衛生学B 2	◎学校保健A 2	◎衛生・公衆衛生学A 2	◎衛生・公衆衛生学B 2	◎学校保健B 2	◎学校保健B 2	◎学校保健A 2	◎学校保健B 2	◎学校保健A 2	◎学校保健B 2	◎学校保健A 2	◎学校保健B 2	22
	展開		スポーツ救急処置 2	◎スポーツ医学A 子どもスポーツ 指導法I 2	◎スポーツ医学B 子どもスポーツ 指導法II 2	◎野外活動論 2	◎野外活動論 2	◎子ども運動実践演習 2	◎子ども運動実践演習 2	◎子ども運動実践演習 2	◎救急処置演習 2	◎救急処置演習 2	◎救急処置演習 2	◎救急処置演習 2	◎救急処置演習 2	◎救急処置演習 2	◎救急処置演習 2	◎救急処置演習 2	8

◎:必修科目(卒業要件:42単位) ●:選択必修科目(卒業要件:5単位) なし:選択科目(卒業要件:37単位) ▲:自由科目(卒業要件外)

区分	学年 期	1年		2年		3年		4年	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
		科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)
学部共有科目	導入科目	◎スポーツ科学入門(2) ◎アカデミック・スキルズ(2)	テータサイエンス入門(2) ◎情報スキルズ(2)						
	基礎科目	◎トレーニング基礎(2) レクリエーション基礎実習(1)		◎健康学概論(2)					
	基幹科目	●スポーツ実技A(半期各1)※1 (バレーボール・バスケットボール・サッカー・ソフトボール・ラグビー・ハンドボール)		●スポーツ実技B(半期各1)※2 (陸上競技トラック・陸上競技フィールド・器械運動・水泳) ●スポーツ実技C(半期各1)※2 (柔道・剣道・ダンス・体づくり運動)		●スポーツ実技D(半期各1)※2 (バドミントン・卓球・テニス)			
			野外活動実習(スキー)(2)	野外活動実習(マリンスポーツ)(2)		野外活動実習(各2) (アウトドアスポーツ・キャンプ)			
	応用科目					◎ゼミナールA(2) ◎ゼミナールB(2) 運動生理学演習(2) バイオメカニクス演習(2) スポーツ心理学演習(2) スポーツ医学演習(2) スポーツ栄養学演習(2) 健康診断演習(2) 衛生・公衆衛生学演習(2) スポーツ人文科学演習(2) スポーツ社会科学演習(2)	◎ゼミナールC(2)	◎ゼミナールD(2)	
	展開科目				海外事例研究(2)	海外課題研究(8)			
									スポーツ実技E(半期各1) (ゴルフ・スケート・ニュースポーツA・ニュースポーツB・ジャズダンス)
	基礎科目	◎解剖・生理学A(2) ◎解剖・生理学B(2) ◎体育・スポーツ原論(2) ◎体育・スポーツ史(2)		◎運動・スポーツ生理学(2) ◎バイオメカニクス(2) ◎体育・スポーツ心理学(2) ◎生涯スポーツ論(2)					
	基幹科目	◎トレーナー概論(2) トレーナー事例研究(2) スポーツ救急処置(2)		運動器の機能解剖学A(2) 運動器の機能解剖学B(2) コンディショニング論(2) コンディショニング実習(2) ◎スポーツ医学A(2) スポーツ医学B(2) ◎キャリア形成(2) トレーニング論A(2) トレーニング論B(2) トレーニング演習(2)		アスリート評価法(2) スポーツ医学C(2) スポーツ栄養学(2)			
	応用科目			スポーツ安全・健康管理論(2)		スポーツ外傷・障害予防演習I(2) リコンディショニング論(2) リコンディショニング実習(2) スポーツ経営学概論(2) ストレンクス&コンディショニング実習(1) ストレンクス&コンディショニング演習(2) トレーニングフィルムデザイン(2)	救急処置演習(2) スポーツ外傷・障害予防演習II(2) リコンディショニング実習(2) スポーツ経営学概論(2) ストレンクス&コンディショニング演習(2)	アスレティック トレーナー実習A(3)	アスレティック トレーナー実習B(3)
	展開科目		障害者スポーツ論(2)	健康運動実習A(1) 健康運動実習B(1)		健康運動実習C(1) 障害者スポーツ実習(1) 衛生・公衆衛生学A(2) 衛生・公衆衛生学B(2) 学校保健A(2) 学校保健B(2)			
					体育科教育法I(2)※4 保健科教育法I(2)※4	体育実技指導法(半期各2)※4 (武道・球技・体づくり運動・ダンス・陸上競技・器械運動・水泳)	体育科教育法II(2)※4 保健科教育法II(2)※4		〔通年〕教育実習I(5)※4
	他学科開講科目	スポーツ教育		運動部指導観察演習(2)	安全教育(2) 運動部指導観察演習(2)		運動部指導観察演習(2)		運動部指導観察演習(2)
競技スポーツ科		スポーツパフォーマンス実習I(1)	スポーツパフォーマンス実習II(1)			コーチング科学A(2) コーチング科学B(2)	▲コーチング演習(専門種目)A(2)	▲コーチング演習(専門種目)B(2)	
スポーツ健康科			健康運動実践学(2)	発育老化論(2) 健康と生活習慣病(1) スポーツ健康行動論(2)	健康運動指導法(2) リハビリテーション(2)				
スポーツマネジメント			スポーツマネジメント事例研究(2)	スポーツ社会学(2) スポーツモーション論(2)	スポーツ法学(2)	スポーツ環境論(2) スポーツ施設管理論(2)			

※1 <卒業要件>スポーツ実技A:2単位 ※2 <卒業要件>スポーツ実技B・C・D:各1単位 ※3 教職課程履修者のみ履修可

2つの履修モデル

トレーナー学科では、科目を履修(選択)する際の目安として、2つの履修モデルを設定しています。自分の将来像をよく考え、下記の履修モデルを参考に科目を履修(選択)してください。

<アスレティックトレーナーモデル>

アスレティックトレーナーに関する知識と実践を通じて、スポーツをする全ての人の安全と安心を確保し、パフォーマンスの回復や向上を支援する。運動による外傷や障害への対応に関する専門的な知識と、科学的根拠に基づいたトレーニング法や健康管理法の修得を目指す。具体的には、適切な測定と評価のもと、スポーツ外傷・障害の予防ならびにそれらからの競技復帰支援、スポーツ現場における救急対応の計画と実践を身につけ、競技生活に伴う外傷・障害等を総合的に支援する能力を身につける。卒業後にはスポーツチーム、トレーニング施設、運動部活動、医療機関等でアスレティックトレーナーやパーソナルトレーナーとしての活躍が期待される。

◎：必修科目(卒業要件：42単位) ●：選択必修科目(卒業要件：5単位) なし：選択科目(卒業要件：37単位)

学年 区分	1年		2年		3年		4年		単位数	
	1セメスター 科目名 単位数	2セメスター 科目名 単位数	3セメスター 科目名 単位数	4セメスター 科目名 単位数	5セメスター 科目名 単位数	6セメスター 科目名 単位数	7セメスター 科目名 単位数	8セメスター 科目名 単位数		
学部 共通科目	導入	◎スポーツ科学入門 2 ◎アカデミック・スキルズ 2	◎情報スキルズ 2						6	
	基礎	◎トレーニング基礎 2		◎健康学概論 2					4	
	基幹	●スポーツ実技A(1種目選択) 1	●スポーツ実技A(1種目選択) 1	●スポーツ実技B(1種目選択) 1	●スポーツ実技C(1種目選択) 1	●スポーツ実技D(1種目選択) 1			7	
	応用			野外活動実習(1科目選択)					2	
トレーナー 学科開講科目	基礎	◎解剖・生理学A 2 ◎体育・スポーツ原論 2 ◎トレーナー概論 2	◎解剖・生理学B 2 ◎体育・スポーツ史 2 ◎スポーツ救急処置 トレーナー事例研究 2	◎運動・スポーツ生理学 2 ◎体育・スポーツ心理学 2 ◎運動器の機能解剖学A 2 ◎スポーツ医学A 2 ◎コンディショニング論 2	◎バイオメカニクス 2 ◎生涯スポーツ論 2 ◎運動器の機能解剖学B 2 ◎スポーツ医学B 2 ◎キャリア形成 コンディショニング実習 2	◎ゼミナールA 0000演習(1科目選択) 2	◎ゼミナールB 2	◎ゼミナールC 2	◎ゼミナールD 2	10
	基幹					◎ゼミナールA 0000演習(1科目選択) 2	◎ゼミナールB 2	◎ゼミナールC 2	◎ゼミナールD 2	16
	応用			◎〔通年〕トレーナーインターンシップI 2	◎〔通年〕トレーナーインターンシップII 2	◎〔通年〕トレーナーインターンシップIII 2	◎〔通年〕トレーナーインターンシップIV 2	◎〔通年〕トレーナーインターンシップV 2	◎〔通年〕トレーナーインターンシップVI 2	24
	展開		◎障害者スポーツ論 2	◎健康運動実習A 1	◎健康運動実習B 1	◎健康運動実習C 1	◎健康運動実習D 1	◎健康運動実習E 1	◎健康運動実習F 1	10
開講科目	他					◎コーチング科学A 2	◎コーチング科学B 2			6
	他					◎スポーツ法学 2				

<ストレンクス&コンディショニングトレーナーモデル>

ストレンクス&コンディショニングトレーナーに関する知識と実践を通じて、種々の体力要素を総合的に理解し、パフォーマンスの向上を支援する。運動による身体の適応を学び、科学的根拠に基づいたトレーニング法や健康管理法の修得を目指す。具体的には、競技の特性や選手のニーズを分析し、筋力、パワー、筋持久力、スピード、バランスなど、筋機能が関わるすべての体力要素の向上を目指すための計画、実践、指導能力を身につける。さらに、トレーニング効果を最大限に高めるために回復のための方策を学び、種々の体力要素を調整することによって、安全で効果的なパフォーマンス向上を総合的に支援する。卒業後にはスポーツチーム、トレーニング施設、運動部活動等でストレンクス&コンディショニングトレーナーやパーソナルトレーナーとしての活躍が期待される。

◎：必修科目(卒業要件：42単位) ●：選択必修科目(卒業要件：5単位) なし：選択科目(卒業要件：37単位)

学年 区分	1年		2年		3年		4年		単位数	
	1セメスター 科目名 単位数	2セメスター 科目名 単位数	3セメスター 科目名 単位数	4セメスター 科目名 単位数	5セメスター 科目名 単位数	6セメスター 科目名 単位数	7セメスター 科目名 単位数	8セメスター 科目名 単位数		
学部 共通科目	導入	◎スポーツ科学入門 2 ◎アカデミック・スキルズ 2	◎情報スキルズ 2						8	
	基礎	◎トレーニング基礎 2		◎健康学概論 2					6	
	基幹	●スポーツ実技A(1種目選択) 1	●スポーツ実技A(1種目選択) 1	●スポーツ実技B(1種目選択) 1	●スポーツ実技C(1種目選択) 1	●スポーツ実技D(1種目選択) 1			7	
	応用			野外活動実習(1科目選択)					2	
トレーナー 学科開講科目	基礎	◎解剖・生理学A 2 ◎体育・スポーツ史 2 ◎トレーナー概論 2	◎解剖・生理学A 2 ◎体育・スポーツ原論 2 ◎スポーツ救急処置 トレーナー事例研究 2	◎バイオメカニクス 2 ◎生涯スポーツ論 2 ◎コンディショニング論 2 ◎トレーニング論A 2 ◎スポーツ医学A 2 ◎トレーニング演習 2	◎運動・スポーツ生理学 2 ◎体育・スポーツ心理学 2 ◎トレーニング論B 2 ◎キャリア形成 2	◎ゼミナールA 2	◎ゼミナールB 2	◎ゼミナールC 2	◎ゼミナールD 2	10
	基幹					◎ゼミナールA 2	◎ゼミナールB 2	◎ゼミナールC 2	◎ゼミナールD 2	16
	応用			◎〔通年〕トレーナーインターンシップI 2	◎〔通年〕トレーナーインターンシップII 2	◎〔通年〕トレーナーインターンシップIII 2	◎〔通年〕トレーナーインターンシップIV 2	◎〔通年〕トレーナーインターンシップV 2	◎〔通年〕トレーナーインターンシップVI 2	24
	展開		◎障害者スポーツ論 2	◎健康運動実習A 1	◎健康運動実習B 1	◎健康運動実習C 1	◎健康運動実習D 1	◎健康運動実習E 1	◎健康運動実習F 1	10
開講科目	他					◎コーチング科学A 2	◎コーチング科学B 2			6
	他					◎スポーツ法学 2				

◎:必修科目(卒業要件:38単位) ●:選択必修科目(卒業要件:5単位) なし:選択科目(卒業要件:41単位) ▲:自由科目(卒業要件外)

区分	学年 期	1年		2年		3年		4年	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
		科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)
学部共有科目	導入科目	◎スポーツ科学入門(2) ◎アカデミック・スキルズ(2)	◎テータサイエンス入門(2) ◎情報スキルズ(2)						
	基礎科目	◎トレーニング基礎(2) レクリエーション基礎実習(1)		◎健康学概論(2)					
	基幹科目	●スポーツ実技A(半期各1)※1 (バレーボール・バスケットボール・サッカー・ソフトボール・ラグビー・ハンドボール)		●スポーツ実技B(半期各1)※2 (陸上競技トラック・陸上競技フィールド・器械運動・水泳) ●スポーツ実技C(半期各1)※2 (柔道・剣道・ダンス・体づくり運動)		●スポーツ実技D(半期各1)※2 (バドミントン・卓球・テニス)			
	応用科目		野外活動実習(スキー)(2)	野外活動実習(マリンスポーツ)(2)	野外活動実習(各2) (アウトドアスポーツ・キャンプ)				
	展開科目				海外事例研究(2)	◎ゼミナールA(2) ◎ゼミナールB(2) スポーツ科学特論(2) スポーツ科学英語A(2) スポーツ科学英語B(2) インターンシップI(2) インターンシップII(2)	◎ゼミナールC(2) ◎ゼミナールD(2)		
スポーツマネジメント学科開講科目	基礎科目	◎解剖・生理学A(2) ◎解剖・生理学B(2) ◎体育・スポーツ原論(2) ◎体育・スポーツ史(2)		◎運動・スポーツ生理学(2) ◎バイオメカニクス(2) ◎体育・スポーツ心理学(2) ◎生涯スポーツ論(2)					
	基幹科目	◎スポーツビジネス産業論(2)	◎スポーツ経営学概論(2) スポーツマネジメント事例研究(2)	スポーツ法学(2) スポーツマーケティング論(2) スポーツデータ分析(基礎)(2) スポーツ社会学(2)	スポーツ行政・政策論(2) ダイバーシティ社会論(2) スポーツデータ分析(応用)(2)				
	応用科目			スポーツ組織経営論(2)	スポーツプロモーション論(2) スポーツメディア/ジャーナリズム論(2)	地域開発論/スポーツツーリズム(2) スポーツ施設管理論(2) 国際開発論(2) スポーツ環境論(2) 〔通年〕スポーツマネジメント演習(2)			
	展開科目					衛生・公衆衛生学A(2) 衛生・公衆衛生学B(2) 学校保健A(2) 学校保健B(2) 保健体育科教科内容論(2)※3			
					体育科教育法I(2)※3 保健科教育法I(2)※3	体育科教育法II(2)※3 保健科教育法II(2)※3	体育実技指導法(半期各2)※3 (武道・球技・体づくり運動・ダンス・陸上競技・器械運動・水泳)	〔通年〕教育実習I(5)※3	
他学科開講科目	スポーツ教育		運動部指導観察演習(2)	安全教育(2) 運動部指導観察演習(2)			運動部指導観察演習(2)		運動部指導観察演習(2)
	競技スポーツ科	スポーツパフォーマンス実習I(1)	スポーツパフォーマンス実習II(1)	スポーツパフォーマンス実習III(1)	スポーツパフォーマンス実習IV(1) トレーニング論A(2) トレーニング論B(2)	コーチング科学A(2)	コーチング科学B(2)	▲コーチング演習(専門種目)A(2)	▲コーチング演習(専門種目)B(2)
	スポーツ健康科			スポーツ医学A(2)	スポーツ医学B(2) 発育老化論(2)	スポーツ栄養学(2)			
	トレーナー		トレーナー事例研究(2) スポーツ救急処置(2)			トレーニングプログラムデザイン(2)	救急処置演習(2)		

※1 <卒業要件>スポーツ実技A:2単位 ※2 <卒業要件>スポーツ実技B・C・D:各1単位 ※3 教職課程履修者のみ履修可



2つの履修モデル

スポーツマネジメント学科では、科目を履修(選択)する際の目安として、2つの履修モデルを設定しています。自分の将来像をよく考え、下記の履修モデルを参考に科目を履修(選択)してください。

<スポーツマネジメントモデル>

「スポーツマネジメントモデル」では、主にスポーツ組織やスポーツ関連施設等の運営・管理についての理論と実践を学ぶ。スポーツ科学の基礎知識を修得した後、各種のスポーツ組織とそこで展開される事業の運営に関わる知識、及び施設管理(ファシリティマネジメント)に関する理論と実践とを学ぶことにより、スポーツ事業の効果的、効率的な企画や運営に貢献する能力と資質を養う。公共・民間、営利・非営利の様々なスポーツ組織やイベント運営、施設管理等の現場において、的確な情報把握と分析力をもとに合理的に判断し行動する能力を身につけることができる。

◎：必修科目(卒業要件：38単位) ●：選択必修科目(卒業要件：5単位) なし：選択科目(卒業要件：41単位)

学年 期	1年		2年		3年		4年		単 位 数 計										
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター											
区分	要 卒	科 目 名	単 位	要 卒	科 目 名	単 位	要 卒	科 目 名	単 位	要 卒	科 目 名	単 位	要 卒	科 目 名	単 位	要 卒	科 目 名	単 位	
学部 共通 科目	導入	◎スポーツ科学入門 ◎アカデミック・スキルズ	2 2	◎データサイエンス入門 ◎情報スキルズ	2 2														8
	基礎	◎トレーニング基礎 レクリエーション 基礎実習	1	◎トレーニング基礎	2	◎健康学概論	2												5
	基幹	●スポーツ実技A (1種目選択)	1	●スポーツ実技A (1種目選択)	1	●スポーツ実技B (1種目選択)	1	●スポーツ実技C (1種目選択)	1	●スポーツ実技D (1種目選択)	1								7
	応用					◎野外活動実習 (1科目選択)	1												2
スポーツ マネジ メント 学科 開講 科目	基礎	◎解剖・生理学A ◎体育・スポーツ原論	2 2	◎解剖・生理学B ◎体育・スポーツ史	2 2	◎運動・スポーツ生理学 ◎体育・スポーツ心理学	2 2	◎バイオメカニクス ◎生涯スポーツ論	2 2										16
	基幹	◎スポーツビジネス・ 産業論	2	◎スポーツ経営 学概論	2	◎スポーツ法学 ◎スポーツデータ 分析(基礎)	2 2	◎スポーツ行政・ 政策論 ◎スポーツデータ 分析(応用)	2 2										12
	応用					◎スポーツ組織経営論	2	◎スポーツメディア/ ジャーナリズム論	2	[通年]スポーツマネジメント演習 ◎スポーツ施設管理論	2 2								8
	展開							◎保健科教育法I	2	◎学校保健A ◎衛生・公衆衛生学A ◎体育科教育法I ◎体育実技指導法 (1種目選択)	2 2 2 2	◎学校保健B ◎衛生・公衆衛生学B ◎保健科教育法II ◎保健体育科教 科内容論	2 2 2 2	◎体育科教育法II ◎(通年)教育実習I	2				25

<スポーツプロモーションモデル>

「スポーツプロモーションモデル」では、主にスポーツそのものの普及振興やスポーツによる地域活性化に関する知識や運営手法について学ぶ。そのためには、まずスポーツが有する価値や可能性の理解が不可欠となる。この履修モデルでは、スポーツ科学の基礎をベースとしてスポーツの社会的位置づけや可能性等について幅広く学びつつ、地域振興から国際協力に関わる幅広い知識や手法を体系的に修得することを目指している。社会や個々人の様々なニーズに対応したスポーツ普及振興を図るとともに、スポーツを活用した街づくりや地域活性化、更に国際協力等の現場において貢献できる知識と行動力を身につけることができる。

◎：必修科目(卒業要件：38単位) ●：選択必修科目(卒業要件：5単位) なし：選択科目(卒業要件：41単位)

学年 期	1年		2年		3年		4年		単 位 数 計										
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター											
区分	要 卒	科 目 名	単 位	要 卒	科 目 名	単 位	要 卒	科 目 名	単 位	要 卒	科 目 名	単 位	要 卒	科 目 名	単 位	要 卒	科 目 名	単 位	
学部 共通 科目	導入	◎スポーツ科学入門 ◎アカデミック・スキルズ	2 2	◎データサイエンス入門 ◎情報スキルズ	2 2														8
	基礎	◎トレーニング基礎 レクリエーション 基礎実習	1	◎トレーニング基礎	2	◎健康学概論	2												5
	基幹	●スポーツ実技A (1種目選択)	1	●スポーツ実技A (1種目選択)	1	●スポーツ実技B (1種目選択)	1	●スポーツ実技C (1種目選択)	1	●スポーツ実技D (1種目選択)	1								7
	応用					◎野外活動実習 (1科目選択)	1												2
スポーツ マネジ メント 学科 開講 科目	基礎	◎解剖・生理学B ◎体育・スポーツ史	2 2	◎解剖・生理学A ◎体育・スポーツ原論	2 2	◎バイオメカニクス ◎生涯スポーツ論	2 2	◎運動・スポーツ生理学 ◎体育・スポーツ心理学	2 2										16
	基幹	◎スポーツビジネス・ 産業論	2	◎スポーツ経営 学概論 ◎スポーツマネジ メント事例研究	2 2	◎スポーツ社会学 ◎スポーツマーケ ティング論 ◎スポーツデータ 分析(基礎)	2 2 2	◎スポーツ行政・ 政策論 ◎ダイバシティ 社会論 ◎スポーツデータ 分析(応用)	2 2 2										18
	応用					◎スポーツプロ モーション論 ◎スポーツメディア/ ジャーナリズム論	2 2	[通年]スポーツマネジメント演習 ◎スポーツ環境論	2 2	◎地域開発論/スポーツ ツーリズム ◎国際開発論	2 2								12
	展開							◎衛生・公衆衛生学A ◎学校保健A又はB	2 2	◎衛生・公衆衛生学B ◎学校保健A又はB	2 2								6

## 全体の留意点

## 科目名について

「○○○A」「○○○B」は履修の順番の制限はありません。

## 履修登録制限単位数に算入しない科目

「インターンシップI・II」「救急処置法」「海外課題研究」「海外事例研究」「学校指導実習」「教育実習I」「スポーツパフォーマンス実習I～VIII」「スポーツマネジメント事例研究」「コーチング実習I～IV」「健康運動指導法」「トレーナー事例研究」「野外活動実習」

## 認定科目について

認定科目の修得単位は、12単位までを学部固有科目の各区分の単位として卒業所要単位数に算入し、これを超えて修得した単位は自由単位とします。

「インターンシップI・II」「救急処置法」「海外課題研究」「海外事例研究」「学校指導実習」「スポーツパフォーマンス実習I～VIII」「スポーツマネジメント事例研究」「コーチング実習I～IV」「健康運動指導法」「トレーナー事例研究」「トレーナーインターンシップI～III」「ストレンクス&コンディショニングインターンシップI～II」

## 海外留学

グローバル教育センターの交換留学、認定留学及びディズニー・インターンシップに参加した学生が留学先大学で修得した科目については、原則として各学科のカリキュラムにある科目(必修科目を除く)に読み替えてこれを認定します。ただし、適切な読み替え可能科目が無い場合は「海外課題研究」として上限8単位まで認定します。グローバル教育センターのセメスター留学については「海外課題研究」に読み替えて上限4単位まで認定します。海外短期研修は第7セメスターまで「海外事例研究」として2単位認定します。

成績表上には「N(認定)」として表記されます(GPAには、算入されません)。

## 再履修

単位を修得していなければ1度履修した科目でも再び履修登録することが可能です。また、下級年次の科目を履修することもできます。その場合は原則としてどのクラスでも履修することができますが、再履修クラスがある科目についてはそのクラスで履修してください。原則、開講学年の年度内での再履修はできません。

## 他学科の科目

所属する学科の開講する科目以外は履修することはできません(各学科で指定されている「他学科開講科目」は履修可能です)。しかし、資格課程に登録することで履修可能になる科目がありますので注意してください。

例 「体育実技指導法」 スポーツ教育学科開講科目ですが教職課程に登録することで履修可能になります。

## 各科目の留意点

## 「運動部指導観察演習」

この科目は履修者数に上限があります。履修希望者はCHUKYO ALBOで履修登録の為の事前アンケート(希望届)に回答する必要があります。抽選の結果はCHUKYO ALBOでお知らせをします。この科目の履修登録は教務センターで行いますので追加や取消はできません。

## 「スポーツ実技A～D(○○)」

①開講する前に履修希望種目の調査を行い、履修種目の調整を実施します。開講クラス数と種目ごとに人数制限がありますので、希望通りの種目を履修できない場合があります。

また、できるだけ多くの人が希望する種目を履修できるようにするため、履修時間帯を希望することはできません。

スポーツ実技Aは、入学時、実技B・C・Dについては、配当年次の前年に履修希望調査を行います。履修調整を行っても履修種目が少ない人や種目の決まらない人には、さらに履修希望種目の調査を行い、履修種目の決定をします。

なお、履修希望調査提出後の追加・変更は行えません。

②初回の授業に出席しないと履修を取り消すことがあります。

③学科ごとに卒業に必要な単位数が異なりますので、注意してください。

## 「スポーツ実技A(○○)」

スポーツ教育学科	6種目中	4種目選択必修
競技スポーツ科学科	6種目中	3種目選択必修
スポーツ健康科学科	6種目中	2種目選択必修
トレーナー学科	6種目中	2種目選択必修
スポーツマネジメント学科	6種目中	2種目選択必修

## 「スポーツ実技B(○○)」

スポーツ教育学科	4種目中	3種目選択必修
競技スポーツ科学科	4種目中	2種目選択必修
スポーツ健康科学科	4種目中	1種目選択必修
トレーナー学科	4種目中	1種目選択必修
スポーツマネジメント学科	4種目中	1種目選択必修

## 「スポーツ実技C(○○)」

スポーツ教育学科	4種目中	3種目選択必修
競技スポーツ科学科	4種目中	2種目選択必修
スポーツ健康科学科	4種目中	1種目選択必修
トレーナー学科	4種目中	1種目選択必修
スポーツマネジメント学科	4種目中	1種目選択必修

## 「スポーツ実技D(○○)」

スポーツ教育学科	3種目中	1種目選択必修
競技スポーツ科学科	3種目中	1種目選択必修
スポーツ健康科学科	3種目中	1種目選択必修
トレーナー学科	3種目中	1種目選択必修
スポーツマネジメント学科	3種目中	1種目選択必修

④「スポーツ実技A」「スポーツ実技B」「スポーツ実技C」「スポーツ実技D」の計17種目(17単位)中、9種目(9単位)が教員免許状を取得する為の条件になっています(詳細は、教職課程ページ参照)。

## 「スポーツ実技E(○○)」

①ゴルフ、スケート、ニュースポーツA、ニュースポーツB、ジャズダンスの5種目が開講されています。

②種目毎に履修者数の上限があり、履修希望者多数の場合は抽選を行います。

③初回の授業に出席しないと履修を取り消すことがあります。

## 「ゼミナールA・B」

ゼミナールとは、「大学の研究指導クラス」ともいうべきもので、少人数の学生を対象に、学生と教員がお互いに質疑討論をかわし、研究を進め、知識を修得していく授業形態です。

教員と学生、学生相互に親睦も深まり、学生にとって大学生活の中軸をなすものといえます。

- ①「ゼミナールA・B」は、原則として2年生の秋に募集し、その後に決定します。決定方法・申込方法等は、CHUKYO ALBOで案内します。ただし、各ゼミナールには定員があるので、必ずしも希望どおりのゼミナールを受講できるとはかぎりません。
- ②担当教員はシラバスと共にCHUKYO ALBOで案内します(原則として決定した教員を変更することはできません)。
- ③全学科の学生が必修です。  
※3年生で留学をする場合、第5セメスターで「ゼミナールA」を履修し、第8セメスターで「ゼミナールB」を履修してください。

## 「ゼミナールC・D」

ゼミナールC・Dは、所属するゼミに関するテーマを決定し、原則としてゼミ担当教員の指導に従って研究を実施します。

- ①「ゼミナールA・B」と「ゼミナールC・D」は原則として同一教員のもとで受講してください。
- ②全学科の学生が必修であり、卒業研究成果物を提出しなければなりません。  
※3年生で留学をする場合、第7セメスターで「ゼミナールC」のみ履修を認めますので、帰国後すぐに担当教員と教務センターに報告してください。

## 研究成果物提出について

研究成果物作成・提出の手引き、提出場所、提出時間、提出締切日はCHUKYO ALBOで11月に連絡します。締切日は、1月中旬を予定しています。

- ①研究成果物の提出は時間厳守であり、いかなる理由でも『受付時間外』の提出は認められません。
- ②提出期間最終日の締切時間直前は、受付窓口が混雑する場合があります。時間的余裕をもって提出するよう注意してください(混雑により提出時間を過ぎてしまった場合でも、提出が認められなくなります)。
- ③研究成果物(論文の書式等)については、指導教員と相談の上、決定してください。

## 研究成果物提出証について

- ①研究成果物は、所定の書式の『研究成果物提出証』に必要事項を記入し、指導教員の印鑑をもらって提出してください。指導教員の印鑑がないものは、提出できません。
- ②『研究成果物提出証』の所定用紙は、教務センター窓口で配布します。

## 研究成果物について

- ①研究成果物とは、「論文」「ポスター」「映像録画」「実践記録」「その他指導教員が認めるもの」を指します。詳細は、CHUKYO ALBOで案内します。
- ②個人研究・共同研究問わず、研究成果の提出については、指定期間内に教務センターへ提出してください(共同研究の場合は、成果物作成の作業分担や執筆分担を明記し、提出者として共同研究を行ったすべての学生氏名等を記載すること)。

## 「野外活動実習○○」

①スキー、マリンスポーツ、キャンプ、アウトドアスポーツの4種目が開講されております。また、この科目は別途宿泊費などの費用が必要です。

- ②「野外活動実習○○」は履修登録制限単位に含みません。
- ③すべての実習において、実習参加定員があります。履修登録をしても実習に参加できない場合があります。履修者多数の場合は抽選を行います。
- ④履修登録後にCHUKYO MaNaBoで説明会の日程のお知らせがあります。説明会は実習の事前指導も兼ねていますので、必ず出席してください。

【実習予定時期及び期間】

スキー	1月下旬～2月上旬(4泊5日)
マリンスポーツ	9月上旬(3泊4日)
キャンプ	8月中旬(3泊4日)
アウトドアスポーツ	9月上旬(3泊4日)

## 「スポーツマネジメント事例研究」

### 「トレーナー事例研究」

- ①ロサンゼルス市周辺で2月下旬から3月中旬の約10日間で実施します。
- ②費用は75万円前後を予定していますが、変動する可能性があります。
- ③この科目は、履修登録制限単位に含みません。
- ④7月初めに最初の説明会を実施します。日時はCHUKYO ALBOで案内します。
- ⑤秋学期の履修登録後、参加希望者が多い場合は抽選することもあります。
- ⑥スポーツ科学部の学生はどの学科でも参加は可能ですが希望者が多い場合は、「スポーツマネジメント事例研究」はスポーツマネジメント学科の学生を、「トレーナー事例研究」はトレーナー学科の学生を優先します。GPAを参考にすることもあります。
- ⑦抽選後のキャンセルは原則、認められませんので注意してください。
- ⑧この科目は認定科目です。成績表上には「N(認定)」として表記されます(GPAには、算入されません)。

## 「スポーツパフォーマンス実習I～Ⅷ」

- ①この科目は中京大学体育会に所属する部活動(自動車部を除く)に登録され活動することにより認定される科目です。
- ②この科目は、履修登録制限単位に含みません。
- ③この科目は認定科目です。成績表上には「N(認定)」として表記されます(GPAには、算入されません)。
- ④4月又は10月に部員として登録(スポーツ振興部にて登録)されなければなりません。
- ⑤競技スポーツ科学科のみⅤ～Ⅷの履修が可能です。スポーツ教育・スポーツ健康科・スポーツマネジメント学科はⅠ～Ⅳの履修が可能です。トレーナー学科はⅠ～Ⅱの履修が可能です。
- ⑥競技スポーツ科学科の学生は「コーチング実習Ⅰ～Ⅳ」を履修するとその間の「スポーツパフォーマンス実習」は認定されませんので注意してください。

## 「インターンシップⅠ」・「インターンシップⅡ」

- ①この科目は認定科目です。2～4年生が認定対象学年です。
- ②キャリア支援課が実施する各種ガイダンスに参加することが必要です。ガイダンスに参加して、インターンシップへの参加方法や必要な提出物など、単位認定に至るまでの一連の流れを詳細に確認してください。
- ③必要条件を満たすと2単位が認定されます。(成績表では「N」と表記されます)。
- ④履修登録は不要です。履修登録制限単位には含めません。
- ⑤「インターンシップⅠ」を修得済の場合のみ、「インターンシップⅡ」が認定されます。

## スポーツ教育学科の留意点

## 「学校指導実習」

- ①この科目は、履修者数に上限があります。
- ②履修希望者が多い場合は、担当教員と面談のうえ選考を行いますので、MaNaBoを通じて担当教員から連絡があった場合は速やかに対応してください。
- ③この科目は、履修登録制限単位に含みません。
- ④この科目は認定科目です。成績表上には「N(認定)」として表記されます(GPAには、算入されません)。

## 「体育実技指導法」

- ①この科目は1種目選択必修です。
- ②種目を選択することはできません。抽選で種目が決められます。どうしても履修したい種目があれば3年次に1種目を修得していれば4年次で希望種目を履修することができます。

## 「レクリエーション指導法」

- ①この科目は、履修者数に上限があります。
- ②この科目を履修するためには「レクリエーション基礎実習」の単位を修得している必要があります。
- ③「レクリエーション指導法I」の単位を修得しなければ「レクリエーション指導法II」の履修登録はできません。

## 競技スポーツ科学学科の留意点

## 「コーチング実習I～IV」

この科目は競技スポーツ科学学科において、競技スポーツに関する種々の学科目を学んだ後に、実際のコーチング現場に赴き、専門種目を小学生、中学生、高校生、又は社会人に対して指導し、現実のコーチングを実践・経験することによって、よりよい指導者となるための第一歩を踏み出す、実践的な実習科目です。

- ①3～4年生の認定科目です。履修登録が必要な科目です。
- ②この科目は認定科目です。成績表上には「N(認定)」として表記されます(GPAには、算入されません)。
- ③学部固有科目の選択科目(1単位)ですが、履修制限単位には含まれません。
- ④原則として30時間以上の現場での指導実習と事前指導、事後指導からなる科目です。
- ⑤履修希望者は「コーチング実習ガイダンス」を実施しますので必ず参加し、期限内に手続きをしてください。手続き等はガイダンスで説明します。
- ⑥履修者は実習先で指導を実践し、その内容を詳細に実習ノートに記録し提出します。
- ⑦実習先は、受講生自ら学校、スポーツクラブ又は施設を探すこととなります。自分の専門種目を考慮し探しましょう。実習先が決まらない場合は実習ができないこともあります。詳細についてはガイダンスで説明します。
- ⑧「スポーツパフォーマンス実習」を履修すると、その間「コーチング実習I～IV」は認定されませんので注意してください。

## 「体育実技指導法」

※教職課程履修者のみスポーツ教育学科の留意点参照

## 「スポーツマネジメント演習」

※スポーツマネジメント学科の留意点参照

## スポーツ健康科学学科の留意点

## 「〇〇〇演習」

「運動生理学演習」「衛生・公衆衛生学演習」「健康診断演習」の3科目中2科目が選択必修科目です。その他の演習科目は選択科目となります。

## 「子どもスポーツ体験」

この科目は子どもに対しスポーツ体験を実践している現場に行き、その指導法や現場の運用について学ぶ科目です。

- ①この科目は、受け入れ先の状況により、履修者を制限することがあります(参加者数上限があります)。

## 「体育実技指導法」

※教職課程履修者のみスポーツ教育学科の留意点参照

## 「レクリエーション指導法」

※スポーツ教育学科の留意点参照

## 「スポーツデータ分析」

この科目を履修するためには「データサイエンス入門」の単位を修得している必要があります。

## トレーナー学科の留意点

アスレティックトレーナー関連科目について

## 「アスリート評価法」

## 「コンディショニング実習」

## 「リコンディショニング実習」

これらの科目はアスレティックトレーナーに関連する専門的な実習科目となります。これらの科目を履修したい場合は基礎科目として「スポーツ救急処置」「運動器の機能解剖学A・B」「スポーツ医学A・B」を合格、又は履修したい学期に同時履修しなければなりません。

## 「コンディショニング実習」

## 「リコンディショニング実習」

これらの科目は2時限連続で実施する実習科目となります。

## 「アスレティックトレーナー実習A・B」

これらの科目はアスレティックトレーナーに関する種々の科目を履修した後の総合的な学習を行うことを目的としています。この科目を履修するためには、「アスリート評価法」「コンディショニング実習」「リコンディショニング実習」を合格又は履修したい年度に同時履修しなければなりません。

## 「トレーナーインターンシップI～III」

- ①この科目は認定科目です。成績表上には「N(認定)」として表記されます(GPAには、算入されません)。
- ②アスレティックトレーナーとしてインターンシップを行うことで認定されます。
- ③「トレーナーインターンシップI」については、本学体育会クラブのトレーナー活動も認定します。
- ④「トレーナーインターンシップII・III」の認定を希望する場合は、学科の責任教員に事前確認が必要です。確認方法等については、CHUKYO ALBOで案内します。

### 「ストレンクス&コンディショニングインターンシップI~II」

- ①この科目は認定科目です。成績表上には「N(認定)」として表記されます(GPAには、算入されません)。
- ②ストレンクス&コンディショニングトレーナーとしてインターンシップを行うことで認定されます。
- ③「ストレンクス&コンディショニングインターンシップI」については、本学体育会クラブのトレーナー活動も認定します。
- ④「ストレンクス&コンディショニングインターンシップII」の認定を希望する場合は、学科の責任教員に事前確認が必要です。確認方法等については、CHUKYO ALBOで案内します。

### 「トレーナー事例研究アドバンス」

- ①「トレーナー事例研究」のアドバンス(上級者向け)の科目です。
- ②海外(アメリカ)での研修を予定しています。
- ③費用は、学費とは別に必要です(金額未定)。
- ④詳細は、未定のため、決定し次第、CHUKYO ALBOで案内します。
- ⑤この科目は認定科目です。成績表上には「N(認定)」として表記されます(GPAには、算入されません)。

### 「体育実技指導法」

※教職課程履修者のみスポーツ教育学科の留意点参照

## スポーツマネジメント学科の留意点

### 「スポーツデータ分析」

- ①この科目を履修するためには「データサイエンス入門」の単位を修得している必要があります。
- ②「スポーツデータ分析(基礎)」の単位を修得しなければ「スポーツデータ分析(応用)」の履修登録はできません。

### 「スポーツマネジメント演習」

この科目はスポーツビジネスやスポーツマネジメントが実践されているケース(事例)を取り上げ、実際の現場を訪問するなどして資料の収集や整理を行うことにより、事業の展開やその運営のあり方について学びます。

- ①この科目は、受け入れ先等の状況により、履修者を制限することがあります(参加者数上限があります)。
- ②履修説明会は、2年生秋学期(第4セメスター)に実施します。説明会開催日時については、CHUKYO ALBOでお知らせします。
- ③履修希望者が多い場合は、担当教員と面談の上、選考を行います。履修が確定した学生のみ履修登録を行ってください。

### 「体育実技指導法」

※教職課程履修者のみスポーツ教育学科の留意点参照

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41

### オフィス・アワー

オフィス・アワーは、学生諸君が授業内容等について直接担当の教員を訪問し質問や相談ができる時間帯です。専任教員は毎週最低1回(1～1.5時間)は、このオフィスアワーを開設していますので、是非利用してください。開設の曜日や時間帯は各教員ごとに異なりますので、シラバスを確認してください。

### 成績不振学生に対する学修指導

単位の修得状況等が著しく悪い場合、下記の基準に則り学修指導を実施します。実施方法等は対象者にCHUKYO ALBOで通知します。通知を受けた場合、必ず対象者説明会に出席してください。本学修指導の対象とならないように勉学に励んでください。

対象者：1～4年生成績不振学生 ※対象基準は下表参照  
 時期：3月及び9月の履修登録期間内(時期は変更する場合があります)  
 内容：対象者説明会を実施後、担当教員の学修指導面談

#### 学修指導対象基準

学年	セメスター	総修得単位数 ※1		セメスター GPA値 ※2
1	1	11単位未満	又は	各セメスター 1.0未満
	2	30単位未満		
2	3	44単位未満		
	4	58単位未満		
3	5	72単位未満		
	6	86単位未満		
4	7	100単位未満		
	8	124単位未満		

※1 基準となる総修得単位数は、履修登録制限単位のおよそ6割を基準としている。

※2 基準となるGPAは、平均して「C」評価(合格最低ライン)を下回る場合(1.0未満)を対象としている。

## 全学開放科目

本学では、自分の所属学部以外の学部が開講している学部固有科目を履修・修得することができます。履修にあたっては履修登録制限単位に含まれます。修得した科目は、下記の表に従い卒業所要単位に含まれます。

## 対象科目

全学開放科目時間割表で確認してください。

## 履修方法

全学開放科目の履修希望者は以下の手順で履修の申込みを行ってください。

- ①CHUKYO ALBOで配信される「全学開放科目時間割表」を参照し、履修希望科目を決定してください。
- ②申込方法の詳細については、CHUKYO ALBOで確認し、申込みを行ってください。  
※CHUKYO ALBOでの履修登録及び履修修正はできません。
- ③申込期間はCHUKYO ALBOで確認してください。

## 単位認定

卒業所要単位としては下表のとおり認定されます。

学部	単位数	認定区分
国際	8単位	フロート単位
文		全学共通選択単位
心理		
現代社会		
法		
総合政策		
経済		
経営		
スポーツ科		
工		

※各単位数を超えて修得した単位は自由単位となります。

## 注意事項

- ①履修登録制限単位に含まれます。
- ②履修を希望する科目の開講学部を確認してください。
- ③教室変更・試験日程等の連絡事項は、CHUKYO ALBO又は公式ホームページを確認してください。
- ④開講キャンパス(名古屋・豊田)が異なる学部の科目も履修できますが、移動時間(約1時間)を考慮して履修計画を立ててください。
- ⑤休講・補講等は、CHUKYO ALBOで確認してください。
- ⑥履修可能学年は科目によって異なります。詳細はCHUKYO ALBOで配信される「全学開放科目時間割表」で確認してください。

## 愛知県単位互換制度

愛知県内すべての4年制大学が加盟する愛知学長懇話会において締結された「単位互換に関する包括協定」は、加盟大学に所属する学生が他の大学で開講される様々な科目を履修し、所属する大学の単位として認められる制度です。

## 出願条件

## ■出願可能学年

本学の出願可能学年は1～3年生です。4年生は履修申込み(出願)ができません。また、本学での単位修得状況がよい学生は本学での履修を優先し、申込みは控えてください。

各科目に設定されている出願条件については(対象学年等)、「講義概要」を参照してください。

## ■年間履修制限単位数

年間履修制限単位数は4単位です。この単位は本学の履修登録制限単位に含みません。

## 出願手続き

## ■出願票記入

3月中旬頃、愛知学長懇話会ホームページに「各大学の開放科目」「講義概要」「科目開設大学概要」が公開されます。これらの情報を参照した上で、所定の出願票に必要事項を記入してください(1科目につき1枚)。

出願票は、愛知学長懇話会ホームページからダウンロードするか、本学教務センター窓口で受け取ってください。

## ■出願票提出期間・提出先

出願票の提出期間は、年に1回4月上旬のみです(提出期間の詳細はCHUKYO ALBO「お知らせ」で通知)。秋学期開講科目も4月上旬に出願票を提出する必要がありますので注意してください。

提出先は本学教務センター窓口です。

## ■履修の可否

科目開設大学で履修の可否が審議された後、所属大学に結果が通知されます。科目によっては出願票に記入された「志望動機」に基づいて履修者の選考が行われる場合がありますので、「志望動機」は明確かつ具体的に記入してください。

出願者本人への履修可否通知は、4月下旬に、本学教務センターから行います。

## ■受講料

受講料は無料です。ただし、科目によっては、実験・実習等に必要実費について必要となる場合があります。

## 履修手続き

## ■履修手続き

履修許可の通知を受けた学生は、科目開設大学の指示に従って所定の履修手続きを行うことになります。また、履修登録日程の関係上、科目開設大学において履修者決定までの間、その授業の仮受講が認められていますので、出願票のコピー(本人控)を携帯し、仮の受講票とすることができます。

履修許可された後、受講の取りやめは原則としてできません。

## ■賠償責任保険加入

履修許可の通知を受けた学生は、学生教育研究災害傷害保険付帯の賠償責任保険に加入していただきます(340円)。加入に関する詳細は本学教務センターより別途指示します。

## 身分について

履修手続きを完了した学生は、科目開設大学で「単位互換履修生」又は「特別聴講学生」となります。科目開設大学によっては身分証明書が発行されます。単位互換履修生(特別聴講学生)は、科目開設大学の施設(図書館等)を利用することができますが、科目開設大学のルールに従って行動をしてください。

## 単位互換履修生(特別聴講学生)となった学生への連絡

単位互換履修生(特別聴講学生)となっている大学の休講等の連絡については、CHUKYO ALBOの「お知らせ」で連絡します。

## 単位認定

単位互換履修生(特別聴講学生)は、履修許可を受けた科目を履修し、当該科目の試験に合格すれば本学の卒業所要単位として単位認定を受けることができます(下表参照)。

ただし、他大学での履修科目と本学での履修科目が類似した内容である場合は、その程度により、試験に合格していても単位認定できないことがあります。

成績は当該学期終了後、本学教務センターからCHUKYO ALBOにて通知します。なお、試験に合格した場合の成績評価は、認定「N」とします。

学部	認定上限 単位数	認定区分
文	4単位	全学共通選択単位
国際		フロート単位
心理		全学共通選択単位
現代社会		
法		
総合政策		
経済		学部固有選択単位
経営		
工		
スポーツ科		全学共通選択単位



## 大学院進学奨励学生制度とは

大学院進学奨励学生制度は、本学大学院の研究科・専攻に進学を希望する学業成績優秀な学部4年次生に対して本学大学院教育課程の授業科目を履修する機会を提供するとともに、大学院教育との連携を図ることを目的とした制度です。

この制度を利用して学部4年次に修得した大学院科目の単位は、その科目を設置する研究科・専攻に入学すれば、教育課程(カリキュラム)の改正がない限り、修了所要単位として認定されます(ただし、研究科・専攻が教育上有益と認めた場合に限りです。)

さらに本学大学院入学後、勉学に励み、研究科・専攻が定めた要件を満たせば、博士前期(修士)課程を1年間(通常は2年間)で修了することも可能です。

## 出願資格

次の①～③の条件を満たしている者(①②は見込でも出願可)

- ①3年次終了時点で110単位以上修得している者(ただし、交換留学参加者は100単位以上)
- ②3年次終了時点でGPAが2.8以上の者
- ③大学院指導予定教員の推薦が得られる者

## 大学院科目の履修

- ①大学院スポーツ科学研究科スポーツ科学専攻博士前期(修士)課程の科目※を、「大学院進学奨励学生」として10単位まで履修することができます。ただし、スポーツ科学研究科委員会で教育研究上有益と認められた場合は、10単位を超えて(半期10単位を上限)履修することができます。

※履修可能科目は講義科目及び大学院1年次開講の演習科目(研究指導を含む)です。

※上記科目の中には年度により「大学院進学奨励学生」が履修できない科目もあります。

- ②「大学院進学奨励学生」として修得した科目については、大学院入試に合格しスポーツ科学研究科スポーツ科学専攻に入学した際に、本人の申し出により大学院の正規の単位として認定されます(入学前既修得単位)。
- ③大学院の科目を履修する際には、履修料が別途かかりますが、1単位につき1,000円と通常の科目等履修生に比べ減額されている上、選考料・登録料も免除されています。

## 大学院博士前期(修士)課程の1年修了について

大学院進学後に優れた業績を上げ、研究科・専攻が定めたすべての条件を満たした者には、在学期間1年での課程修了を認めます。

1年修了の要件については、教務センター(大学院係)(豊田キャンパス11号館1階)にお問い合わせください。

\*上記は2024年3月時点での情報であり、今後変更する場合があります。

\*大学院進学奨励学生の出願要項を教務センター(大学院係)豊田オフィス(豊田キャンパス11号館1階)で配付しています。興味・関心がある学生は、教務センター(大学院係)窓口で出願要項を受け取ってください。なお、大学院の教学内容については、スポーツ科学部専任教員に尋ねてください。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41

## 資格課程について

中京大学には、学士として卒業するための教育課程(以下では、学部教育課程といいます)のほかに、資格を取得するための資格課程が開設されています。この資格課程は、文部科学省や厚生労働省などの資格を与える公的機関から設置認可を受けた学部・学科に所属する学生に対して履修を認めています。しかし、司書課程や学芸員課程のように開設学部以外の学生が履修することのできる資格課程もありますので、下表を参照して取得可能な資格を確認してください。

資格課程は、学部教育課程と別に設置されているので、各資格課程に開講されている科目を修得しても、卒業所要単位には認められず、自由科目として扱われます。その代わりに、学部教育課程に設定されている履修登録制限単位に制限されることもありません。ただし、資格課程の必修科目や選択科目として全学共通科目や学部固有科目があてられている場合は履修登録制限単位に含まれます。

以下の資格を取得するには、各資格課程に定める科目を全て修得して、資格課程を修了することが必要です。

各学部で取得することのできる資格は、次のとおりです。

資格の種類(資格課程)	開設学部	履修できる学部
教員免許 (教職課程)	全学部※	全学部※ (ただし、取得できる 免許教科が学部・学 科により異なります)
司書教諭 (司書教諭課程)	文	工以外
司書 (司書課程)	文	工以外
学芸員 (学芸員課程)	文・現代社会	工以外
社会教育主事(任用資格) (社会教育主事課程)	現代社会	国際・工以外

※国際学部国際学科、工学部機械システム工学科、情報工学科、メディア工学科を除く。

### 教員免許状取得について

教員免許状を取得しようとする学生は、卒業に必要な単位のほかに、免許教科に応じて各学科の教職課程で開講されている科目の単位修得が必要となります。さらに、中学校教諭1種免許状を取得するには、介護等体験に参加する必要があります。

教職課程の履修開始は2年生からです。ただし、教員免許状取得に必要な科目のうち、一部科目については1年生より開講されているものもありますので、教職課程に入る前にあらかじめ修得しておくなど、計画的に履修するようにしてください。

詳細については、学年別の教職ガイダンスを実施しますので、希望者あるいは履修者は必ず出席してください。なお、各ガイダンス等で課されるレポート提出や申し込み手続等を期日までに行わなかった場合、教職課程の受付及び教職課程の継続はできないので注意してください。また教育実習等の学外実習や科目履修、各種申し込みについては付帯条件が課せられていることもあります（各ガイダンスで説明します）。

教職課程を履修するには、学費とは別に教職課程履修登録費・教職実習履修費を納入する必要があります。また、教育実習にかかわる保険料や介護等体験に参加する場合の諸費用等が必要です。

### 教職課程履修申し込み

1. 教職課程履修の申し込み手続きの受付は、1年生3月下旬に行います。なお、申し込みができるのは、事前に実施された「1年生教職課程ガイダンス」の出席者のみです。
2. 教職課程履修費は28,000円（教職課程履修登録費5,000円＋教職実習履修費23,000円）です。以下の要領に従って納入してください。  
なお、納入した各履修費の返還はできません。

項目	金額	納入時期
教職課程履修登録費(注1)	5,000円	1年生の3月下旬
教職実習履修費(注1・2・3)	23,000円	2年生の3月下旬

- 注1. 金額は2023年度入学生のものであり、改定する場合があります。
- 注2. 介護等体験へ参加するには、介護等体験費8,500円と賠償責任保険加入料210円（スポーツ科学部生除く）が別途必要です。
- 注3. 教育実習の履修には、賠償責任保険加入料210円（工学部及びスポーツ科学部生除く）が別途必要です。
3. 中学校教諭1種免許状取得希望者は別途介護等体験の申し込みが必要です。

#### 《履修上の注意》

以下の場合、必ず教務センター（教職支援係）へ連絡してください。

1. 教職課程を辞退（教員免許状取得を断念）する場合。
2. 諸事情により、介護等体験（3年生）や教育実習（4年生）を該当年次に行わない場合。
3. 取得希望の免許状の種類・免許教科を変更する場合。
4. 3年生の所定期日に提出する、教育実習用「自己紹介書」の記載内容に変更があった場合。
5. 休学又は留学をする場合。（科目履修だけでなく学外実習（教育実習や介護等体験など）に影響します。計画段階で早めに相談してください。）
6. その他、教務センター（教職支援係）に伝達が必要と思われる事項。例えば、実習校からの連絡を受けた場合など。

### 教員免許状の交付

教員免許状の取得に必要な単位を修得し、所定期日に免許状の申請手続を行った方は、卒業時に教員免許状を受け取ることができま

1. 教員免許状を受け取るには、免許教科1件につき3,600円（交付申請料3,400円及び大学が発行する証明書手数料200円）が必要です。
2. 教員免許状は愛知県教育委員会から交付されます。大学から一括して申請手続を行いますので、教員免許状取得見込の4年生は9月中旬の「教員免許状一括申請ガイダンス」に出席してください。

### 教職課程科目の履修登録

教職課程科目は、本学において「教職共通科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」に区分していますが、それぞれに必要な単位をすべて修得してください。

1. 「教職共通科目」「教科に関する科目」の中には1年生から開講される科目がありますので、計画的に履修を始めてください。
2. 「教科に関する科目」「教職に関する科目」は免許状の種類・免許教科に応じた科目を修得してください。
3. 「教職に関する科目」（学部固有科目としても開講している科目を除く）の単位は、履修制限単位には含まれません。また卒業所要単位にも算入されません。
4. 「教職共通科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」の中には、複数学科合同開講や履修者数制限を行う科目、隔年開講する科目等があります。自己責任において漏れのないよう履修登録を行ってください。

### 介護等体験

1. 中学校教諭1種免許状取得希望者は、3年生において、県下の「社会福祉施設(5日間)」と「特別支援学校(2日間)」で合計7日間の介護等体験が義務づけられています。体験先や体験日程の決定については、CHUKYO ALBOで案内します。
2. 介護等体験のスケジュールについては、次頁の「教職課程行事予定表」を参照してください。
3. 介護等体験に先立って行われる「介護等体験の事前指導」を受講しなければ、介護等体験に参加することができません。
4. 介護等体験参加者は「賠償責任保険」への加入が義務づけられています（スポーツ科学部生除く）。
5. 介護等体験を終了すると、「証明書」（事前指導で配付）に介護等体験先の学校長・施設長より署名捺印が受けられます。この「証明書」は免許状申請手続の際に必要ですので「体験記録」を添えて教務センター（教職支援係）へ提出してください。

### マナー研修

「教育実習Ⅰ」又は「教育実習Ⅱ」の履修要件として教務センター（教職支援係）が実施するマナー研修を受講済みであることが必要です。日程等の詳細については、CHUKYO ALBOで案内します。

## 教職課程行事予定表

●説明会・手続・履修 ○教育実習 ■介護等体験 ☆免許申請

対象学年	実施時期	履修行事	注意事項
1年	12月～1月	●1年生教職課程ガイダンス	*教務センター(教職支援係)より履修方法と諸手続きについて説明します。 *このガイダンスに出席しないと、2年生からの教職課程への加入を認めません。
	3月下旬	●教職課程の履修可能者発表(特定の学部) ●課程履修の申込み手続き	*CHUKYO ALBOで発表します。 *教職課程履修登録費5,000円を納入してください。 *未手続き者は「教職に関する科目」の履修登録はできません。
2年	10月～11月	●2年生教職課程ガイダンス	*教職課程履修継続手続きについて説明します。 *このガイダンスで介護等体験の概要を説明します。 *このガイダンスに出席しないと、3年生からの教職課程の継続を認めません。
	3月下旬	■介護等体験事前指導(中学校免許取得希望者)(1日講習) ●課程履修の継続手続き	*2年生教職課程履修者ガイダンスに出席し、中学校免許取得を希望している方を対象とします。 *日程はCHUKYO ALBOで発表します。 *教職実習履修費23,000円を納入してください。 *未手続き者は「教職に関する科目」の履修登録ができません。
3年	4月中旬	●新3年生教職課程ガイダンス ■介護等体験費納入 ■介護等体験の賠償責任保険加入手続き(スポーツ科学部除く)	*教育実習の依頼校の選定と受け入れ依頼の方法を説明します。 *介護等体験事前指導に出席し、事前指導レポートを提出して体験参加が認められた方は、指定期間に体験費8,500円を納入してください。 *賠償責任保険については、別途ガイダンスでお伝えする方法で手続きを済ませてください。
	4月下旬～5月下旬	○教育実習受け入れの依頼 ○愛知県公立小中、名古屋市立学校の教育実習希望登録	*教育実習希望学校へは、原則各自で申込みをします。 *新3年生教職課程ガイダンスで依頼方法を説明しますので、それ以前に依頼しないようにしてください。 *愛知県公立小中、名古屋市立学校での教育実習希望者は、新3年生教職課程ガイダンスで希望登録を実施します。
	6月中旬～6月下旬	■介護等体験先決定(社会福祉施設 5日間) ■介護等体験の資料配布	*教務センター(教職支援係)窓口で発表・配布します。
	7月上旬～中旬	■介護等体験先決定(特別支援学校 2日間) ■介護等体験の資料配布	
	7月上旬以降(指定日)	■介護等体験オリエンテーション	*社会福祉施設(5日間)、特別支援学校(2日間)とも決定先別オリエンテーションの指定日を確認し、必ず出席してください。
	7月中旬～介護等体験開始日	■介護等体験による授業欠席届の提出開始	*欠席届は教務センター(教職支援係)窓口で受け取ってください。 *体験の1・2週間前に各授業担当教員へ提出してください。
	名古屋:6月下旬 豊田:9月下旬	○教育実習の自己紹介書提出	*未確定項目がある場合でも、期日までに一旦提出してください。
	8月～12月	■介護等体験の実施 ■証明書と体験記録の提出	*身なりや言動を正して体験を実施してください。 *計7日間の体験終了後、証明書と体験記録を教務センター(教職支援係)へ提出してください。
	12月	○愛知県公立小中、名古屋市立学校の教育実習手続き	*愛知県公立小中、名古屋市立学校での教育実習登録者に対して必要書類の手続きを行います。
	2月下旬～3月下旬	○マナー研修の実施	*必ず受講してください。日程等の詳細についてはCHUKYO ALBOで発表します。
	3月下旬	○教育実習履修可能者判定 ●新4年生教職課程ガイダンス	*教育実習履修要件の確認をします。 *教育実習の実施に関する諸注意と必要書類の説明をします。
	4月初旬	○愛知県公立中、名古屋市立学校の実習校決定	*決定次第、対象者には、個別に必要な手続きの連絡をします。
4月上旬以降	○教育実習期間と実習校との打合せ日程の確認	*実習校から届く回答を基に、各自で実習校に連絡をして日程を再確認してください。	
4年	4月中旬～教育実習開始日	○教育実習による授業欠席届の提出開始 ○教育実習の賠償責任保険加入手続き(工学部及びスポーツ科学部除く)	*欠席届は教務センター(教職支援係)窓口で受け取ってください。 *実習の1・2週間前に各授業担当教員へ提出してください。 *別途ガイダンスでお伝えする方法で手続きを済ませてください。
	4月中旬～11月下旬	○教育実習事前指導 ○教育実習巡回指導教員との打合せ ○教育実習事後指導	*実習中に担当教員(巡回指導教員)が実習校を訪問します。 *担当教員に実習中のスケジュール(研究授業日等)を伝え、訪問日を調整してください。
	5月～11月	○教育実習の実施	*身なりや言動を正して実習を実施してください。
	9月中旬	☆教員免許状一括申請可能者判定	*3月卒業見込みで免許状申請に必要な単位を修得見込みか確認します。(一括申請とは、免許状の申請を大学などでとりまとめて行うことです。)
	9月下旬	☆教員免許状一括申請1次手続き	*申請者登録カードの提出と同時に申請費用を納付してください。 *教育委員会へ免許状申請予定者として登録をします。
	11月下旬	☆教員免許状一括申請2次手続き	*教育委員会から登録者情報が出力されます。その内容を確認し必要事項を記入してください。
	卒業式当日	○教育実習記録と指導案の返却 教員免許状の交付	*免許状等は卒業証書とともに渡します。

注1. 教職課程行事の詳細は各ガイダンス又はCHUKYO ALBOで連絡します。

注2. 実施時期の変更や上記以外の手続きやガイダンスが発生する場合があります。その場合は、予めCHUKYO ALBO等で連絡します。

注3. 教職課程行事とは別に「教員採用試験対策」の行事(参加は任意)を実施しています。詳細については、CHUKYO ALBOで案内します。

## 取得できる免許教科

### 大学卒業生

学部	学科	免許状の種類	免許教科
スポーツ科学部	スポーツ教育学科 競技スポーツ科学科 スポーツ健康科学科	中学校教諭一種免許状	保健体育
	トレーナー学科 スポーツマネジメント学科	高等学校教諭一種免許状	保健体育

## 教職課程履修要件

### ①教職課程履修希望者GPA目標について

1年次に少なくとも2.0以上のGPAを取ることができるように、単位の取得だけでなく成績も意識して講義に臨んでください。

### ②2年生における教職課程履修要件

1年生終了までに卒業所要単位のうち36単位以上修得していなければなりません。教職課程履修有資格者は、3月下旬にCHUKYO ALBOで連絡します。

### ③教育実習履修要件

免許状の種類		3年生終了時の卒業所要単位の修得単位数と 教科教育法及び教職に関する科目の修得科目と科目数	マナー研修の受講
中学校教諭1種	保健体育	〈スポーツ教育学科〉 100単位以上及び体育科教育法IBと保健科教育法IBを含む8科目以上を修得	教務センター(教職支援係)が実施するマナー研修を受講済みであること。
高等学校教諭1種	保健体育	〈スポーツ教育学科 以外〉 100単位以上及び体育科教育法Iと保健科教育法Iを含む8科目以上を修得	

#### 注1. 教育実習期間

「教育実習I(5単位)」を履修登録してください。教育実習期間は3週間(15日)以上です。

#### 注2. 教育実習事前事後指導

「教育実習I(5単位)」のうち1単位は事前事後指導に充当します。事前事後指導には必ず出席してください。

#### 注3. 教育実習中に本人の過失による重大なトラブルが発生した場合は、教育実習期間中であっても実習を中止する場合があります。

### ④3年生又は4年生からの教職課程履修要件

前年度の「1年生教職課程ガイダンス」に参加をし、前年度末までに卒業所要単位のうち70単位以上修得していなければなりません。なお、3・4年生から履修を開始する場合、各種手続きや教育実習実施時期の関係で、卒業時の免許状取得が困難になることがあります。

## 教職課程科目(教職共通・教職・教科)

### 教職共通科目【中1種・高1種/保健体育】

免許法施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目				履修可能 学年	修得科目 チェック
	授業科目	単位数				
		必修	選択必修			
日本国憲法	○日本国憲法	2			1～4年	
体育	●野外活動実習(スキー)		2	1科目 2単位 選択必修	1～4年	
	●野外活動実習(マリンスポーツ)		2		2～4年	
	●野外活動実習(キャンプ)		2		3～4年	
	●野外活動実習(アウトドアスポーツ)		2		3～4年	
外国語コミュニケーション	○ベーシック英語コミュニケーションA		1	2科目 2単位 選択必修	1～4年	
	○ベーシック英語コミュニケーションB		1		1～4年	
	○エレメンタリー英語コミュニケーションA		1		1～4年	
	○エレメンタリー英語コミュニケーションB		1		1～4年	
	○インターメディアイト英語コミュニケーションA		1		1～4年	
	○インターメディアイト英語コミュニケーションB		1		1～4年	
	○アドバンスト英語コミュニケーションA		1		1～4年	
	○アドバンスト英語コミュニケーションB		1		1～4年	
数理、データ活用及び人工 知能に関する科目 又は情報機器の操作	●情報スキルズ	2			1～4年	

#### 注意事項

注1. 野外活動実習の4科目については、履修制限単位に含めませんが、卒業所要単位には算入します。

注2. ●印の科目は、学部固有科目です。 注3. ○印の科目は、全学共通科目です。

注4. 科目の開講については、時間割表で確認してください。

## 教職に関する科目【中1種・高1種／保健体育】

免許法施行規則に定める 科目区分等	左記に対応する開設授業科目					履修可能 学年	修得科目 チェック		
	授業科目	単位数			2～4年				
		中1種 必修	高1種 必修	選択必修					
各科目に含めることが必要な事項									
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	○教職入門	2	2		2～4年				
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育原論	2	2		2～4年				
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○学習・発達論	2	2		2～4年				
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	○教育の制度と経営	2	2		2～4年				
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	○教育課程論	2	2		2～4年				
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	1	1		3～4年				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	●保健科教育法IB	(注1)	2	2		2～4年			
	●保健科教育法IA					2～4年			
	●体育科教育法IB				2	2		2～4年	
	●体育科教育法IA							2～4年	
	●保健科教育法I	(注2)	2	2		2～4年			
	●体育科教育法I					2～4年			
	●保健科教育法II	2	2	2	(注3)	3～4年			
	●体育科教育法II					3～4年			
道徳の理論及び指導法	○道徳教育の理論と実践(注4)	2			3～4年				
特別活動の指導法	○特別活動の方法	1	1		3～4年				
総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	1	1		3～4年				
教育の方法及び技術	○教育方法論	1	1		3～4年				
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○情報通信技術の活用	1	1		3～4年				
生徒指導の理論及び方法	○生徒指導・進路指導の方法	2	2		4年				
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	○進路指導・進路指導の方法	2	2		4年				
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	○教育相談(カウンセリング含む)	2	2		3～4年				
教職実践演習	○教職実践演習(中・高)(注5)	2	2		4年				
教育実習	●○教育実習I(注6)	5	5		3～4年				
	○教育実習II(不開講)	3	3		4年				

## 注意事項

## 注1. 教育法IBについて

スポーツ教育学科のみ対象の科目です。

中学・高校免許取得希望者は、○○科教育法IBを履修してください。小学校教員養成特別プログラム受講生は、○○科教育法IBの代わりに○○科教育法IAを履修してください。

## 注2. 教育法Iについて

競技スポーツ科・スポーツ健康科・トレーナー・スポーツマネジメント学科のみ対象の科目です。

## 注3. 選択必修科目について

高1種免許取得においては、「保健科教育法II」か「体育科教育法II」のいずれか1科目選択必修です。

## 注4. 「道徳教育の理論と実践」は、中1種免許取得においては必修です。

注5. 「教職実践演習(中・高)」を履修するにあたり、所定の期間内に本学指定の「教職課程履修カルテ」を教務センター(教職支援係)に提出することが要件となります。

## 注6. 教育実習について

教育実習は、全員「教育実習I」(5単位)を履修してください。

小学校教員養成特別プログラム受講生のみ3年次に履修可。その他の学生は4年次に履修してください。

## 注7. ●印の科目は、学部固有科目です。

## 注8. ○印の科目は、履修登録制限単位に含みません。

## 注9. 科目の開講については時間割表で確認してください。

教科に関する科目 【中1種・高1種／保健体育】 (39単位)

免許法施行規則に規定する科目	左記に対応する開設授業科目				
	授業科目	単位数	種別	履修可能学年	修得科目チェック
体育実技	トレーニング基礎	2	必修	1～4年	
	スポーツ実技A(バレーボール)	各1	9単位 (9種目) 選択必修	1～4年	
	スポーツ実技A(バスケットボール)			1～4年	
	スポーツ実技A(サッカー)			1～4年	
	スポーツ実技A(ソフトボール)			1～4年	
	スポーツ実技A(ラグビー)			1～4年	
	スポーツ実技A(ハンドボール)			1～4年	
	スポーツ実技B(陸上競技トラック)			2～4年	
	スポーツ実技B(陸上競技フィールド)			2～4年	
	スポーツ実技B(器械運動)			2～4年	
	スポーツ実技B(水泳)			2～4年	
	スポーツ実技C(柔道)			2～4年	
	スポーツ実技C(剣道)			2～4年	
	スポーツ実技C(ダンス)			2～4年	
	スポーツ実技C(体づくり運動)			2～4年	
	スポーツ実技D(バドミントン)			3～4年	
	スポーツ実技D(卓球)			3～4年	
スポーツ実技D(テニス)	3～4年				
「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	体育・スポーツ原論	2	必修	1～4年	
	体育・スポーツ史	2	必修	1～4年	
	バイオメカニクス	2	必修	2～4年	
	体育・スポーツ心理学	2	必修	2～4年	
	生涯スポーツ論	2	必修	2～4年	
生理学(運動生理学を含む。)	解剖・生理学A	2	必修	1～4年	
	解剖・生理学B	2	必修	1～4年	
	運動・スポーツ生理学	2	必修	2～4年	
衛生学・公衆衛生学	健康学概論	2	必修	2～4年	
	衛生・公衆衛生学A	2	必修	3～4年	
	衛生・公衆衛生学B	2	必修	3～4年	
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	学校保健A	2	必修	3～4年	
	学校保健B	2	必修	3～4年	
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	保健体育教科内容論	2	必修	3～4年	

注意事項

注1. 上記科目は履修登録制限単位・卒業所要単位に算入します。

注2. 科目の開講については時間割表で確認してください。

注3. この表の科目とは別に、体育実技指導法(体づくり運動、器械運動、陸上競技、水泳、球技、武道、ダンス)の7科目の中から、1科目(2単位)以上を修得するようにしてください。

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41

## 通信課程による教員免許状取得について

## ■通信課程について

提携大学の通信教育科目等履修制度を活用し、本学在学中に以下の教員免許状を取得するプログラムを履修することができます。このプログラムには、学習意欲に富み、教員としての資質向上を目指し、且つ教職に就く強い意志を持ちあわせた学生を推薦します。なお、履修においては条件や別途費用が必要となります。詳細はガイダンスで説明しますので該当のガイダンスに必ず出席してください。また、本プログラム履修者は原則としてプログラムの途中辞退は認めません。

## ■取得できる免許状と履修期間

- ・小学校教諭2種免許状（履修期間：3・4年次の2年間）
  - ・特別支援学校教諭1種免許状（履修期間：2・3・4年次の3年間）
- 取得できる学部学科は以下のとおりです。

学部学科	文		国際	心理	法	経済	経営	総政	現社	工	スポ	
	目次／言葉	歴史									競技／トレーニング	教育／健康
小免	×	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○
特支免	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○

○：履修可 ×：履修不可

## ■プログラム履修条件等

各プログラムの履修条件等は以下のとおりです。なお、同時履修はできません（どちらかのみ履修となります）。下記以外にも、履修希望理由書の提出や面談による履修決定、またプログラム開始後の履修状況により履修取り消し等の可能性もあります。

## I. 小学校教諭2種免許状

## 《文学部歴史文化学科、心理・法・現代社会学部》

- ・本学の教職課程履修者（中学校教諭1種）
- ・履修定員若干名

## 《国際学部》

- ・本学の教職課程履修者（中学校及び高校教諭1種）及び2年次春学期終了時の成績が規定基準以上（トータルGPA2.5以上、卒業所要単位56単位以上）
- ・履修定員若干名

## 《スポーツ科学部スポーツ教育学科》

- ・本学の教職課程履修者（中学校及び高校教諭1種）及び1年次終了時の成績が規定基準以上（トータルGPA2.5以上、卒業所要単位40単位以上）
- ・2年次終了時の成績が規定基準以上（トータルGPA2.5以上、卒業所要単位74単位以上）かつ教科教育法及び教職に関する科目（「体育科教育法IA」及び「保健科教育法IA」の2科目を含む）を5科目以上修得
- ・履修定員30名

## 《スポーツ科学部スポーツ健康科学科》

- ・本学の教職課程履修者（中学校及び高校教諭1種）及び1年次終了時の成績が規定基準以上（トータルGPA2.5以上、卒業所要単位40単位以上）
- ・2年次終了時の成績が規定基準以上（トータルGPA2.5以上、卒業所要単位74単位以上）かつ教科教育法及び教職に関する科目（「体育科教育法I」又は「保健科教育法I」の1科目を含む）を4科目以上修得
- ・履修定員20名

## II. 特別支援学校教諭1種免許状

## 《心理・経済・経営・総合政策学部》

- ・本学の教職課程履修者（中学校教諭1種）
- ・履修定員若干名

## 《国際学部》

- ・本学の教職課程履修者（中学校教諭1種）及び1年次終了時までの成績が規定基準以上（トータルGPA2.5以上、卒業所要単位32単位以上）
- ・履修定員若干名

## 《法学部》

- ・本学の教職課程履修者（中学校教諭1種）及び1年次終了時までの成績が規定基準以上（トータルGPA2.0以上、卒業所要単位40単位以上）
- ・履修定員若干名

## 《スポーツ科学部》

- ・本学の教職課程履修者（中学校教諭1種及び高校教諭1種）及び1年次

終了時までの成績が規定基準以上（トータルGPA2.5以上、卒業所要単位40単位以上）

- ・履修定員22名

## ■履修スケジュール

## I. 小学校教諭2種免許状

- ①「1年生教職課程ガイダンス」に必ず参加し、プログラム履修希望届を期日までに教務センター（教職支援係）に提出してください。
- ②学部教員による面接を受け、履修可否の決定を行います。（スポーツ科学部：1年次2月下旬～3月予定、その他学部：2年次秋学期）
- ③2年次1月中旬に入学手続きを行い、3年次から通信教育をスタートさせます。
- ④履修科目の中にはスクーリングによる履修（協定大学への通学）が予定されています。
- ⑤3年次の3月頃に履修継続手続きを行い、4年次も継続して通信教育を履修します。
- ⑥4年次秋学期（9～10月頃）に小学校で教育実習を行います（実習校への教育実習依頼は3年次で実施）。
- ⑦履修修了者は、卒業後教育委員会に小学校教諭2種免許状の個人申請を行います。

## （注意）

- ・履修に際して各種ガイダンスが行われますので必ず参加してください。
- ・スポーツ教育学科の本プログラム履修生は、上記小学校での教育実習の他に、3年次に本学教職課程の「教育実習I」（原則中学校での教育実習、実習校への教育実習依頼は2年次で実施）を履修します。
- ・スポーツ教育学科以外の本プログラム履修生は、上記小学校教育実習の他に、4年次春学期に本学教職課程の「教育実習I」（中学校又は高等学校での教育実習、実習校への教育実習依頼は3年次で実施）を履修します。
- ・介護等体験（7日間）は3年生で実施します。スポーツ教育学科生は教育実習と重ならないように教務センター（教職支援係）が介護等体験の日程調整をします。

## II. 特別支援学校教諭1種免許状

- ①「1年生教職課程ガイダンス」に必ず参加し、プログラム履修希望届を期日までに教務センター（教職支援係）に提出してください。
- ②1年次1月～2月下旬頃に学部教員による面接を受け、履修可否の決定を行います。
- ③1年次2月下旬に入学手続きを行い、2年次から通信教育をスタートさせます。
- ④2年次及び3年次の3月頃に履修継続手続きを行い、次年度も継続して通信教育を履修します。
- ⑤履修科目の中にはスクーリングによる履修（協定大学への通学）が予定されています。
- ⑥4年次秋学期（9～10月頃）に特別支援学校で教育実習を行います（実習校への教育実習依頼は3年次で実施）。
- ⑦履修修了者は、卒業後教育委員会に特別支援学校教諭1種免許状の個人申請を行います。

## （注意）

- ・履修に際して各種ガイダンスが行われますので必ず参加してください。
- ・本プログラム履修生は、上記特別支援学校での教育実習の他に、4年次春学期に本学教職課程の「教育実習I」（中学校又は高等学校での教育実習、実習校への教育実習依頼は3年次で実施）を履修します。

## ■学費等納付金について

入学時及び継続時に協定大学へ学費等を納付します。金額は以下のとおりです。また、入学手続きや各種レポート等提出における郵送料、スクーリング履修時の交通費・宿泊費等が別途必要です。

## I. 小学校教諭2種免許状

総額：320,000円（1年目入学費・スクーリング費等：183,000円、2年目継続手続き費・教育実習指導費等：137,000円）

## II. 特別支援学校教諭1種免許状

総額：439,000円（1年目入学費等：111,000円、2年目継続手続き費・スクーリング費等：193,000円、3年目継続手続き費・教育実習指導費等：135,000円）

※I、IIともに2023年度諸費一覧であり、次年度以降一部改正する場合があります。また履修状況により変動する場合があります。

## ■その他（提携大学について）

- ・小学校教諭2種免許状：玉川大学通信教育課程
- ・特別支援学校教諭1種免許状：明星大学通信教育部



スポーツ科学部 資格指定科目一覧表

以下の一覧表で資格に必要な科目を確認できます。

履修可能学年	科目名	単位数	公認スポーツ指導者	AT	水泳コーチ1	競泳コーチ3	ジュニアスポーツ指導員	健康運動実践指導者	健康運動指導士	CSCS	レクリエーションインストラクター	障害者スポーツ指導員	衛生管理者
1~4	体育・スポーツ原論	2	●										
1~4	トレーナー概論	2		●									
1~4	スポーツパフォーマンス実習I(水泳)	1			●	●							
1~4	スポーツパフォーマンス実習II(水泳)	1				●							
1~4	トレーニング基礎	2	●					●	●				
1~4	レクリエーション基礎実習	1									●		
1~4	レジャー・レクリエーション論	2									●		
1~4	解剖・生理学A	2						●	●	●			
1~4	解剖・生理学B	2						●	●	●			
1~4	スポーツ経営学概論	2	●										
1~4	スポーツ救急処置	2		●						●			●
1~4	障害者スポーツ実習	1										●	
1~4	障害者スポーツ論	2										●	
1~4	健康運動実践学	2							●				
1~4	子どもスポーツ学	2					●						
1~4	子どもスポーツ体験	2					●						
1~4	野外活動実習(スキー)	2											
2~4	野外活動実習(マリンスポーツ)	2									4種目から1種目		
3~4	野外活動実習(キャンプ)	2									2単位修得		
3~4	野外活動実習(アウトドアスポーツ)	2									●		
2~4	トレーニング論A	2	●	●		△	◆	●		●			
2~4	トレーニング論B	2	●			△	◆						
2~4	トレーナーインターンシップI	2								●			
2~4	スポーツ医学A	2	●	●			◆	●	●	●			
2~4	スポーツ医学B	2		●				●	●				
2~4	バイオメカニクス	2	●	●				●	●	●			
2~4	レクリエーション指導法I	2									●		
2~4	レクリエーション指導法II	2									●		
2~4	運動・スポーツ生理学	2		●				●	●	●			
2~4	運動器の機能解剖学A	2		●									
2~4	運動器の機能解剖学B	2		●									
2~4	スポーツ安全・健康管理論	2		●									
2~4	子どもスポーツ指導法I	2					●						
2~4	子どもスポーツ指導法II	2					●						
2~4	健康運動実習A	1						●	●				
2~4	健康運動実習B	1						●	●				
3~4	健康運動実習C	1						●	●				
2~4	健康学概論	2						●	●				
2~4	健康と生活習慣病	1						●	●				
2~4	体育・スポーツ心理学	2	●					●	●				
2~4	発育老化論	2						●	●				
2~4	スポーツ実技C(体づくり運動)	1						●	●				
2~4	スポーツ実技B(水泳)	1			△								
2~4	コーチング論A	2											
2~4	コーチング論B	2											
2~4	コンディショニング論	2		●									
2~4	コンディショニング実習	2		●									
3~4	コーチング科学A	2	●										
3~4	コーチング科学B	2	●										
3~4	スポーツ法学	2	●										
3~4	アスリート評価法	2		●									
3~4	スポーツ医学C	2		●									
3~4	スポーツ栄養学	2	●	●			◆	●	●	●			
3~4	リコンディショニング実習	2		●									
3~4	リコンディショニング論	2		●									
3~4	救急処置演習	2		●			◆						
3~4	スポーツ外傷・障害予防演習I	2		●									
3~4	スポーツ外傷・障害予防演習II	2		●									
3~4	労働生理学	2											●
3~4	運動生理学演習	2						●	●				
3~4	衛生・公衆衛生学A	2											●
3~4	衛生・公衆衛生学B	2											●
3~4	健康診断演習	2							●				●
3~4	体育実技指導法(水泳)	2			◆	△	◆						
3~4	健康運動指導法	2							●				
3~4	教育実習I	5											
3~4	トレーニングプログラムデザイン	1								●			
3~4	ストレッチ&コンディショニング実習	1								●			
3~4	ストレッチ&コンディショニング演習	2								●			
3~4	ストレッチ&コンディショニングインターンシップI	1								●			
3~4	子ども運動実践演習	2					●						
4	コーチング演習A(水泳)	2			△	◆	●	△	◆				
4	コーチング演習B(水泳)	2				●	△						
4	労働衛生法規・行政A	2											●
4	労働衛生法規・行政B	2											●
4	労働衛生学A	2											●
4	労働衛生学B	2											●

【留意点】 ・資格ごとに資格の取得方法や条件が異なりますので、必ず各種資格のページを確認してください。  
 ・「水泳コーチ1」及び「競泳コーチ3」は履修パターンが3種類(①●、②△、③◆)あります。あくまでも履修モデルとなりますので、それぞれの資格に関するページを確認し、自分に合った履修計画を立てましょう。  
 ※①は水泳部に所属する学生が対象です。水泳部に所属しない学生は、②～③を参考に履修計画を立てましょう。

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41

### 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者とは

公益財団法人日本スポーツ協会及び加盟団体等が、公認スポーツ指導者制度に基づき資格認定する指導者は、スポーツ医・科学の知識を活かし、「スポーツを安全に、正しく、楽しく」指導し、「スポーツの本質的な楽しさ、素晴らしさ」を伝えることができる者としています。公認スポーツ指導者とは、指導対象者に対して責任を持って適切なスポーツ指導に当たるために必要な指導能力とスポーツに関する知識を身につけた人です。

### 資格を取得するためには

公認スポーツ指導者は、公益財団法人日本スポーツ協会発行の資格です。

本学では、本学が定めるコース修了指定科目をすべて履修・修得することと、日本スポーツ協会によるオンラインテストを受験し合格することにより、公認スポーツ指導者資格を取得するための『共通科目Ⅲコース』を修了したことになります(通常、各コースを修了するためには、日本スポーツ協会の養成講習会を受講する必要があります)。

『共通科目Ⅲコース』の修了資格には、有効期間(4年間)があります。更新については、日本スポーツ協会の案内に従ってください。

公認スポーツ指導者の各種資格を取得するためには、『共通科目コース』の修了と、取得を希望するスポーツ競技や資格の『専門科目』を修了する必要があります。

『専門科目』修了資格は、公益財団法人日本スポーツ協会の定める各種目別の『専門科目』講習会を受講することで取得できます。資格によっては専門科目を取得する際に筆記試験や実技試験を課す場合もあります。本学では、「アスレティックトレーナー」「水泳コーチ1」「競泳コーチ3」「ジュニアスポーツ指導員」の『専門科目』を設置しているので、本学の定める各資格取得指定科目の単位を修得し各種資格の認定条件を満たすことで上記4資格の『専門科目』修了資格を得ることが可能です。

### 共通科目Ⅲコース修了指定科目

次ページを参照してください。

※指定科目は、変更になることがあります。変更が発生した際は、CHUKYO ALBOで案内します。

### オンラインテスト受験手続き

- ①日本スポーツ協会が主催するオンラインテストを受験する際は、大学を通じて申込手続きを行います。受験料は無料です。
- ②オンラインテストは、半期ごとに受験ができます。コース修了指定科目を全て修得し、在学中に受講完了申請を行うことで受験が可能です(在学中・卒業時・卒業後問わず受験が可能です)。  
※卒業後に受講完了申請することはできません。
- ③受講完了申請時までに、日本スポーツ協会発行のリファレンスブックを必ず購入する必要があります。リファレンスブックは、各自「指導者マイページ」から購入します。指導者マイページの登録とテキスト購入方法についてはCHUKYO ALBOにて案内します。
- ④手続き完了後は、指定期間内に各自オンラインテストを受験してください。受験期間内であれば何度でも受験でき、リファレンスブックを用いて学習しながら回答することが可能です。
- ⑤オンラインテスト合格後は、合格証・修了証は発行されません。その代わりに、日本スポーツ協会の指導者マイページへの登録が必要です。登録にあたっては、登録料が必要です(登録料金未定)。登録料は、各自日本スポーツ協会へ支払います(予定)。

### その他

『共通科目Ⅲコース』修了オンラインテストは、在学中でも受験が可能です。合格後、4年間の有効期限があるため、受験のタイミングに留意してください。

【共通科目Ⅲ】コース 修了指定科目<日本スポーツ協会免除認定科目>一覧表

公認スポーツ指導者養成講習会 共通科目				本学開講科目			
講習科目			時間数	科目名	単位	履修可能学年	要件
コーチングを理解しよう	1	コーチングとは	62	コーチング科学A コーチング科学B 体育・スポーツ原論 スポーツ法学※	2 2 2 2	3~4年 3~4年 1~4年 2~4年	すべて 修得
	2	コーチに求められる役割					
	3	コーチに求められる知識とスキル					
	4	対他者力を磨こう					
	5	對自己力を磨こう					
	6	スポーツの意義と価値					
	7	スポーツの価値を守るスポーツ権					
	8	スポーツの自治 ーガバナンスとコンプライアンスー					
	9	暴力・ハラスメントの根絶					
	10	スポーツのインテグリティ					
	11	スポーツ事故における指導者の法的責任					
	12	スポーツ仲裁					
	13	スポーツ倫理					
	14	時代をリードするコーチング					
グッドコーチに求められる 医・科学知識	1	スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系	116	トレーニング基礎 バイオメカニクス 体育・スポーツ心理学 トレーニング論A トレーニング論B スポーツ栄養学 スポーツ医学A	2 2 2 2 2 2 2	1~4年 2~4年 2~4年 2~4年 2~4年 3~4年 2~4年	
	2	体力のトレーニング					
	3	スキルトレーニング					
	4	心のトレーニング					
	5	スポーツと栄養					
	6	スポーツに関連する医学的知識					
	7	アンチ・ドーピング					
現場・環境に応じた コーチング	1	コーチング環境の特徴	46	コーチング科学A コーチング科学B スポーツ経営学概論※ 体育・スポーツ原論	2 2 2 2	3~4年 3~4年 1~4年 1~4年	
	2	ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング					
	3	スポーツ組織のマネジメント					
	4	障がい者スポーツ					
合計時間数			224				

※指定科目は変更となる可能性があります。変更が発生した際は、CHUKYO ALBOで案内します。

※履修可能学年は、所属学科により異なることがあります。

※「スポーツ法学」「スポーツ経営学概論」の2科目は学科ごとに履修可能学年が異なります。

「スポーツ法学」【2~4年】スポーツマネジメント学科 【3~4年】スポーツ教育学科・競技スポーツ科学科・スポーツ健康科学科・トレーナー学科

「スポーツ経営学概論」【1~4年】スポーツマネジメント学科 【3~4年】スポーツ教育学科・競技スポーツ科学科・スポーツ健康科学科・トレーナー学科

スポーツでコンスタントに競技力を発揮するためには、技術練習やトレーニングなどを積むことが重要です。その一方で競技活動に伴う外傷・障害や、風邪などのコンディション不良といったネガティブな要因をコントロールしていくことも不可欠です。

アスレティックトレーナーの役割はこのように多様な側面のあるアスリートのコンディショニングを総合的にサポートすることにあります。特に疾病や外傷を予防し、疾病や外傷からのリハビリを助けることが重視されるため、アスレティックトレーナーにはスポーツ医学とスポーツ科学についての正しい知識や優れた技術が求められます。

我が国においてもアスレティックトレーナーへのニーズが高まり、1994年から公益財団法人日本スポーツ協会にて養成が始まりました。

本学のスポーツ科学部トレーナー学科は公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー免除適応コースとなっています。

教務センターを通して行います。

### アスレティックトレーナー(AT)とは

アスレティックトレーナーは、スポーツ現場などにおいて、1)スポーツ活動中の外傷・障害予防、2)コンディショニングやリコンディショニング、3)安全と健康管理、及び4)医療資格者へ引き継ぐまでの救急対応という4つの役割に関する知識と実践する能力を活用し、スポーツをする人の安全と安心を確保したうえで、パフォーマンスの回復や向上を支援する役割を担います。

### 対象学科

・トレーナー学科

### 資格の取得方法

- ①AT資格取得方法の詳細については、新入生〈トレーナー科学科〉ガイダンス(4月上旬)と「トレーナー概論」の授業で説明します。新4年生を対象にAT資格の受講届(アンケート)についてCHUKYO ALBOにて案内します。資格取得希望者は必ずアンケートに回答してください。
- ②ATの受験資格取得のためには、公益財団法人日本スポーツ協会の『共通科目Ⅲコース』を修了し、本学が定めるAT資格取得指定科目をすべて履修・修得し、加えて180時間の『現場実習』をしなければなりません。次のページに「アスレティックトレーナー資格専門科目〈日本スポーツ協会免除認定科目〉一覧表」が掲載されていますので、資格取得指定科目を確認し1年生から積極的・計画的に履修・修得してください。『現場実習』は授業外で実施します。『現場実習』の方法については、トレーナー概論の授業で教員から指導を受けてください。
- ③AT資格取得のためには上記に加えて、各種BLS資格を取得することが必要です。BLS資格の認定証コピーを、実技試験申込時に提出できなければ受験することはできません。
- ④②・③の要件を全て満たした者は、4年生で公益財団法人日本スポーツ協会主催の『実技確認テスト〈2~3月〉』を受験できます。実技試験は在学中のみ受験が可能であり、不合格となった場合は在学中に限り再受験が可能です。『実技確認テスト』合格者は次に『理論試験〈4~5月/10月~11月〉』を受験します。理論試験は在学中に受験申込みが必要となります。この『理論試験』に合格し、公益財団法人日本スポーツ協会へ登録手続きを行うことでAT資格が取得できます。『理論試験』不合格者は受験有効期限(4年)内であれば再受験ができます。受験回数に制限はありません。  
検定試験については次のページに「公認アスレティックトレーナー適応コース検定試験の流れについて」が掲載されていますので参照してください。
- ⑤公益財団法人日本スポーツ協会への『実技試験』の申し込み等は

## アスレティックトレーナー（AT）資格 専門科目〈日本スポーツ協会免除認定科目〉一覧表

学部固有科目は学年別に配当されており、上級学年の配当科目を履修することはできません。

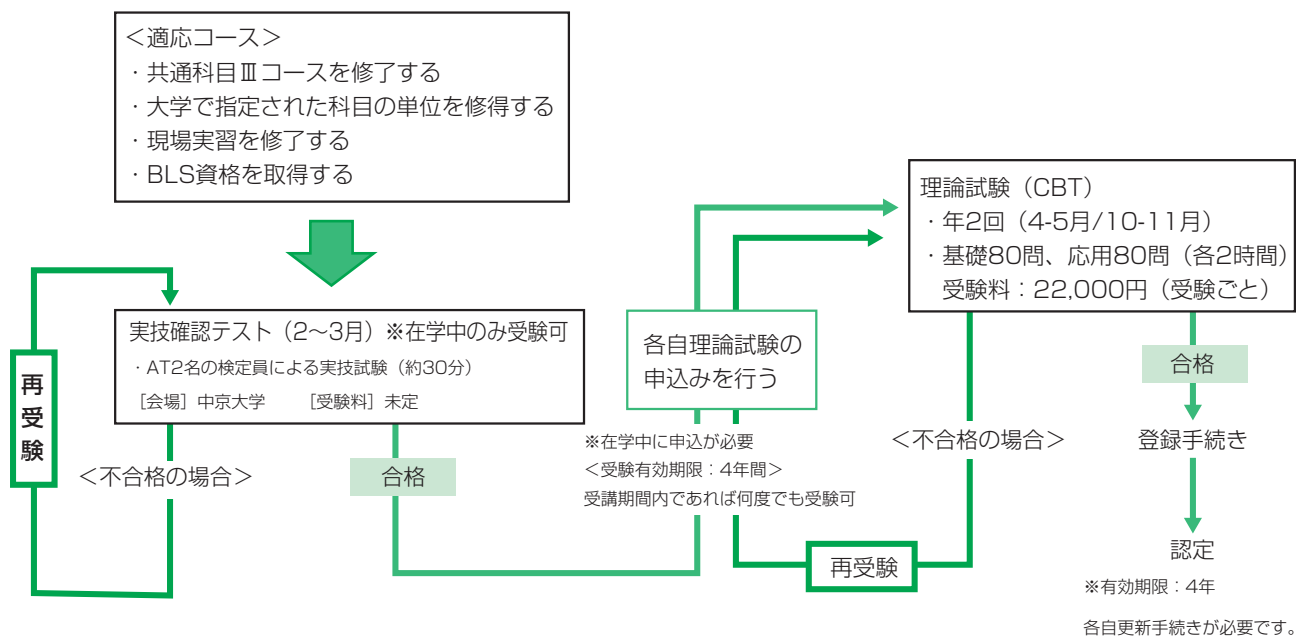
アスレティックトレーナー養成講習会 専門科目		本学の開講科目			
講習科目	時間数	科目名	単位	履修可能学年	要件
1. JSPO-ATの役割	30	トレーナー概論	2	1～4年	すべて 修得
2. 安全・健康管理およびスポーツ外傷・ 障害の予防	90	スポーツ安全・健康管理論	2	2～4年	
		スポーツ外傷・障害予防演習I	2	3～4年	
		スポーツ外傷・障害予防演習II	2	3～4年	
3. コンディショニング	90	コンディショニング論	2	2～4年	
		コンディショニング実習	2	2～4年	
4. リコンディショニング	90	リコンディショニング論	2	3～4年	
		リコンディショニング実習	2	3～4年	
5. 救急対応	60	スポーツ救急処置	2	1～4年	
		救急処置演習	2	3～4年	
6. 検査・測定と評価	30	アスリート評価法	2	3～4年	
7. 人体の解剖と機能	60	運動器の機能解剖学A	2	2～4年	
		運動器の機能解剖学B	2	2～4年	
8. スポーツ科学	90	トレーニング論A	2	2～4年	
		バイオメカニクス	2	2～4年	
		運動・スポーツ生理学	2	2～4年	
9. スポーツ医学	60	スポーツ医学A	2	2～4年	
		スポーツ医学B	2	2～4年	
		スポーツ医学C	2	3～4年	
10. 現場実習	180			2～4年	

※注1 現場実習は、180時間の授業外実習（スポーツ現場実習等）が必要です。  
詳細はガイダンスにて説明します。

※注2 上記科目の修得のほか、日本スポーツ協会が指定するBLS資格を取得する必要があります。

## 「公認アスレティックトレーナー適応コース検定試験」の流れについて

### 公認アスレティックトレーナー適応コース検定試験の流れ



★審査料・受験料・登録料等については、消費税増税に伴い改定される場合がありますので、必ず「日本スポーツ協会」ホームページで確認してください。

「水泳コーチ1」資格は、一般水泳愛好者らを対象に、水泳や水中運動を通して健康の維持、増進と体力向上を図るとともに泳法の技術指導を施し生涯スポーツとしての普及を目的とした資格です。公共並びに民間のスポーツ施設、学校体育、地域スポーツ活動などで指導するのに適しています。

「競泳コーチ3」資格は、水泳選手の育成を目的としています。民間スポーツクラブや学校課外活動における専門的指導に適しています。いずれも公益財団法人日本スポーツ協会公認資格であり、国体やインターハイなどの公益財団法人日本スポーツ協会あるいは全国高校総合体育連盟主催の大会へは代表コーチ並びに役員としての資格を有します。

### 「水泳コーチ1」「競泳コーチ3」資格の取得方法

①『水泳コーチ1』又は『競泳コーチ3』資格を取得するためには、公益財団法人日本スポーツ協会の『共通科目Ⅲ』と、下記の『水泳

コーチ1/競泳コーチ3』養成講習会専門科目一覧から本学指定科目を確認の上、履修・修得し『水泳コーチ1/競泳コーチ3』専門科目の受講完了申請をするとともに、学内で実施される『水泳コーチ1/競泳コーチ3』専門科目検定試験に合格することが必要です。

②専門科目検定試験の受験手続きと『共通科目』『専門科目』の受講完了申請手続きは、全て教務センターを通して行います。

※「競泳」以外の水泳種目(飛込・水球・AS・OWS)のコーチ3資格取得を希望する場合は教務センター窓口へ申し出てください。

### その他

申請料・検定料については、消費税増税に伴い改正される場合がありますので、必ず申請時に「日本スポーツ協会」のホームページで確認してください。

### 「水泳コーチ1」専門科目<日本スポーツ協会免除認定科目>一覧表

### 「競泳コーチ3」専門科目<日本スポーツ協会免除認定科目>一覧表

公認水泳コーチ1 養成講習会専門科目					
講習科目	時間数	本学の開講科目	単位	履修可能学年	要件
学科	水泳の歴史	①スポーツパフォーマンス実習 I※ ②スポーツ実技B(水泳)	1 1	1~4年 2~4年	①~④の中で 1科目を修得
	水泳指導者・初心者指導法	③体育実技指導法(水泳) ④コーチング演習(水泳)A	2 2	3~4年 4年	
	水泳プールにおける安全	①スポーツパフォーマンス実習 I※	1	1~4年	
	水泳の科学	②コーチング演習(水泳)A	2	4年	
実技	基礎技術	①スポーツパフォーマンス実習 I※ ②スポーツ実技B(水泳) ③体育実技指導法(水泳)	1 1 2	1~4年 2~4年 3~4年	①~③の中で 1科目を修得
	指導実習	①スポーツパフォーマンス実習 I※ ②体育実技指導法(水泳) ③コーチング演習(水泳)A	1 2 2	1~4年 3~4年 4年	①~③の中で 1科目を修得
合計	6科目	24時間			
公認水泳コーチ3 養成講習会専門科目					
講習科目	時間数	本学の開講科目	単位	履修可能学年	要件
基礎理論	水泳競技概説	①スポーツパフォーマンス実習 I※ ②スポーツパフォーマンス実習 II※ ③コーチング演習(水泳)A	1 1 2	1~4年 1~4年 4年	①と②の2科目 か③の1科目を 修得
	トレーニング科学	①スポーツパフォーマンス実習 II※ ②コーチング演習(水泳)A	1 2	1~4年 4年	①と②の内 1科目を修得
	心理学	①スポーツパフォーマンス実習 II※ ②トレーニング論B	1 2	1~4年 2~4年	①と②のうち 1科目を修得
	メディカル・ コンディショニング	①スポーツ栄養学 ②コーチング演習(水泳)A ③コーチング演習(水泳)B	2 2 2	3~4年 4年 4年	①の1科目か② と③の2科目を 修得
指導理論	トレーニング法	①スポーツパフォーマンス実習 II※ ②トレーニング論A	1 2	1~4年 2~4年	①と②のうち 1科目を修得
		①コーチング論A ②コーチング論B ③コーチング演習(水泳)B	2 2 2	2~4年 2~4年 4年	
	コーチング法	①スポーツパフォーマンス実習 II※ ②体育実技指導法(水泳)	1 2	1~4年 3~4年	①と②の内 1科目を修得
実技	指導実習	①コーチング演習(水泳)A ②コーチング演習(水泳)B	2 2	4年 4年	①と②の内 1科目を修得
		①救急処置法 ②コーチング演習(水泳)A ③コーチング演習(水泳)B	2 2 2	4年 4年 4年	①の1科目か② と③の2科目を 修得
合計	7科目	60時間			

※「スポーツパフォーマンス実習 I」及び「スポーツパフォーマンス実習 II」については、水泳部所属の場合のみ資格取得指定科目として認められます。

## ジュニアスポーツ指導員とは

地域スポーツクラブ等において、幼少年期の子どもたちに遊びを通じた身体づくり、動きづくりの指導を行う方のための資格です。

子どもたちが運動遊び・スポーツを通して健康で文化的な生活を送り、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する礎を築くことができるよう、ジュニア期の発育発達に応じた運動遊び・スポーツ指導を行います。

## 対象学科

- ・スポーツ健康科学科

## 資格取得の手順

『ジュニアスポーツ指導員』資格を取得するためには、公益財団法人日本スポーツ協会の『共通科目Ⅲコース』を修了し、以下に掲載されている『ジュニアスポーツ指導員』専門科目<日本スポーツ協会免除認定科目>一覧表を確認し、ジュニアスポーツ指導員の資格取得指定科目を履修・修得して『ジュニアスポーツ指導員』専門科目受講完了申請するとともに、学内で実施される『ジュニアスポーツ指導員』専門科目検定試験に合格することが必要です。

専門科目検定試験の受験手続きと、『共通科目』『専門科目』の受講完了申請手続きは、教務センターを通して行います。それぞれの申請方法については、CHUKYO ALBOで案内します。

## その他

申請料・検定料については、消費税増税に伴い改定される場合がありますので、必ず申請時に「日本スポーツ協会」のホームページで確認してください。

## 『ジュニアスポーツ指導員』専門科目&lt;日本スポーツ協会免除認定科目&gt;一覧表

公認ジュニアスポーツ指導員養成講習会専門科目		本学の開講科目				
講習科目	時間数	本学の開講科目	単位	履修可能学年	要件	
理論編	概論	子どもスポーツ学	2	1~4年	すべて修得	
		子どもスポーツ体験	2	1~4年		
		子どもスポーツ指導法I	2	2~4年		
	コーチング	子どもスポーツ学	2	1~4年		
		子どもスポーツ指導法I	2	2~4年		
	体力	1	子どもスポーツ学	2		1~4年
	動きの発達	1	子どもスポーツ学	2		1~4年
	心理	1	子どもスポーツ学	2		1~4年
	栄養	1	スポーツ栄養学	2		3~4年
	スポーツ医学	1	スポーツ医学A	2		2~4年
女性とスポーツ	1	スポーツ医学A	2	2~4年		
実技編	運動遊び・スポーツ	子どもスポーツ指導法I	2	2~4年		
		子どもスポーツ指導法II	2	2~4年		
実習編	指導実習	8	子ども運動実践演習	2	3~4年	

近年、人々の健康づくりに対するニーズはかつてないほどの高まりをみせています。民間・公共を問わず健康増進施設が急増しているのもこのことの表れでしょう。それにともない健康運動推進の第一線で活躍する指導者の資質についても一層の向上が求められています。

健康づくり運動の指導は、競技スポーツのそれとは異なり、健康の維持・増進と疾病予防の科学的・合理的知識に基づいて人それぞれの特性に合わせて安全にしかも効果的に行わなければなりません。

若者からお年寄りまで幅広く利用される健康増進施設では実技能力に加え医学的な基礎知識や運動生理学の知識を備え健康づくりのための運動指導の知識・技術をマスターした有資格の指導者が望まれています。

現在資格の取得者は、約2万人程度を数え、その職場はアスレチッククラブ・フィットネスクラブ、健康増進センターが多くを占めますが、最近では病院、老人福祉施設、介護保険施設、介護予防事業などでの活躍も目立っています。これからまだまだ有用性が高まる資格といえます。

### 健康運動実践指導者とは

医学的基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識・技能等を持ち、健康づくりを目的として作成された運動プログラムに基づいて実践指導を行うことができる者としています。

### 対象学科

- ・スポーツ健康科学科
- ・競技スポーツ科学科
- ・スポーツ教育学科
- ・トレーナー学科

### 資格の取得方法

健康運動実践指導者の講習会受講免除希望者は、以下の要領に従って手続きしてください。

- ①資格取得希望者は、次のページに健康運動実践指導者養成講習会指定科目と本学の開講科目が掲載されていますので、1年生から計画的に履修・修得してください(一般の科目と同様に履修登録を行ってください)。
- ②新2～4年生を対象に「健康運動実践指導者」資格の詳細と受講届(アンケート)について、3月下旬にCHUKYO ALBOにてご案内します。資格取得希望者は受講届(アンケート)に回答してください。
- ③認定試験を受験する年の4月に同資格のテキスト購入申請をしてください。その後、7月又は8月に「健康運動実践指導者認定試験」の申込みを行います。申込手続きについては7月中旬にCHUKYO ALBOにて案内します。
- ④本学の健康運動実践指導者講習会の免除科目を全て履修・修得し、要件を満たし、公益財団法人健康・体力づくり事業財団が実施する「健康運動実践指導者認定試験」を受験し合格することで、資格を得ることができます。
- ⑤「健康運動実践指導者認定試験」は実技評価試験と筆記試験に分けられ実施されます。実技評価試験は例年12月上旬～中旬に設定されることが多いです。筆記試験はコンピューターを利用した試験となり、学外で実施されます。
- ⑥資格取得希望者は3年生又は4年生で「健康運動実践指導者認定試験」を受験することが必要です。在学中に最低1回は受験をしなければ、講習会受講免除資格を失うことになります(在学中に1度受験することで講習会免除資格を継続することができます)。合否は問われませんので、資格取得希望者は在学中に必ず1度は受験をしてください。

### 『健康運動実践指導者認定試験』の受験資格と方法

- ①「健康運動実践指導者認定試験」は本学所定の「健康運動実践指導者免除科目」の単位をすべて修得していることを前提に申し込みが可能です。
- ②認定試験を受験する年の4月に「健康運動実践指導者テキスト」4,990円の申し込みをします。
- ③7月又は8月に「健康運動実践指導者認定試験」25,300円の申請申し込みをします。
- ④「同認定試験」の受験票は11月上旬に申込者全員へ配付します。(CHUKYO ALBOで連絡)

### 『健康運動実践指導者認定試験』の内容

健康運動実践指導者認定試験は、実技評価試験及び筆記試験が実施されます。

- ①実技評価(指導技能の審査)試験：12月上旬～中旬に実施予定。「陸上運動」と「水中運動」のいずれかを選択します。
- ②筆記試験：コンピューターを利用した試験。12～2月の期間で実施。各自で申込みが必要です。

### 『健康運動実践指導者認定試験』の合否通知

試験(実技評価、筆記)結果を合否判定し公益財団法人健康・体力づくり事業財団から受験者本人へ3月中旬ごろ通知されます(受験申込時の現住所を変更される場合は変更後の住所を「教務センター」と当財団へ必ず連絡してください)。公益財団法人健康・体力づくり事業財団の連絡先03-6430-9113

### 登録の実施

- ①健康運動実践指導者認定試験の合格者には、公益財団法人健康・体力づくり事業財団の健康運動実践指導者登録資格が与えられます。
- ②登録者には、健康運動実践指導者の名称の使用が許可されます。登録は、5年間有効で、所定の講習を受講することにより更新することができます。
- ③登録料は22,000円です。

### 資格に関する問い合わせ先

公益財団法人 健康・体力づくり事業財団  
〒105-0021  
東京都港区東新橋2-6-10 大東京ビル7階  
電話：03-6430-9113 FAX：03-6430-9215  
ホームページ <http://www.health-net.or.jp>

### その他

テキスト代・受験料・登録料等については、消費税増税に伴い改定される場合がありますので、必ず申請時に「健康・体力づくり事業財団」のホームページで確認してください。



## 健康運動実践指導者講習会科目と本学の開講科目

健康運動実践指導者養成講習会 指定科目	
1	健康づくり施策概論 講義(4時間)
2	運動生理学 講義(6時間)
3	機能的解剖とバイオメカニクス 講義(4時間)
4	栄養摂取と運動 講義(4時間)
5	体力測定と評価 講義(2時間) 実習(4時間)
6	健康づくりと運動プログラム 講義(6時間)
7	運動指導と心理学的基礎 講義(2時間)
8-1	健康づくり運動の実際 ウォーミングアップとクールダウン 実習(2時間)
8-2	健康づくり運動の実際 ストレッチング 実習(2時間)
8-3	健康づくり運動の実際 ウォーキングとジョギング 実習(4時間)
8-4	健康づくり運動の実際 エアロビクダンス 実習(6時間)
8-5	健康づくり運動の実際 水泳・水中運動 実習(6時間)
8-6	健康づくり運動の実際 レジスタンスエクササイズ 実習(6時間)
9-1	運動障害と予防・救急処置 講義(4時間)
9-2	運動障害と予防・救急処置 実習(4時間)
講義：32時間 実習34時間	

No.	本学の開講科目	単位	履修可能学年	要件
1	解剖・生理学A	2	1～4年	すべて 修得
2	解剖・生理学B	2	1～4年	
3	トレーニング基礎	2	1～4年	
4	スポーツ実技C(体づくり運動)	1	2～4年	
5	運動・スポーツ生理学	2	2～4年	
6	健康運動実習A	1	2～4年	
7	健康運動実習B	1	2～4年	
8	健康学概論	2	2～4年	
9	スポーツ医学B	2	2～4年	
10	体育・スポーツ心理学	2	2～4年	
11	トレーニング論A	2	2～4年	
12	バイオメカニクス	2	2～4年	
13	発育老化論	2	2～4年	
14	スポーツ栄養学	2	3～4年	
15	運動生理学演習	2	3～4年	

※注1 上記講習会指定科目の9科目群は、本学における指定15開講科目に読み替えているため、右側一覧表科目の要件を満たすように修得すればよい。

※注2 本学指定15開講科目を変更する場合があるため、必ず毎年、最新の本学指定開講科目を確認すること。

## 実技試験の内容

### <陸上運動>

#### ●レジスタンス運動(自重負荷)

課題運動5種類(スクワット、フワードランジ、プッシュアップ、クラッチ、バードドッグ)の内、2種類を実演指導

#### ●有酸素運動(エアロビクダンス)

規定ルーティーン(「ステップタッチ→グレイプバイン→Vステップ→ニーリフト4リピーター」×右左)の実演指導(課題曲使用)

レジスタンス運動・水中レジスタンス運動・水中ウォーキング 評価項目	
1	実演能力 ①課題運動(2種類)それぞれについて4回以上規定の動きを示しているか? ②手本となるような適正な姿勢やテンポ、動作で課題運動を行っているか?
2	運動の目的と内容の説明(理解力・説明能力) ①何のための運動なのか、運動の目的を説明しているか? ②どのようにからだを動かすのかについて説明しているか?
3	表現・伝達能力 ①声の大きさや話し方、話すスピードは適切か? ②見やすい位置に立っているか? ③身振り・手振りを使って表情豊かに指導しているか?
4	動きのポイントと注意の指示(リード・指導能力) ①動き始めや動きの変わり目の指示をタイミングよく行っているか? ②動きの速さや回数の指示をしているか? ③呼吸の指示をしているか? ④効果や安全性に配慮した姿勢や動作への注意をしているか?
5	観察と対応(適応能力) ①対象者全員に目を配り、よく観察しているか? ②個別に動きの修正や動機づけをしているか?

### <水中運動>

#### ●レジスタンス運動(水抵抗)

課題運動5種類(チェストフライ、バックプッシュダウン、レッグエクステンション、レッグカール、ヒップアダクション)の内、2種類を実演指導

#### ●有酸素性運動(水中ウォーキング)

課題運動4種類(前歩き・横歩き・後ろ歩き・回旋歩き)を実演指導(順序自由)

エアロビクダンス 評価項目	
1	実演能力 ①64カウントの規定ルーティーンを行っているか? ②手本となるような適正な姿勢や動作で課題運動を行っているか? ③動きが音楽のテンポに合っているか?
2	運動の目的と内容の説明(理解力・説明能力) ①何のための運動なのか、運動の目的を説明しているか? ②どのようにからだを動かすのかについて説明しているか?
3	表現・伝達能力 ①声の大きさや話し方、話すスピードは適切か? ②見やすい位置に立っているか? ③身振り・手振りを使って表情豊かに指導しているか?
4	動きのポイントと注意の指示(リード・指導能力) ①動き始めや動きの変わり目の指示をタイミングよく行っているか? ②動きの速さや回数の指示をしているか? ③呼吸の指示をしているか? ④効果や安全性に配慮した姿勢や動作への注意をしているか?
5	観察と対応(適応能力) ①対象者全員に目を配り、よく観察しているか? ②個別に動きの修正や動機づけをしているか?

※実技試験の内容は変更になる可能性があります。必ず受験年度の事業財団HPを参照してください。

現在、生活習慣病予防が生涯を通じた個人の健康づくりだけでなく、中長期的な医療費適正化対策の柱の1つとして位置づけられています。今後展開される本格的な生活習慣病対策においては、一次予防に留まらず二次予防も含めた健康づくりのための運動を指導する専門家の必要性が増しており、健康運動指導士への期待がますます高まっています。

健康運動指導士は、ハイリスクも含めた安全で効果的な運動指導を行なうことのできる専門家を指す上でまず取得すべき標準的な資格であると位置づけられています。全国で1万2千人以上の健康運動指導士が登録されており、最近ではアスレティック・フィットネスクラブ等だけでなく、病院、老人福祉施設、介護保険施設や介護予防事業等で活躍している方の増加が目立っています。

### 健康運動指導士とは

保健医療関係者と連携しつつ、個人の心身状態に応じた安全で効果的な運動を実施するための運動プログラムの作成及び指導を行います。健康運動実践指導者(健康づくりの目的のために作成された運動プログラムに基づき、運動の実践指導を行う者)とは、明確に区別されます。

### 対象学科

- ・スポーツ健康科学科
- ・トレーナー学科
- ・大学院 スポーツ科学研究科

### 資格の取得方法

『健康運動指導士』資格を取得するためには、以下の要領に従って手続きをしてください。

- ①資格取得のためには本学が定める『健康運動指導士』資格取得指定科目をすべて履修・修得することが必要です。各学期で履修登録を行う際、資格に必要な本学指定科目を各自で確認し、1年生から計画的に履修・修得してください。本学指定科目については、次ページに『健康運動指導士養成講習会指定科目と本学の開講科目』が掲載されていますので確認してください。
- ②新2～4年生を対象に『健康運動指導士』資格の詳細と受講届(アンケート)について、3月下旬にCHUKYO ALBOにて案内します。資格取得希望者は受講届(アンケート)に回答してください。健康運動指導士資格の最終手続き申請は、4年生で行います(具体的な申請方法については、4年生新学期スタート時の3月下旬にCHUKYO ALBOにて案内します)。
- ③『健康運動指導士テキスト』は教務センターを通して購入できます。必要な学生は申し出てください(16,800円)。
- ④4年生で上記の資格取得希望者は、CHUKYO ALBOの案内に記載された期間内に教務センターで『健康運動指導士認定試験の案内』を受け取り、2月中旬頃までに各自で『同認定試験』受験申込手続きを行います。『同認定試験』を受験し合格すると、健康運動指導士の登録資格が与えられます。登録申請(24,200円)をすることにより、『健康運動指導士』の称号を取得できます。
- ⑤卒業後に科目等履修生として不足単位を履修・修得した場合も認定試験受験資格を取得することができます。ただし、以下のすべての条件を満たしていることが必要です。
  - <科目等履修にて未修得科目を修得する場合の条件>
  - ・「健康運動指導法」が在学中に修得済みであること。
  - ・未修得科目の合計単位数が4単位以内であること。
  - ・卒業後4年以内であること。

### 『健康運動指導士認定試験』受験条件

資格取得に必要な本学指定科目の単位を、すべて修得すること。スポーツ健康科学科・トレーナー学科卒業見込み、あるいは卒業していること。

※非喫煙者が望まれます。

※在学中に認定試験受験資格が与えられます。

### 『健康運動指導士認定試験』申込方法及び合否通知

- ①健康運動指導士認定試験の案内(受験申込に関する書類)は教務センター窓口で配付します。配付期間についてはCHUKYO ALBOで案内します。
- ②受験申込に必要な書類は、以下のとおりです(各自で申し込みを行います)。
  - 受験申込書 1通
  - 成績証明書(在學生は見込証明書)
  - 卒業証明書(在學生は見込証明書) 各1通  
(大学院生は別途書類が必要)
 注：・「受験申込書」は公益財団法人健康・体力づくり事業財団発行の「健康運動指導士認定試験のご案内」冊子に添付されていますので取り寄せてください(在學生は教務センターで配布します)。  
・「受験申込書」には大学の証明印が必要です(健康運動指導士の本学指定科目を修得している事を証明するものです)。卒業後も申請の際には大学へ証明印を依頼する必要があります。
- ③受験料は、15,714円です(審査料2,095円+受験料13,619円)。
- ④試験日程、試験会場、試験申込期間、申込受付方法、試験当日の注意事項、合格発表などの詳細は健康運動指導士認定試験の案内(受験申込に関する書類)に記載されています。
- ⑤結果については、財団から「合否通知」が各自に宛て郵送されます。
- ⑥健康運動指導士の本学指定科目を修得して卒業した場合、卒業後4年以内は認定試験を受験することができます。4年以内に認定試験を受け、不合格となった場合は何度も再試験を受けることができます。

### 登録の実施

- ①健康運動指導士認定試験の合格者には、公益財団法人健康・体力づくり事業財団の健康運動指導士登録資格が与えられます。
- ②登録者には、健康運動指導士の名称の使用が許可されます。登録は5年間有効で、所定の講習を受講することにより更新することができます。
- ③登録更新料は22,000円です。

### 資格に関する問い合わせ先

公益財団法人 健康・体力づくり事業財団  
 〒105-0021  
 東京都港区東新橋2-6-10 大東京ビル7階  
 電話：03-6430-9113 FAX：03-6430-9215  
 ホームページ <http://www.health-net.or.jp>

### その他

テキスト代・受験料・登録料等については、消費税増税に伴い改定される場合がありますので、必ず申請時に「健康・体力づくり事業財団」のホームページで確認してください。

健康運動指導士養成講習会指定科目と本学の開講科目

健康運動指導士養成講習会 指定科目	
1	健康管理概論(講義4.5時間)
2	健康づくり施策概論(講義4.5時間)
3	生活習慣病(NCD)(講義16.5時間)
4	運動生理学(講義16.5時間)
5	機能解剖とバイオメカニクス(運動・動作の力源) (講義9時間)
6	健康づくり運動の理論(講義12時間)
7	運動障害と予防(講義6時間)
8	体力測定と評価(講義4.5時間 実習6時間)
9	健康づくり運動の実際(実習31.5時間)
10	救急処置(講義3時間 実習3時間)
11	運動プログラムの実際(講義9時間 実習6時間)
12	運動負荷試験(講義1.5時間 実習3時間)
13	運動行動変容の理論と実際(講義3時間 実習1.5時間)
14	運動とこころの健康増進(講義3時間 実習1.5時間)
15	栄養摂取と運動(講義10.5時間)
講義：103.5時間 実習52.5時間	

※注1 上記講習会指定科目の15科目群は、本学における指定18開講科目に読み替えているため、右側一覧表科目の要件を満たすように修得すればよい。

※注2 本学指定18開講科目は変更することがあるため、必ず毎年、最新の本学指定開講科目を確認すること。

No.	本学の開講科目	単位	履修可能学年	要件
1	解剖・生理学A	2	1~4年	すべて修得
2	解剖・生理学B	2	1~4年	
3	トレーニング基礎	2	1~4年	
4	スポーツ実技C(体づくり運動)	1	2~4年	
5	バイオメカニクス	2	2~4年	
6	スポーツ医学A	2	2~4年	
7	スポーツ医学B	2	2~4年	
8	健康学概論	2	2~4年	
9	健康運動実習A	1	2~4年	
10	健康運動実習B	1	2~4年	
11	健康運動実習C	1	3~4年	
12	運動・スポーツ生理学	2	2~4年	
13	健康運動指導法	2	3~4年	
14	健康診断演習	2	3~4年	
15	スポーツ栄養学	2	3~4年	
16	運動生理学演習	2	3~4年	
17	健康運動実践学	2	1~4年	
18	健康と生活習慣病	1	2~4年	

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41

## CSCSとは

傷害予防とスポーツパフォーマンス向上を目的とした、安全で効果的なトレーニングプログラムを計画・実行する知識と技能を有する人材を認定する資格です。

指導対象は主にアスリート、スポーツチームです。筋力トレーニングや他の体力要素の指導だけでなく、施設を運営、管理することも重要な職務となります。また、栄養、ドーピング、生活習慣に関する指導など、教育者の側面も併せ持っています。

## 対象学科

- ・トレーナー学科

## 資格取得の手順

『CSCS』の資格を取得するためには、以下の要領に従って手続きをしてください。

- ①資格取得のためには本学が定めるCSCS資格取得指定科目をすべて履修・修得することが必要です。各学期で履修登録を行う際、資格に必要な本学指定科目を各自で確認し、1年生から計画的に履修・修得してください。本学指定科目については、次ページにCSCS認定校指定科目と本学の開講科目が掲載されていますので確認してください。
- ②新2～4年生を対象に受講届(アンケート)について、3月下旬にCHUKYO ALBOにて案内します。資格取得希望者は受講届(アンケート)に回答してください。
- ③CSCSの受験手続きは、4年生で行います。手続きの詳細については、CHUKYO ALBOにて案内します。
- ④参考書や問題集セットは、教務センターを通して購入することができます。詳細は4年生の4月にCHUKYO ALBOで案内します。
- ⑤認定試験を受験し合格後、必要書類をすべて提出することで資格を得ることができます。

## 出願手続きの方法

資格取得に必要な単位をすべて修得することを前提に、卒業見込みの学生、又は卒業後3年以内の卒業生が申込み可能です。

- ・資格取得希望者は、4年生の4月に取得希望届を提出します。
- ・NSCA教材は教務センターを通して購入できます。詳細は3・4年生の6月にCHUKYO ALBOで案内します。
- ※受付期間外は個人で購入してください。
- ・10月頃にCSCS特別認定試験(受験料39,700円)の申し込みをします。(教務センター窓口)
- ・受験希望者のみなさんにNSCAジャパンより登録メールアドレスへオンライン出願を行うためのURLが届きますので、有効期限までに出願手続きを完了してください。
- ・試験予約に関する案内が届きますので各自予約をして受験しませす。
- ※過去にCSCS特別認定試験を受験し、基礎科学セクション又は実践/応用セクションのどちらか一方のセクションに合格した方は、残りのセクションのみを受験することができます。ただし、1セクション合格有効期限は、受験日から1年です。

## 試験の内容

CSCS特別認定試験には①基礎科学セクションと②実践/応用セクションの2つのセクションがあります。どちらもコンピューターを利用した試験となり、学外(テストセンター)で実施されます。

※初回受験及び1セクション合格以外の方は、必ず両セクションを受験する必要があります。

## 試験の合否通知

試験終了後、すぐに結果が知らされます。試験に合格しても、期限内に必要な書類をすべて提出するまでは資格認定を受けられませんので注意してください。

## 資格登録の実施

試験結果は、受験日から1年間のみ有効です。NSCAジャパンへの入会手続きを完了し、卒業証明書の提出することでCSCS資格認定となります。

<資格認定条件>

1. CSCS基礎科学セクションに合格
2. CSCS実践/応用セクションに合格
3. 有効なCPR/AEDの認定証のコピーを提出している、あるいは救急法科目の単位を取得している
4. NSCAジャパン認定校(大学)を卒業
5. NSCAジャパン会員である

なお、資格更新期間は3年ごとになります。CSCS資格を維持するためには、有効なCPR/AED認定の保持、及び必要な継続教育活動単位の取得、資格更新料の支払いが必要です。

## 資格に関する問い合わせ先

特定非営利活動法人 NSCA ジャパン

〒270-0152

千葉県流山市前平井85

電話：04-7197-2064

ホームページ <https://www.nsca-japan.or.jp/>

CSCS認定校指定科目と本学の開講科目

CSCS認定校 指定科目	
1	人体解剖学&生理学(講義10時間以上)
2	運動生理学(講義10時間以上)
3	キネシオロジー & バイオメカニクス(講義10時間以上)
4	栄養学(講義10時間以上)
5	ストレンクス&コンディショニングの科学的原則(講義10時間以上)
6	レジスタンストレーニングとコンディショニング(実技20時間以上)
7	エクササイズテクニック/無酸素性エクササイズを中心とした運動処方(講義10時間以上)
8	緊急処置(実技/講義10時間以上)
9	指導実習(実技40時間以上)
10	ストレンクス&コンディショニングに関連したプログラムデザイン(講義10時間以上)

※注1 上記指定科目の10科目群は、本学における指定12開講科目に読み替えているため、右側一覧表科目の要件を満たすように修得すればよい。

※注2 本学指定12開講科目は変更することがあるため、必ず毎年、最新の本学指定開講科目を確認すること。

No.	本学の開講科目	単位	履修可能学年	要件
1	解剖・生理学A	2	1~4年	すべて 修得
2	解剖・生理学B	2	1~4年	
3	運動・スポーツ生理学	2	2~4年	
4	バイオメカニクス	2	2~4年	
5	スポーツ栄養学	2	3~4年	
6	トレーニング論A	2	2~4年	
7	ストレンクス&コンディショニング実習	2	3~4年	
8	ストレンクス&コンディショニング演習	2	3~4年	
9	スポーツ救急処置	2	1~4年	
10	トレーナーインターンシップ I	1	2~4年	
11	ストレンクス&コンディショニングインターンシップ I	1	3~4年	
12	トレーニングプログラムデザイン	1	3~4年	

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41

## レクリエーション・インストラクターとは

ゲームや歌、集団遊び、スポーツといったアクティビティを効果的に活用し、「集団をリードして、一体感を生み出し、楽しい時間を演出する」「個人や集団のコミュニケーションを促進する」「楽しい空間をつくる」「良好な集団をつくる」「個人の主体性や協調性を引き出す」といった対象者や目的に合わせてレクリエーション活動を企画・展開できる指導者です。活動フィールドは、スポーツ指導者、小・中学校教諭、保育士・幼稚園教諭、介護福祉士、社会福祉士、ケアマネージャー、社会福祉施設職員、ホームヘルパー、ボランティア等です。

## 対象学科

- ・スポーツ健康科学科
- ・スポーツ教育学科

## 資格の取得方法

卒業までに、「レクリエーション・インストラクター」資格科目一覧表の単位を修得し、要件を満たすことが必要です。4年生は秋学期(8セメスター)において資格科目すべての単位を修得しているか履修中であれば申請できます。3年生は「健康運動指導法(スポーツ健康科学科のみ履修可)」または「教育実習I」については、履修中であっても申請できます。資格申請時期は秋学期10月頃です。

## 資格申請の時期

- ①新2～4年生を対象に『レクリエーション・インストラクター』資格の詳細と受講届(アンケート)について、3月下旬にCHUKYO ALBOにて案内します。資格取得希望者は受講届(アンケート)に回答してください。
- ②秋学期スタート後10月に資格申請手続きをCHUKYO ALBOで案内します。

## 登録費

17,600円

★消費税増税に伴い改定される場合がありますので注意してください。

## 資格の有効期間

認定証発行後2年間(以降2年毎に更新)

## 履修方法

- ①『レクリエーション・インストラクター』資格科目一覧表を確認し、必要科目を履修登録してください。
- ②科目によっては班編成を行うことがありますので、時間割表で授業時間帯を確認し、初回の授業から出席してください。

## 「レクリエーション・インストラクター」資格科目一覧表

レクリエーションインストラクター講習科目		時間数	本学の開講科目	単位	履修可能学年	要件
理論 15H以上	レクリエーション概論	1.5以上	レジャー・レクリエーション論	2	1～4年	修得
	楽しさと心の元気づくりの理論	3以上				
	レクリエーション支援理論	4.5以上				
	レクリエーション支援のプログラム	6以上				
実技 36H以上	レクリエーション支援の方法	12以上	レクリエーション基礎実習	1	1～4年	修得
			レクリエーション指導法Ⅰ	2	2～4年	修得
			レクリエーション指導法Ⅱ	2	2～4年	修得
	レクリエーション活動の習得	15以上	レクリエーション指導法Ⅰ	2	2～4年	修得
			レクリエーション指導法Ⅱ	2	2～4年	修得
	レクリエーション支援の実施	9以上	1 野外活動実習(スキー)	2	1～4年	1～4の 中で1科目を 修得
			2 野外活動実習(キャンプ)	2	3～4年	
			3 野外活動実習(マリンスポーツ)	2	2～4年	
4 野外活動実習(アウトドアスポーツ)			2	3～4年		
実習 9H以上	現場実習	9以上	1 健康運動指導法	2	3～4年	1～3の 中でどれかを 修得
			2 教育実習Ⅰ	5	3～4年	
			3 事業参加(★)	-	-	

## ★事業参加について

●事業参加は学外の実習であり、愛知県レクリエーション協会HP掲載の県内各レクリエーション協会主催イベントの中から選択します。事業参加を希望する方は、必ず事前に教務センターに申し出てください。

[愛知県レクリエーション協会ホームページアドレス <http://rec-aichi.sakura.jp>]

●現場実習は本学開講科目(健康運動指導法or教育実習I)を履修し単位修得するか、「事業参加」に9時間以上参加し参加を証明する事業参加カードを提出することで条件を満たします。(事業参加カードは教務センターで配付します。)

●スポーツ教育学科に所属し「教育実習I」を履修しない学生は、「事業参加」が必要になります。※「健康運動指導法」はスポーツ健康科学科のみ履修可能。

## 取得できる資格

スポーツ科学部は、公益財団法人安全衛生技術試験協会の指定大学(学部・学科)になっており、スポーツ健康科学科の学生に限り第一種衛生管理者の資格が取得できます。

## 対象学科

- ・スポーツ健康科学科

## 職務の内容

労働者の健康障害の防止、衛生上の調査及び改善、業務上の疾病の原因調査と再発防止など職場の衛生管理に関すること等。

## 衛生管理者資格科目一覧表

No	本学の開講科目	単 位	履修可能学年	要 件
1	スポーツ救急処置	2	1~4年	すべて 修 得
2	衛生・公衆衛生学A	2	3~4年	
3	衛生・公衆衛生学B	2	3~4年	
4	労働生理学	2	3~4年	
5	健康診断演習	2	3~4年	
6	労働衛生学A	2	4年	
7	労働衛生学B	2	4年	
8	労働衛生法規・行政A	2	4年	
9	労働衛生法規・行政B	2	4年	

## 資格の取得要件

スポーツ健康科学科の学生であること。卒業までに「衛生管理者資格科目一覧表」にある本学の開講科目の単位を修得していること。

## 資格の取得方法

新4年生を対象に『第一種衛生管理者』資格の受講届(アンケート)について、3月下旬にCHUKYO ALBOにて案内します。資格取得希望者は受講届(アンケート)に回答してください。

卒業後、個人で申請することになります(1月中旬以降に免許の申請方法案内を教務センターで配付します)。

申請は、申請先の都道府県にある労働局の安全衛生を担当する課に直接、申請書及び添付書類を提出することにより行います。

## 《申請に必要な書類》

- ・申請書(所定様式あり)
- ・卒業証明書
- ・成績証明書
- ・写真、免許証送付用封筒(404円分の切手を貼付)、申請手数料(1,500円分の収入印紙)
- ※申請料は、消費税増税に伴い改定される場合があります。申請前に必ず愛知県労働局に確認をしてください。
- ・住民票(本籍を確認のため)
- ・本人確認証明(健康保険被保険者証、自動車運転免許証等の公的な書面)

## 「愛知県」で資格申請する機関

愛知労働局労働基準部健康課

## 《ポイント》

労働安全衛生法によって、常時50人以上の労働者を使用する事業場(企業、法人単位ではなく、本社、支社支店、工場、営業所などの単位のこと)では、規模に応じて1~6人の衛生管理者を選任することが義務付けられています。

第一種衛生管理者免許を有する者は、すべての業種の事業場において衛生管理者となることができます。

第二種衛生管理者免許を有する者は、有害業務と関連の少ない情報通信業、金融・保険業、卸売・小売業など一定の業種の事業場においてのみ、衛生管理者となることができます。

上記にも記載した通り、資格申請は個人で行います。就職活動時に資格取得見込みを履歴書に記載した場合は、卒業後、愛知県又は各都道府県の労働局に各自、申請を行ってください。

# 34 初級パラスポーツ指導員について

問合せ先 教務センター

## 取得できる資格

スポーツ科学部は、公益財団法人日本パラスポーツ協会(旧：日本障がい者スポーツ協会)公認指導者養成の課程認定校になっており、本学では初級パラスポーツ指導員の資格が取得できます。

## 対象学科

- ・スポーツ健康科学科
- ・スポーツ教育学科
- ・トレーナー学科

## 初級パラスポーツ指導員とは

障がい者のスポーツ参加のきっかけ作りを支援する指導員。健康や安全管理に配慮した指導を行い、スポーツの喜びや楽しさを伝える役割を担います。地域の大会や教室など、スポーツ現場におけるサポートを行っております。資格取得後は、経験を積み講習会を受講することで、中級・上級指導員にステップアップできます。

## 資格の取得要件

「初級パラスポーツ指導員資格科目一覧表」の本学開講科目の単位を修得すれば3年生から資格取得が可能です。

## 資格申請の時期

新2～4年生を対象に『パラスポーツ指導員』資格の受講届(アンケート)について、3月下旬にCHUKYO ALBOにて案内します。資格取得希望者は受講届(アンケート)に回答してください。

3・4年生の秋学期12月頃に、申請方法の案内をCHUKYO ALBOで連絡します。申請手続きは12月下旬～1月中旬に実施します。

## 資格申請の方法

教務センターで指定した期間に以下の提出書類を記入し、申請料を添えて申し込みます。

<提出書類>

①調査書(様式-2)

②申請料9,300円

(内訳)申請・認定料：5,500円 登録料：3,800円

※資格取得後、年度ごとに登録更新が必要です。(登録更新料3,800円)

★申請料については消費税増税に伴い改定される場合がありますので注意してください。

## 初級パラスポーツ指導員資格科目一覧表

初級パラスポーツ指導員講習科目	時間数	本学の開講科目	単位	履修可能学年	要件
スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	1.5	障害者スポーツ実習	1	1～4年	修得
障がい者スポーツの意義と理念	1.5				
コミュニケーションスキルの基礎	1.5				
障がいのある人との交流	1.5				
障がい者スポーツ推進の取り組み	1.5				
障がい者スポーツに関する諸施策	1.5				
安全管理	1.5				
各障がいの理解 ※身体障がい3h(肢体不自由、視覚障がい、聴覚・音声言語障がい、内部障がいを含む) 知的障がい1.5h(発達障がいを含む)、精神障がい1.5h	6				
各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫	3				
全国障がい者スポーツ大会の概要	1.5				
時間数	21				

※履修可能学年は、所属学科によって異なります。



## 司書教諭課程について

司書教諭とは、教員免許状(普通)を持っていて、その小学校・中学校・高等学校・特別支援学校に設置されている学校図書館において、各種のメディアを収集し、整理保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、学校図書館を活用した教育活動の企画・実施を行うために必要とされる資格です。

教員免許状の取得が条件です。教員となりその学校図書館(図書室)を管理・運営する資格を得ることのできる課程です。

## 資格を取得するには

司書教諭の資格を得ようとする方は、卒業に必要な単位のほかに、教職課程及び下表で示す司書教諭課程の単位を修得する必要があります。

### 司書教諭課程科目一覧

学校図書館司書教諭講習規程に定める科目	本学の開講科目	単位	履修可能学年	要件	修得科目チェック
学校経営と学校図書館(2単位)	※学校経営と学校図書館	2	3~4年	①全6科目必修(12単位) ②教職課程履修	
学校図書館メディアの構成(2単位) 【注1】	図書館情報資源概論	2	3~4年		
	情報資源組織論	2	3~4年		
学習指導と学校図書館(2単位)	※学習指導と学校図書館	2	3~4年		
読書と豊かな人間性(2単位)	※読書と豊かな人間性	2	3~4年		
情報メディアの活用(2単位)	※情報メディアの活用	2	3~4年		
規定科目の修得単位数 10単位	本学の科目 修得単位数	12	単位		

※で印した4科目は、名古屋キャンパスのみで隔年開講している科目です。

詳細(開講の有無などは、別途作成の「司書教諭課程開講科目時間割表」で確認してください。

【注1】省令科目は「学校図書館メディアの構成」(2単位)ですが、本学では司書課程科目「図書館情報資源概論」(2単位)と「情報資源組織論」(2単位)の2科目4単位を読み替えとします。したがって、合計6科目12単位の修得が必要です。

また、「図書館情報資源概論」は文学部の学部固有科目です。文学部生は履修登録制限単位に含まれます。

## 履修条件

- ①教職課程を履修し、教員免許状を取得する予定であること。
- ②大学に2年以上在学し、62単位以上修得していること。

## 司書教諭課程への登録について

司書教諭の資格を得るためには『司書教諭課程』への登録が必要です。3年生の時に手続きをします。その際、所定書類の提出と司書教諭課程履修費(12,000円。ただし、司書課程履修者は8,000円)を一括納入する必要があります。なお、納入後の課程履修費の返還はできません。

## 科目の履修方法・注意事項について

1. 司書教諭課程は、文学部で開講されています。従って文学部以外の方は所属学部・学科の時間割との関係で受講が制約される可能性があります。
2. 司書教諭課程科目の履修登録は、一般の科目と同様に行います。また、履修登録は受講科目に基づき毎年必要です。
3. 開講方法に関しては、隔年開講など、年度によって変更されることがあります。

### 《履修上の注意》

他資格(司書・学芸員など)を同時に取得希望する学生は、時間割の都合で資格に必要な科目を受講できない場合、資格取得ができなくなる可能性があります。

## 修了証書の交付

文部科学省より交付されます。

在学中に、教職課程及び司書教諭課程における所要の単位を修得し、卒業後各自で別途申請を行うことによって修了証書の交付を受けることができます(文部科学省からの交付時期は卒業翌年3月)。

## 司書課程について

司書とは、図書館情報学の知識と技術を身に付け、図書館固有のサービスに従事する図書館の専門的職員のことです。特に公共図書館の専門的職員となるための資格を得ることのできる課程が司書課程です。

## 資格を取得するには

司書の資格を取得しようとする学生は、卒業に必要な単位のほかに下表で示す単位を修得する必要があります。

## 司書課程科目一覧

区分	図書館法(第5条)に規定する図書館に関する科目	単位	履修可能学年	要件	修得科目チェック	
基礎科目	生涯学習概論【注1】	2	1~4年	全11科目 必修 (22単位)		
	図書館概論	2	1~4年			
	図書館情報技術論	2	2~4年			
	図書館制度・経営論	2	2~4年			
図書館サービスに関する科目	※図書館サービス概論	2	2~4年			
	※情報サービス論	2	2~4年			
	※児童サービス論	2	2~4年			
	情報サービス演習	2	3~4年			
図書館情報資源に関する科目	※図書館情報資源概論	2	2~4年		2科目 選択必修 (2単位)	
	情報資源組織論	2	2~4年			
	情報資源組織演習	2	3~4年			
選択科目	※図書館基礎特論	1	3~4年			
	※図書館情報資源特論	1	3~4年			
	※図書・図書館史	1	3~4年			
	図書館サービス特論	1	*			
	図書館施設論	1	*			
	図書館総合演習	1	*			
	図書館実習	1	*			
法定及び本学の修得単位数		24単位				

・※で印した7科目は、名古屋・豊田キャンパスで隔年開講予定の科目です。詳細(開講の有無など)は、別途作成の「司書課程開講科目時間割表」で確認してください。

・不開講科目については、履修可能学年欄を「\*」で表記しています。

【注1】Cコースでは、現代社会学部の学部固有科目「生涯学習論I」(1年次以上配当)を履修してください。

## 司書課程への登録について

司書の資格を得るためには『司書課程』への登録が必要です。以下のとおり手続きをしてください。

1. 司書課程は、1年生春学期に申し込みをしてください。申込期間・方法については、新入生ガイダンスで詳細を案内します(2年生春学期で司書資格課程履修を希望する場合は、教務センターへ要相談)。
2. 司書課程への登録には、所定書類の提出と、司書課程履修費(20,000円)を一括納入する必要があります。なお、納入後の課程履修費の返還はできません。

## 科目の履修方法と注意事項について

1. 司書課程は学部により、以下のA・B・Cの3コースに分けられています。事情により所属コースでの履修ができない場合は、4年生に限り他コースでの履修が認められる場合がありますので、教務センター司書担当に相談してください。

Aコース	文・国際
Bコース	心理・法・総合政策・経済・経営
Cコース	現代社会・スポーツ科

2. 司書課程科目の履修単位は、在籍学部の履修制限単位・卒業所要単位には含まれませんが、学部固有科目として開講している科目は履修制限単位・卒業所要単位に含まれます。
3. 司書課程時間割表は春学期履修登録期間の前にCHUKYO ALBOにて配信します(新入生には履修申し込み手続き時に配布します)。科目によっては隔年開講になりますので、計画的に履修してください。
4. 司書科目の履修登録は、一般の科目と同様に行います。履修登録は当該年度の開講科目に基づき毎年必要になります。

## 《履修上の注意》

他資格(教職・司書教諭・学芸員など)を同時に取得希望する学生は、時間割の都合で資格に必要な科目を受講できない場合、資格取得ができなくなることがあります。

## 資格証明書の発行

在学中に司書課程における所要の単位を修得した方には、本学より卒業式当日に司書資格取得証明書を発行します。また、「資格取得見込証明書」等が必要な場合は、証明書発行窓口で相談してください。

## 学芸員とは

学芸員は、博物館において資料の収集・保管・展示及び調査研究、その他これと関係する事業についての専門的事項を担当します。

なお、博物館とは、美術館、考古学・歴史関係資料館、郷土館、記念館、民芸館、民俗資料館、科学博物館、動・植物園、水族館、天文館など、広い分野における公立・私立施設をいいます。

## 学芸員資格を取得するには

資格取得の条件は、「学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの」（博物館法第5条第1項1号）となっています。本学では、文学部・現代社会学部に設置された学芸員課程科目を履修することにより、学芸員の資格を取得することができます。課程修了者には学芸員資格証明書卒業時に交付します。

## 学芸員課程の履修申し込み

学芸員の資格を得るためには学芸員課程への登録が必要です。以下のとおり申し込み手続きをしてください。

1. 学芸員課程への登録は1年生の秋学期開講時に行います。履修申込方法についての詳細は、7月頃に実施される学芸員課程ガイダンスで説明します。ガイダンスの開催はCHUKYO ALBOで連絡します。
2. 学芸員課程への登録は、所定書類の提出と学芸員課程履修費の納入(20,000円)が必要です。なお、納入後の課程履修費の返還はできません。

## 学芸員課程科目の履修方法・注意

学芸員課程への登録終了後から、学芸員課程科目の履修ができます。

1. 学芸員課程資格科目一覧表の科目(学則に定める本学開講の学芸員となるための授業科目)を履修し、要件を満たさなければなりません。
2. 学芸員課程科目は、文学部・現代社会学部で開講しています。従って他学部生が履修する場合は、所属学部・学科の時間割との関係で受講可能な学期を次年度以降とせざるを得ない場合もあります。
3. 「博物館実習」は、「博物館概論」の単位を修得していないと履修できません。
4. 「博物館実習」を履修するには、館園実習のために博物館に納める費用が必要です。  
[豊田キャンパス履修生]  
野外民族博物館リトルワールドにて館園実習を行います。指定期間(履修年次の5月の予定)に、教務センター窓口で納入手続きをしてください。詳細はCHUKYO ALBOで連絡します。  
※リトルワールド以外での館園実習を希望する場合は、事前に担当教員に相談してください。  
[名古屋キャンパス履修生]  
学内で納入することはありません。費用の有無や金額は受け入れ先博物館によって異なります。
5. 「博物館実習」を履修する学生は、本学指定の保険に加入が必要です。学生支援課窓口で加入手続きをしてください。ただし、すでに他の科目等で本学指定保険に加入している場合は必要ありません。なおスポーツ科学部生は加入する必要はありません。
6. 学芸員課程の各科目では、授業の一部として愛知県及び近隣の博物館で研修・見学が実施されることがあります。交通費その他の費用は学生の負担となります。

## 《履修上の注意》

他資格(教職・司書・社会福祉士・社会教育主事など)を並行して取得しようとする学生は、時間割の都合で資格に必要な科目を希望どおりには受講できない場合、また資格取得が難しくなることがあります。

現代社会学部社会学専攻、コミュニティ学専攻、社会福祉学専攻の学生で履修を希望する場合は、事前に教務センターに相談してください。

## 学芸員資格証明書の発行

学芸員課程の登録者で、所定科目の単位を履修・修得し要件を満たした学生には、卒業時に「学芸員資格証明書」を発行します。また、「資格取得見込証明書」等が必要な場合は、証明書発行窓口で相談してください。

## 学芸員課程資格科目一覧表

博物館法施行規則に定める科目	本学開講科目	単位	時期	履修可能学年	要件	科目を設置している学部	修得科目チェック	
必修	生涯学習概論	生涯学習論I	2	秋学期	1～4年	いずれか1科目 選択必修	現代社会学部	
		生涯学習概論	2	春・秋学期	1～4年		文学部	
	博物館概論	博物館概論	2	秋学期	1～4年	必修	現代社会学部	
			2	春学期	2～4年		文学部	
	博物館経営論	博物館経営論	2	春学期	2～4年	必修	文学部・現代社会学部	
	博物館資料論	博物館資料論	2	秋学期	2～4年	いずれか1科目 選択必修	現代社会学部	
		歴史資料と博物館	2				文学部	
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	春学期	3～4年	必修	文学部・現代社会学部	
	博物館展示論	博物館展示論	2	秋学期	2～4年	必修	文学部・現代社会学部	
	博物館教育論	博物館教育論	2	春学期	2～4年	必修	文学部・現代社会学部	
博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	秋学期	3～4年	いずれか1科目 選択必修	現代社会学部		
	地域と歴史文化情報	2				文学部		
博物館実習	博物館実習	3	通年	3～4年	必修	現代社会学部		
				4年		文学部		
選択	その他	文化人類学入門	2	春学期	1～4年	いずれか1科目 選択必修	現代社会学部	
		郷土の民俗特論	2		2～4年		文学部	

学芸員課程科目を履修する場合は、名古屋キャンパスの学生は文学部で、豊田キャンパスの学生は現代社会学部で受講してください。在学するキャンパスでの科目履修に支障をきたす場合は教務センターに申し出てください。

1. 必修科目は博物館法で定められた科目です。必ず履修・修得してください。
2. 選択科目は本学の指定科目です。必ず履修・修得してください。詳細は学芸員課程ガイダンスで説明します。
3. 「博物館実習」は「博物館概論」の単位を修得していないと履修することができません。
4. 全ての科目が卒業要件に含まれるとは限りません。卒業要件に含む科目は各学部の「学部固有科目一覧表」で確認してください。

## 学芸員資格認定試験について

在学中に学芸員資格を得るのに必要な単位を満たすことができずに卒業した場合、次のいずれかの方法で学芸員資格を取得することが可能です。

- \*科目等履修生として不足単位を修得する
- \*学芸員資格認定試験を受験する

## 社会教育主事課程について

社会教育主事とは、都道府県・市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的職員で社会教育を行う者に対する専門的・技術的な助言・指導に当たる役割を担います。また、社会教育主事補は、社会教育主事の職務を助ける役割を担います。

## 資格を取得するには

社会教育法第9条の4の3に以下のとおり規定されています。

大学に2年以上在学して62単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者で、以下のイからハまでに掲げる期間を通算した期間が1年以上になるもの。

- イ. 社会教育主事補の職にあった期間
- ロ. 官公署、学校、社会教育施設又は社会教育関係団体における職で司書、学芸員その他の社会教育主事補の職と同等以上の職として文部科学大臣の指定するものがあった期間
- ハ. 官公署、学校、社会教育施設又は社会教育関係団体が実施する社会教育に関係のある事業における業務であって、社会教育主事として必要な知識又は技能の習得に資するものとして文部科学大臣が指定するものに従事した期間(イ又はロに掲げる期間に該当する期間を除く。)

本学は、社会教育主事課程を現代社会学部に設置しています。

資格取得のためには、社会教育主事課程の履修申し込みを行い、上記規定に基づき、資格に必要な所定科目の単位を履修・修得することで、卒業時に社会教育主事となりうる資格(任用資格)が得られます。

社会教育主事になるためには、社会教育主事になりうる資格を有している者が、都道府県・市町村教育委員会から《社会教育主事》として発令されることが必要です。

## 社会教育士の称号の付与について

修得すべき科目の単位を全て修得した者は、社会教育士(課程養成)と称することができます。

社会教育士は、社会教育主事講習や社会教育主事養成課程の学習成果を活かし、NPOや企業等の多様な主体と連携・協働し、社会教育施設における活動のみならず、環境や福祉、まちづくり等の社会の多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる役割が期待されます。

また、これらの活動に際しては、地域の実情等を踏まえ、社会教育士と社会教育主事との連携・協働が図られることが期待されます。

社会教育士は社会教育主事講習等の学習成果を活用するための称号であり、社会教育主事に代わるものではありません。

## 社会教育主事課程の履修申し込みについて

社会教育主事の任用資格を得るためには社会教育主事課程の履修申し込みが必要です。以下のとおり申し込み手続きをしてください。

1. 社会教育主事課程の履修申込は3年生で行います。履修申込方法についての詳細は、新学期スタート直前に実施される新3年生対象の資格(社会教育主事)説明会で説明します。
2. 社会教育主事課程の履修申込は、所定書類の提出と社会教育主事課程履修費の納入(10,000円)をしなければなりません。なお、納入後の課程履修費の返還はできません。
3. 3年生で社会教育主事課程の履修申込をした学生は、**4年生の春学期(4月)に社会教育主事課程履修継続申請書を提出**しなければなりません。教務センター窓口で申請書を受け取り必ず手続きを行ってください。

## 科目の履修方法

社会教育主事課程履修申込後の3年生から、社会教育主事課程科目が履修・修得できます。

1. 社会教育主事課程は、現代社会学部で開講しています。従って他学部生が履修する場合は地理的条件、所属学部・学科の時間割との関係で受講が制約されることがあります。
2. 社会教育主事課程資格科目一覧表に定める科目(本学開講の授業科目)を履修・修得し、要件を満たさなければなりません。
3. 社会教育主事課程科目以外にも、資格に必要な科目があります。社会教育主事課程資格科目一覧表を確認し、資格に必要な科目を1年生から積極的、計画的に履修・修得してください。

## 《履修上の注意》

他資格(教職・司書・社会福祉士・学芸員など)を同時に取得希望する学生は、時間割の都合で資格に必要な科目を受講できない場合、資格取得ができなくなることがあります。

## 社会教育主事単位取得証明書の発行について

社会教育主事課程の履修者で、所定科目の単位を履修・修得し要件を満たした学生には、卒業時に社会教育主事単位取得証明書を発行します。また、同資格単位取得見込証明書等が必要な場合は、証明書発行窓口で相談してください。

## 社会教育主事課程資格科目一覧表

社会教育法に定める科目	本学開講科目	単位	履修可能学年	要件	科目を設置している学部等	修得科目チェック	
必修	生涯学習概論	生涯学習論I	2	1~4年	修得	現代社会	
		生涯学習論II	2	2~4年	修得		
	生涯学習支援論	生涯学習支援論	4	3~4年	修得	社会教育主事課程	
	社会教育経営論	社会教育経営論	4	3~4年	修得	社会教育主事課程	
	社会教育特講	現代社会学	2	1~4年	この中で8単位修得	現代社会	
		地域社会学	2	2~4年			
		家族社会学	2	2~4年			
		教育問題と学校の社会学	2	1~4年			
		社会階層と教育の社会学	2	3~4年			
		環境社会学	2	2~4年			
		国際理解教育II(注2)	4	2~4年			
		博物館概論	2	1~4年			
		博物館資料論(注3)	2	2~4年			
		博物館経営論(注3)	2	2~4年			
		図書館概論(注4)	2	1~4年		司書課程	
		図書館サービス概論(注4)	2	2~4年			
		マスコミの社会学	2	2~4年		現代社会	
		現代社会と福祉I	2	1~4年			
		現代社会と福祉II(注5)	2	1~4年			
		人間形成論	2	2~4年			
		発達心理学	2	2~4年			
		臨床心理学	2	2~4年			
		コミュニティ心理学	2	1~4年			
		社会心理学	2	2~4年			
	教育学A	2	1~4年	全学共通科目			
教育学B	2	1~4年					
スポーツ社会学(注1)	2	2~4年	スポーツ科				
生涯スポーツ論(注1)	2	2~4年					
健康教育学(注1)	2	2~4年					
レジャー・レクリエーション論(注1)	2	1~4年					
社会教育実習							
選択	社会教育演習	社会教育課題研究(社会教育実習を含む)	4	3~4年	修得	社会教育主事課程	
	社会教育実習						
	社会教育課題研究						

(注1) スポーツ科学部生のみ履修を認めている科目です。他学部生の履修は認められていません。

(注2) 履修者数制限を行っている科目です。

(注3) 現代社会学部国際文化専攻の学生及び学芸員課程履修者に履修を認めている科目です。

(注4) 司書課程履修者のみ履修を認めている科目です。

(注5) 現代社会学部社会福祉学専攻の学生のみ履修を認めている科目です。他学部及び現代社会学部他専攻の学生の履修は認められていません。







スポーツ教育学科

学部 固有科目	競技スポーツ科学科開講科目 他学科開講科目 スポーツ医学演習 スポーツマネジメント学開講科目	スポーツパフォーマンス実習I	1	○																			
		スポーツパフォーマンス実習II	1		○																		
		スポーツパフォーマンス実習III	1			○																	
		スポーツパフォーマンス実習IV	1				○																
		トレーニング演習	2			○	○																
		トレーニング論 A	2			○	○																
		トレーニング論 B	2			○	○																
		コーチング科学 A	2					○															
		コーチング科学 B	2						○														
		コーチング演習(専門種目)A	2																			●	
		コーチング演習(専門種目)B	2																				●
		スポーツ医学 A	2			○																	
		スポーツ医学 B	2				○																
		リハビリテーション	2					○															
		スポーツ医学演習	2					○	○														
		トレーナー事例研究	2		○																		
		コンディショニング論	2			○																	
		トレーニングプログラムデザイン	2					○															
		スポーツマネジメント事例研究	2		○																		
		スポーツメディア/ジャーナリズム論	2					○															
地域開発論/スポーツリズム	2						○																
国際開発論	2									○													
スポーツ施設管理論	2									○													
教職に関する科目	教育原論	2			●																		
	学習・発達論	2				●																	
	教育の制度と経営	2					●																
	教職入門	2					●																
	教育課程論	2						●															
	道徳教育の理論と実践	2							●													中学校のみ	
	特別活動の方法	1																				●	
	総合的な学習の時間の指導法	1																				●	
	教育方法論	1																				●	
	情報通信技術の活用	1																				●	
	特別支援教育	1																				●	
	生徒指導・進路指導の方法	2																				●	
	教育相談(カウンセリングを含む)	2																				●	
	教職実践演習(中・高)	2																				●	
教育実習Ⅱ	3																				●		
(付表) 履修制限単位に関する表																							
学 年		1年次		2年次		3年次		4年次															
学 期		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋												
セメスター		1	2	3	4	5	6	7	8														
1学期間に履修できる 単位数の限度		24	24	24	24	24	24	24	24	24	24												

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41





競技スポーツ科学科

学部 固 有 科 目	競技スポーツ科学科開講科目	体育実技指導法(体づくり運動)	2						○	○																																																
		体育実技指導法(ダンス)	2						○	○																																																
	体育実技指導法(陸上競技)	2							○	○																																																
	体育実技指導法(器械運動)	2							○	○																																																
	体育実技指導法(水泳)	2							○	○																																																
	教 育 実 習 I	5												○																																												
	示少履修科目 示少履修科目 示少履修科目 示少履修科目 示少履修科目 示少履修科目 示少履修科目 示少履修科目 示少履修科目 示少履修科目 示少履修科目 示少履修科目 示少履修科目	他 学 科 開 講 科 目	運動部指導観察演習	2		○				○					○																																											
			ス ポ ー ツ 医 学 A	2			○																																																			
			ス ポ ー ツ 医 学 B	2				○																																																		
			発 育 老 化 論	2				○	○																																																	
			トレーナー事例研究	2				○																																																		
			コンディショニング論	2					○																																																	
			トレーニングプログラムデザイン	2						○																																																
			スポーツマネジメント事例研究	2					○																																																	
			スポーツビジネス・産業論	2						○																																																
			スポーツマーケティング論	2							○																																															
			スポーツプロモーション論	2								○																																														
			地域開発論/スポーツツーリズム	2									○																																													
			国 際 開 発 論	2										○																																												
	スポーツマネジメント演習	2										○																																														
スポーツ施設管理論	2											○																																														
教職に関する科目	教 育 原 論	2					●																																																			
	学 習 ・ 発 達 論	2						●																																																		
	教育の制度と経営	2							●																																																	
	教 職 入 門	2								●																																																
	教 育 課 程 論	2									●																																															
	道徳教育の理論と実践	2										●		中学校のみ																																												
	特別活動の方法	1											●																																													
	総合的な学習の時間の指導法	1												●																																												
	教 育 方 法 論	1										●																																														
	情報通信技術の活用	1											●																																													
	特別支援教育	1												●																																												
	生徒指導・進路指導の方法	2												●																																												
	教育相談(カウンセリングを含む)	2												●																																												
教職実践演習(中・高)	2												●																																													
教 育 実 習 II	3												●	高等学校のみ																																												
(付表) 履修制限単位に関する表																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学 年</th> <th colspan="2">1年次</th> <th colspan="2">2年次</th> <th colspan="2">3年次</th> <th colspan="2">4年次</th> </tr> <tr> <th>春</th> <th>秋</th> <th>春</th> <th>秋</th> <th>春</th> <th>秋</th> <th>春</th> <th>秋</th> </tr> <tr> <th>学 期</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> <tr> <th>セメスター</th> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1学期間に履修できる 単位数の限度</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>															学 年	1年次		2年次		3年次		4年次		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	学 期	1	2	3	4	5	6	7	8	セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8	1学期間に履修できる 単位数の限度	24	24	24	24	24	24	24	24
学 年	1年次		2年次		3年次		4年次																																																			
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋																																																		
学 期	1	2	3	4	5	6	7	8																																																		
セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8																																																		
1学期間に履修できる 単位数の限度	24	24	24	24	24	24	24	24																																																		





スポーツ健康科学科

スポーツ健康科学科開講科目	体育実技指導法(武道)	2					○	○													
	体育実技指導法(球技)	2					○	○													
	体育実技指導法(体づくり運動)	2					○	○													
	体育実技指導法(ダンス)	2					○	○													
	体育実技指導法(陸上競技)	2					○	○													
	体育実技指導法(器械運動)	2					○	○													
	体育実技指導法(水泳)	2					○	○													
	教育実習Ⅰ	5																		○	
	スポーツ健康科学科開講科目	運動部指導観察演習	2		○		○			○											○
		安全教育	2			○	○														
	学部固有科目	スポーツパフォーマンス実習Ⅰ	1	○																	
		スポーツパフォーマンス実習Ⅱ	1		○																
		スポーツパフォーマンス実習Ⅲ	1			○															
		スポーツパフォーマンス実習Ⅳ	1				○														
		トレーニング論A	2			○	○														
		トレーニング論B	2			○	○														
		コーチング科学A	2						○												
		コーチング科学B	2								○										
		コーチング演習(専門種目)A	2																		●
		コーチング演習(専門種目)B	2																		
他学科開講科目	トレーナー事例研究	2		○																	
	運動器の機能解剖学A	2			○																
	運動器の機能解剖学B	2				○															
	コンディショニング論	2			○																
	トレーニングプログラムデザイン	2						○													
	スポーツマネジメント事例研究	2		○																	
	スポーツデータ分析(基礎)	2			○																
	スポーツ行政・政策論	2				○															
	ダイバシティ社会論	2				○															
	スポーツプロモーション論	2				○															
スポーツマネジメント学科開講科目	地域開発論/スポーツツーリズム	2						○													
	国際開発論	2								○											
	スポーツ経営学概論	2									○										
	スポーツ施設管理論	2									○										
	スポーツ法学	2								○											
	教職に関する科目	教育原論	2			●															
		学習・発達論	2				●														
		教育の制度と経営	2				●														
		教職入門	2			●															
		教育課程論	2				●														
道徳教育の理論と実践		2					●													中学校のみ	
特別活動の方法		1																		●	
総合的な学習の時間の指導法		1																		●	
教育方法論		1						●													
情報通信技術の活用		1							●												
特別支援教育	1								●												
生徒指導・進路指導の方法	2																		●		
教育相談(カウンセリングを含む)	2																		●		
教職実践演習(中・高)	2																		●		
教育実習Ⅱ	3																		●	高等学校のみ	

(付表) 履修制限単位に関する表

学 年	1年次		2年次		3年次		4年次	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
学 期	1	2	3	4	5	6	7	8
セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8
1学期間に履修できる 単位数の限度	24	24	24	24	24	24	24	24

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41









◎必修科目 ○選択科目 ●自由科目

Table with columns: 科目区分 (Subject Division), 授業科目 (Lecture Subject), 単位数 (Credit), 配当セメスター (Allocated Semester: 1st-4th year), and 摘要 (Summary). Includes categories like 基礎ゼミ, コンピュータ処理論, 外国語基礎, 外国語演習, and 全学共通科目.

Table with columns: 全学共通科目等 (University-wide Common Subjects), 外国人留学生用 (For Foreign Students), and 自然の探究 (Exploration of Nature). Lists subjects like 大学生のための日本語 I A-D, 総合日本語 I-IV, 日本文学, ビジネス日本語, etc.

16単位選択必修

1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41



スポーツマネジメント学科

学部 固 有 科 目	他学科開講科目 スポーツ管理学科開講科目 トレーニング学科開講科目	スポーツ医学 A	2			○																
		スポーツ医学 B	2				○															
		発育老化論	2				○	○														
		スポーツ栄養学	2						○	○												
		トレーナー事例研究	2		○																	
		スポーツ救急処置	2	○	○																	
		救急処置演習	2								○											
		トレーニングプログラムデザイン	2							○												
		教職に関する科目	教育原論	2				●														
			学習・発達論	2					●													
			教育の制度と経営	2					●													
			教職入門	2				●														
			教育課程論	2					●													
			道徳教育の理論と実践	2						●												中学校のみ
			特別活動の方法	1							●											
総合的な学習の時間の指導法	1									●												
教育方法論	1								●													
情報通信技術の活用	1									●												
特別支援教育	1									●												
生徒指導・進路指導の方法	2																			●		
教育相談(カウンセリングを含む)	2																			●		
教職実践演習(中・高)	2																		●			
教育実習Ⅱ	3																		●	高等学校のみ		

(付表) 履修制限単位に関する表

学 年	1年次		2年次		3年次		4年次	
学 期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8
1学期間に履修できる 単位数の限度	24	24	24	24	24	24	24	24

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41

# 40 正規留学生の全学共通科目について

問合せ先 教務センター

P27の全学共通科目一覧表に掲載の科目のほか、以下のとおり正規留学生専用科目が追加され、卒業要件が変更となります。入学後、4月に開催される「正規留学生ガイダンス」に参加する必要があります。

系	科目群	追加科目名	卒業要件(40単位)	
コミュニケーション系(演習系)	ゼミ		4単位 *1	
	コンピュータ			
		大学生のための日本語 I A (1) 大学生のための日本語 I B (1) 大学生のための日本語 II A (1) 大学生のための日本語 II B (1) 大学生のための日本語 III A (1) 大学生のための日本語 III B (1) 大学生のための日本語 IV A (1) 大学生のための日本語 IV B (1)		
	外国語基礎	英語 第二外国語		4単位 *2
	外国語演習	英語 第二外国語		左の単位以外で全学共通科目のいずれかから16単位
		総合日本語 I A (2) 総合日本語 I C (2) 総合日本語 I B (2) 総合日本語 I D (2) 総合日本語 II A (2) 総合日本語 II C (2) 総合日本語 II B (2) 総合日本語 II D (2) ビジネス日本語 I (2) ビジネス日本語 II (2)		
ソフィア系(講義系)	自然の探究		4単位	
	人間の探究	日本事情 I A (2) 日本事情 I B (2) 日本事情 II A (2) 日本事情 II B (2)	4単位	
	社会の探究	日本事情 III A (2) 日本事情 III B (2)	4単位	
	新領域		4単位	
	テーマ			

- 「大学生のための日本語」において4単位(\*1)を超えて修得した場合は、下段(\*2)「外国語基礎(英語・第二外国語)」として卒業所要単位に算入されます。
- 第二外国語の履修登録はCHUKYO ALBO上では行えません。希望する場合は下記(1)(2)を確認の上、履修登録期間最終日までに教務センターまで申し出てください。
  - 母語を第二外国語として履修をすることは認められません。
  - 選択した同一言語において、AとBを修得しなければなりません。
- 「総合日本語」については、下記の組み合わせで同時に履修登録をしなければなりません。
 

【詳細】 総合日本語 IA+総合日本語 IC    総合日本語 IIA+総合日本語 IIC  
          総合日本語 IB+総合日本語 ID    総合日本語 IIB+総合日本語 IID
- 「日本事情」は、必ず4単位以上修得してください。修得した単位は、下記(1)(2)のとおり、4つの科目群【自然の探究・人間の探究・社会の探究・新領域】の卒業所要単位に算入されます。
  - 指定の科目群において4単位を満たしていない場合は、
 

【①自然の探究→②人間の探究→③社会の探究→④新領域】の順に算入されます。
  - 4単位を満たした科目群がある場合は、満たしていない科目群について、
 

【①自然の探究→②人間の探究→③社会の探究→④新領域】の順に算入されます。

※各科目群においてバランスよく修得しなければ、特定の科目群の卒業所要単位が不足することになりますので注意してください。
- 「ビジネス日本語 I」は3年次秋、「ビジネス日本語 II」は4年次春の配当科目です。ただし、名古屋キャンパスのみでの開講となります。

履修について不明な点があれば、必ず教務センターで確認してください。

# 41 履修計画表

問合せ先 教務センター

時間割を組み立てるフォーマットです。科目名と単位を記入し、各自で時間割を作成してください。

## 1年生

時限		曜日	月	火	水	木	金
1限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
2限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
3限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
4限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
5限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位

	① 半期科目の単位	② 通年科目の単位 ÷ 2	① + ② 履修合計	履修制限 単位	※履修制限単位に 含まない科目の単位
春	単位	単位	単位	単位	単位
秋	単位	単位	単位	単位	単位

## 2年生

時限		曜日	月	火	水	木	金
1限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
2限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
3限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
4限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
5限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位

	① 半期科目の単位	② 通年科目の単位 ÷ 2	① + ② 履修合計	履修制限 単位	※履修制限単位に 含まない科目の単位
春	単位	単位	単位	単位	単位
秋	単位	単位	単位	単位	単位

## 3年生

時限		曜日	月	火	水	木	金
1限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
2限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
3限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
4限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
5限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位

	① 半期科目の単位	② 通年科目の単位 ÷ 2	① + ② 履修合計	履修制限 単位	※履修制限単位に 含まない科目の単位
春	単位	単位	単位	単位	単位
秋	単位	単位	単位	単位	単位

## 4年生

時限		曜日	月	火	水	木	金
1限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
2限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
3限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
4限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
5限	春		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位
	秋		( )単位	( )単位	( )単位	( )単位	( )単位

	① 半期科目の単位	② 通年科目の単位 ÷ 2	① + ② 履修合計	履修制限 単位	※履修制限単位に 含まない科目の単位
春	単位	単位	単位	単位	単位
秋	単位	単位	単位	単位	単位







CHUKYO  
UNIVERSITY